

326

72

地方行政視察報告概要

第九輯



始



### 緒言

町村自治の發達は國家隆昌の根元にして偏に町村當局者の至誠の活動に待つこと大なり故に町村自治の局に當るものは日夜肝膽を碎きて之れか改良發達を企圖せざるべからず而して之れか改良發達を期するには大に智識を養ふの必要あるを以て所謂百聞は一見に若かさる諺の如く優良町村の行政及事業を視察し見聞を擴め自治經營の資料とせば其の裨益する所少からざるを信じ曩に視察獎勵の費用を郡費に求め町村に於施設經營せんとする事業の參考資料として視察せんとするものに對し其幾部を補助することゝし這般御所村長岩野藤四郎氏をして縣外に於ける自治經營と事業の状態を視察せしめられたは茲に視察復命の概要を輯録し當局者の參考とす

6. 1. 31  
内交

大正五年五月

德島縣板野郡役所

新島縣遊理博覽會

大正五年五月

茲以博覽會の開幕を機として官報の發表をす

博覽會の開催は、了線快の然り。自治振興と産業の振興とも關係を有する。其の  
一、了線快を以てするもの。博覽會の開催は、了線快を以てするもの。博覽會の開催は、了線快を以てするもの。  
二、産業の振興。博覽會の開催は、産業の振興を以てするもの。博覽會の開催は、産業の振興を以てするもの。  
三、自治の振興。博覽會の開催は、自治の振興を以てするもの。博覽會の開催は、自治の振興を以てするもの。  
四、博覽會の開催は、博覽會の開催を以てするもの。博覽會の開催は、博覽會の開催を以てするもの。

辭言

地方行政視察報告概要

目次

- 一、京都府舟井郡檜山村……………一頁
- 一、京都府葛野郡嵯峨村……………三三頁
- 一、静岡縣田方郡上大見村……………三六頁
- 一、静岡縣小笠郡倉真村……………七一頁
- 一、愛知縣額田郡宮崎村……………一四六頁

京都府丹波國舟井郡檜山村  
 一 田 二 百 九 拾 町 五 反 四 畝 拾 九 步  
 一 宅 地 貳 拾 六 町 四 反 四 畝 貳 拾 步  
 一 原 野 貳 拾 四 町 六 反 貳 畝 拾 四 步  
 地 價 總 計 拾 二 万 五 千 六 百 六 拾 八 圓 五 拾 四 錢  
 地 租 合 計 五 千 四 百 九 拾 七 圓 八 拾 七 錢 五 厘

一 位 置

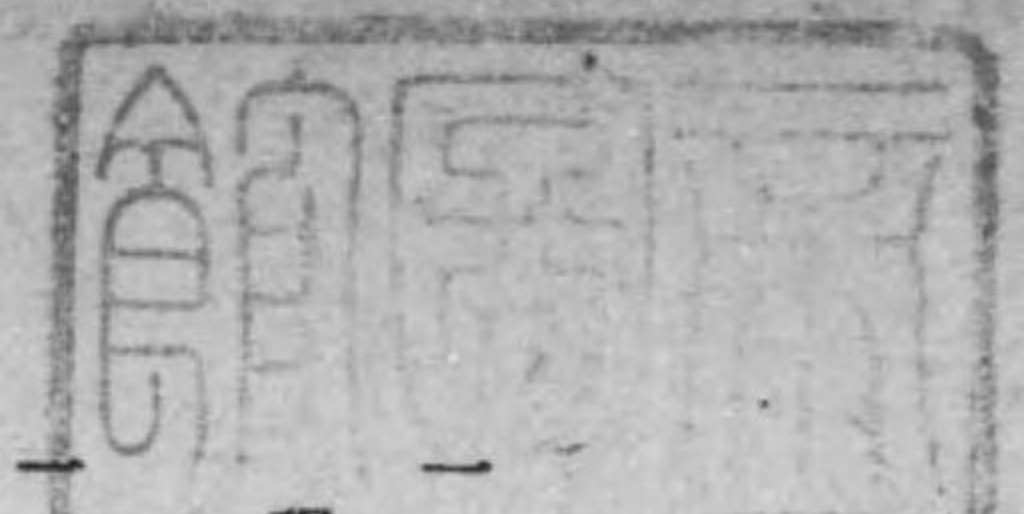
京都府丹波國舟井郡檜山村

首府京都府ヨリ西北ニ位スル小村ニシテ地形南北ニ稍ヤ長ク東西ニ短ク最モ長キ所東西一里九町南北

一里二十四町此方里一、二四方里ニシテ八大字村ヨリ成立ス

中 臺 橋 瓜 和 田 井 脇 大 朴 井 尻 八 田 小 野

一 戶 口 現 住 戶 數 四 百 七 十 戶 人 口 貳 千 四 百 七 十 人 內 千 貳 百 拾 五 人 男 千 百 九 拾 貳 人 女



一 田 二 百 九 拾 町 五 反 四 畝 拾 九 步 一 畑 七 拾 七 町 壹 反 壹 畝 二 拾 二 步  
 一 宅 地 貳 拾 六 町 四 反 四 畝 貳 拾 步 一 山 林 六 百 九 拾 一 町 九 反 四 畝 貳 拾 貳 步  
 一 原 野 貳 拾 四 町 六 反 貳 畝 拾 四 步  
 地 價 總 計 拾 二 万 五 千 六 百 六 拾 八 圓 五 拾 四 錢  
 地 租 合 計 五 千 四 百 九 拾 七 圓 八 拾 七 錢 五 厘

一 村行政ノ機關

一名譽職村長	一名	助役	一名	收入役	一名
書記	四名	雇	一名	學務委員	三名
區長	八名	區長代理者	八名	衛生組長	八名

區長ハ村長ノ指揮ニ從ヒ一般村民ニ對シ通達納稅其他諸般ノ調査協議事項ヲ掌リ區長事故アルトキハ區長代理者之レヲ行フ

一 經費

歲入年壹万〇四百拾四圓六拾五錢  
 歲出經常部年七千貳百四拾五圓八拾五錢  
 全臨時部年參千六百拾八圓八拾錢  
 歲出臨時部合計壹万〇四百拾四圓六拾五錢

一 教育

尋常高等小學校 一 生徒 三百三十 不就學兒童 二

百人中九十九人三九 教員五人 給料正教員二〇、七五〇 平均額總 二〇、二二〇

一 基本財産造成

學校現金	參百七拾壹圓七拾壹錢	公債額面	五拾圓
村財産現金	貳百貳拾四圓	公債額面	五百五拾圓
土地反別	三百五拾三町三反九畝一步	建物坪數	三十二坪

一 農産物

米ノ部

明治四十四年實收高四千貳百六拾三石 大正五年ノ豫想高五千貳百四拾三石 差引九百八拾石四斗九升ノ增收即チ二割三分ノ目的ナリト云フ

夫レ農業殊ニ米作ハ天候ノ順否ニ依リ人力ノ及ハザル所アリト雖又人力ニ因リ救済シ得ラル、点多ク今日ノ米作ハ未ダ人力ノ精ヲ盡シタリト云フベカラス非常ノ年ハ兎モ角平年作ニ於テ二割余ノ增收ヲ圖ルベキ余地充分アリト信ジ先ヅ左ノ標準ニ依リ改良ノ目的ヲ達セントス

但目下着手セントシツ、アル耕地整理ニヨリ米作地ノ増加シタル場合ハ別ナリトス

改善スヘキ項目

改良ニヨリ增收余力分合

一 種 類	二 分
二 健苗養成	五 分
三 移植方ノ改良	四 分
四 耕助ノ改良	三 分
五 施肥法ノ改良	五 分
六 除草改良	一 分
七 病虫害防除	二 分
八 收穫調製改良	一 分
計 八 項	二割三分

(一)

種類改良 種類ニ因リ米質ニ良否アリ收穫ニ多少アル事勿論ニシテ米作改良上種類ノ如何ハ最大ノ要素ナリ故ニ品質良ク收穫多キモノヲ撰サルベカラス各人能ク注意シ適當ノ方法ヲ以テ良種ノ發見又ハ種子交換若クハ郡農會ノ設ケタル採種田ノ種子ヲ求ムル等大ニ留意ヲ要ス之レニ依リ二分ノ增收アリト計上

(二)

シタルハ最モ見込ヲ少クシタルモノニシテ實際ニ當リテハ其得ル所多カルベシ  
健苗ノ養成 細キ柔軟ナル苗ヲ移植スルト太キ強健ナル苗ヲ移植スルトノ差ハ米作上至大ノ影響アル事ハ世人ノ既ニ承知セラル、所近年苗代品評會其他ノ方法ヲ以テ良苗ノ育成ヲ勸誘シ間々強剛ノ苗ヲ作クルモノアリト雖未タ以テ充分ナリト云可カラス殊ニ多數ノ農家ハ舊習ヲ蟬脱スル能ズ坪七八合蒔ヨリ甚シキハ壹斗二三合ニモ及フ是レ大ニ改良ヲ要スル点ナリ近年何鹿郡ノ老農辻井宗兵衛氏ハ坪壹合蒔ヲ唱導シ多大ノ功績ヲ奏セリ本式ハ郡内竹野村字ロハ田共同苗代ニ於テ明治四十四年ヨリ之ヲ試ミ良績ヲ舉ゲツ、アリ本年郡農會ノ施設シタル採種田ノ苗代ニ至リテモ現ニ成績佳良ナリ當業者ハ如上ノ實驗ニ鑒ミ來年度ヨリ十二分ニ塩水撰ヲ行ヒ坪貳合蒔カ厚クテ三合以下ニ止メラレタシ斯クスルトキハ收穫ニ及ボス利益多大ナルノミナラズ大ニ種籾ヲ節約シ得ベシ今左ニ本村ノ作付反別ヨリ計算スルトキハ種籾ノ節約ノミニテモ左ノ如キ利益アリ

現在ノ行リ方

本村作付反別貳百八拾余町歩

一反歩六斗當リ

苗代反別拾四町歩

此坪數四万貳千坪 (踏切其他三分ノ一ヲ遊地トシ三分ノ二ノ坪數二万八千坪トナルヲ以テ坪六合平均ナリ)

此種籾下種量百六拾八石

理想ノ行リ方

本村米作付反別貳百八拾余町歩

苗代反別拾四町歩 (此實際蒔附坪數二万八千坪一坪平均三合)

此種籾量八十四石

差引八拾四石余之ヲ六分摺トスルキハ玄米五拾石四斗ヲ得ヘク石代貳拾圓トスルキハ實ニ壹千〇八圓ノ利益ナリ而シテ籾種ノ粒數ハ左ノ如クナルヲ以テ大粒ノモノト雖壹坪三万四千七百五十粒アリテ壹反ノ所要種籾量 (各人上中下ノ三段ヲ作ルトシ平均一坪百株一株ニ付三本植ニシテ一反步三百坪ニ對シテ三升ナリ尙ホ中小粒ニア) シ九百粒ヲ要スルコトナル而ルトキハ一反步ニ付六合宛ノ種籾ヲ要スルモ虫害豫備リテハ遠ク以下ニシテ事足ル) 三升ヲ當ル事ト假定セバ優ニ余リアリ之レヲ益々改良シ坪一合若クバ貳合以下蒔ニシ強剛ノ苗ヲ養成セハ反當リ種籾量ハ壹坪余リニテ事足ルヲ得ベシ

種籾及玄米一合當粒數表

區別	品種	籾一合ノ粒數	玄米一合粒數
最大粒	房吉	二、六七三	四、二三九
大粒	雄町	三、四七五	五、四一二
中粒	神力	三、七六四	五、八四二
細小粒	關取	四、八八五	七、六八六

(三) 移植方ノ改良

從來ハ多クノ場合上田ニハ株ト株トノ間隔疎ニ過ギ一株ノ本數多植ノ弊ニ陥リ又一ツニハ先線ノ如何ニ考エ及ハサルアリ今最近五ケ年間ノ成績ヲ舉クレハ

試驗區別 五ケ年平均ノ收量

- 一 壹坪四拾二株 五本植 二、五四八
- 二 全 四拾株 五本植 二、五一四
- 三 全 三拾株 八本植 二、五二九
- 四 全 四拾株 六本植 二、二六六

- 五一坪五拾株 五本植
- 六全六拾株 四本植
- 七全八拾株 三本植
- 八全三拾株 五本植
- 九全六拾株 五本植
- 十全八拾株 五本植

- 二石五一四
- 二、五八四 (九寸ニ六寸五分)
- 二、六四九 (九寸ニ五寸)
- 二、三五五
- 二、五六六
- 二、〇二〇

右ノ表ニヨレバ第七最モ多ク第六第九之ニ次ク是等ハ皆株數ヲ多クシ本數ヲ少ク植付アリテ最モ收量少  
ニキ第四即チ坪四十株六本植ナリ而シテ其差三斗八升三合即チ約一割五分纏テ從來ノ植付ヲ見ルニ普通上田  
ニシテ四拾株内外七八本植最モ多シ是等大ニ注意ヲ拂フノ要アリ最モ不利ナル仕方ナリ尙ホ中下田ハ之レ  
ニ準シ株數ヲ多クスルモ本數ヲ増サザル方利益ナリ

(四) 耕鋤ノ改良土地ヲ深耕シ肥料吸收ノ面積ヲ増大シ一面稻根ノ伸長ヲ自由ナラシメハ收量ニ大ナル利益アリ  
リ今其成績ヲ左ニ

試驗 驗 別

十ヶ年平均收量

普 通 良 耕

二石三九八

一寸深 耕

二、四九四

二寸深 耕

二、五三八

右ノ如ク假リニ一寸ノ深耕トナスモ反ニ付九升六合即チ四分ノ增收アリ故ニ此深耕ニ注意シ歩武ヲ進ムル  
ハ優ニ三分ノ增收ハ得ヘキモノナリ

(五)

施肥法ノ改良

收穫ヲ左右スベキ原因ノ半バ迄ハ土地ノ肥瘠及施肥ノ豊肥功拙ニアリ古諺ニモ一肥ニ世話ト云フ事アリ  
豈輕視スベキ問題ナランヤ今肥料試驗ノ成績ヲ掲クレバ一反歩ニ對シ左ノ通り人糞尿ノ共同糞人糞尿

- 一 原區 厩肥百五拾貫 人糞尿 (無水) 十荷 糞入 二石七四
- 二 全 厩肥百六貫五百目ヲ加フ 糞入 二石三二
- 三 全 厩肥百十貫目ヲ加フ 糞入 二石四五
- 四 全 厩肥百十五貫目ヲ加フ 糞入 二石六五

附言第二區最モ利益多シ今畝ノ粕十貫目價ヲ五圓トナスモ此代金參圓貳拾五錢運賃目欠ヲ合スモ參圓參拾錢



ニテ足ルヘク玄米收差五斗八升アリ貳拾圓替トシテ拾壹圓六拾錢トナル故ニ右ノ如ク或程度迄ハ施肥ヲ増シテ利益アルハ明ナリ翻テ村ノ状態ヲ聞クニ明治七八年迄ハ世事人事簡略ニシテ農ハ純粹ノ米麥作ナリト安キ奉公人即チ年定ノ雇人ヲ使用シ得タル爲大抵ノ農家ハ綠肥即チ山肥ヲ夏中ノ仕事ニ採取シ多クノ厩肥ヲ施シタリト雖近來稍ヤ人夫賃ノ高キト養蠶其他農家ノ副業増シタルト可成勞働ヲ避クルノ傾向生ジタルガ爲之レガ採取ハ大々的減少シ其代用トシテ金肥ノ輸入ヲ仰クニ至リ數人ノ篤農家ヲ除ク外ハ大抵肥料不足ノ觀アリ故ニ農會ハ極力堆肥場ノ設置ヲ勸誘シ獎勵金ヲ置キ一方輸入肥料ハ共同購入低利資金貸附等ヲ爲セリ又村ニアリテハ綠肥採取場ノ入會制ヲ改メ區劃貸與制トナス等其方法ヲ盡シ居レハ各農家ハ此肥料ニ意ヲ注ギ昔日ノ如ク多量ノ山肥ヲ蒐集スルノ暇ナキカ故ニ其採取シタルモノハ肥料分ヲ流出ナサ、ル襟完全ナル堆肥場ノ設置ヲナシ既ニ設置シアルモノハ最モ完全ナル堆方トナシ此堆肥ヲ作物ノ元肥トナシ其不足分ヲ金肥ニテ補給スルコトニ努メ吾人ガ食ヲ取ルニ米麥ヲ主トシ魚菜ヲ副トナスガ如ク堆肥ヲ主トシ金肥ヲ副トナスコトヲ忘ルベカラス如此思フ之ニ致シ肥料ヲ豊カニシ施肥ノ時期及方法ヲ考究スルトキハ優ニ之ヨリ五分ハ愚カ一割迄ノ增收ヲナシ得ベキモ先ツ五分ト見込シナリ

(六) 除草改良

(七) 病虫害防除

前既ニ述ヘタル如ク如何ニ肥料宜シキヲ得ルモ世話ヲ怠レハ其功ヲ收ムルコトヲ得ス甘キ者ニハ人モ集リ易キカ如ク肥料ノ能ク利キタル稻田ニハ害虫ノ集リ易キハ論ヲ待タズ故ニ苗代時代ヨリ螟虫浮塵子等ニ注意ヲ拂フテ之ヲ驅除シ除草トテモ苗代時代ヨリ本田移植ニ至ル迄我愛子ノ如ク十分親切ニ世話シ尙恐ルベキハ「イモチ病」並ニ萎縮病ニ懼ラヌ標注意ヲ怠ラヌ事肝要ナリ左ニ其病狀豫防ノ大要ヲ示ス

「イモチ病」

- 本病ニハ種々アリト雖モ「苗イモチ」「苗代時代ニ又」「肥イモチ」「フシイモチ」「穂首イモチ」「冷イモチ」病等アルモ其病源ハ「ヒリクラリアノリセリ」「ト」稱スル病菌ノ寄生ニ依リテ起ルモノニテ既ニ發病侵害セラレタルモノハ防除不可能ナリトス故ニ本病ニ懼ラヌ標豫防セザルベカラズ其方法トシテハ健剛ナル稻ヲ作ルベシ左ニ注意ヲ掲ク
- 一 苗代ハ厚蒔ニ失セザル様下種スルコト
  - 二 可成冷水ノ注入ヲ避ケ温暖ナル水ヲ注グ標注意ノコト
  - 三 窒素質肥料(即チ杓肥)ヲ過施セズ肥料成分ノ配合ニ注意ノコト

四 追肥ヲ遅ク施サザルコト

五 耐病性ノ稻種ヲ撰ムコト

六 冷温ノ天候打續クキハ灌溉水ヲ淺クシ除草ヲナシ地温ノ高昇ヲ計ルコト（萎縮病ハ「ツマゴロヨコバイ」即チ浮塵子ノ毒素ニ依リテ起ル病毒ニシテ近時害虫驅除ノ勵行セラル、結果被害ヲ減ジタリト雖モ未タ防除ヲ盡シタリト云フヲ得ズ故ニ害虫ノ驅除ヲ勵行シ一面土壤ノ排水ニ注スルコトヲ要ス右ノ三点ニ注意實行シタランニハ莫大ノ利益アリト認ムルモ先ツ三分増ト計上ス

八 收穫調製改良ニ依リ利益アルコトハ大ニ考フベキ問題ニテ最近六ケ年ノ成績ヲ掲ク

直 扱	取	五日 後 扱 取	十日 後 扱 取
青 熟 刈 取	一石八三二	一石八三八	一石八三五
黄 熟 刈 取	二、三六二	二、四三二	二、四三七
完 熟 刈 取	二、四六九	二、二七八	二、四二二

右成績ニヨレハ刈取後直チニ扱取ルキハ充分完熟セルモノ最モ收量多ク青熟期刈取ルモノニ比シ實ニ六斗余ノ收量多シ大ニ鑑ミザルベカラザル事ニシテ徒ニ刈取ヲ急ク習慣ノ如キハ斷シテ避ケザルベカラズ黄熟ノモ

ノハ稍ヤ長ク乾燥シ置クコト宜シ完熟ノモノハ可成早ク扱取ヲ利益トス之レ後熟作用ニ依ル結果ナリトス

二 調製ノ精撰米質ヲ左右スヘキ最後ノ五分間ハ調製ノ如何ニヨルト云フモ過言ニアラサルヘシ乾燥不充分

ニ調製粗悪ナルキハ何程品質良好ナル種類ヲ撰フモ米質ヲ損スルコト多シ殊ニ村ノ欠点ハ乾燥調製ノ粗雑

ナルニヨル故ニ是等ノ欠点ヲ改良シテ産米ノ聲價ヲ高ムルコト肝要ナリ俵裝ノ改良モ亦然リ米穀検査ノ進

捗ニ從ヒ相共ニ改良ノ實績ヲ舉ケ一致之レガ遂行ニカムヘシ

麥 作 ノ 部

本村ノ麥作付反別ハ壹百貳拾余町歩ニシテ最近五ケ年平均收量壹千貳百石反當リ壹石ナリ實ニ其小數量ナルニ驚クト共ニ未ダ增收ノ余地アルコト歴々トシテ瞭カナルヲ見ルサレバ五ケ年後ノ收量ハ少クトモ反當リ一石二斗トスルニ努メザルヘカラス之ハ主トシテ米ノ部ニ述ヘタル如ク深耕ニシ今少ク肥料ヲ増シ且ツ排水ニ注意シ種子ノ交換等ヲナシ多収ノ種類ヲ輸入スルニカムレハ雜事ニアラザルヘシ

養 蠶 ノ 部

本村本年度ノ養蠶家戸數ハ春蠶九十七戸此收繭量三千百三十八貫二百八十匁一戸當リ三十二貫三百五十匁余秋蠶百十二戸此收繭量千二百三十二貫三百六十匁一戸當リ十一貫八百拾匁此余夏蠶三十戸此收繭量百八十貫

九百四十五匁一戸當リ六貫三十匁而シテ養蠶總戸數ハ百七十一戸總收繭量四千五百五十一貫五百八十匁一戸當リ二十六貫五百五十八匁昨年ノ戸數百六十七戸ニ比シ四戸ヲ同總收繭量四千二百四十七貫四百四十匁ニ比シ三百〇四貫百四十匁ヲ一戸當リ二十五貫四百三十匁ニ比シ一貫百貳十八匁ヲ何モ増加セリ之レ喜ブヘキ現象ナリト雖増加率ノ甚鮮キハ誠ニ遺憾トスル所ナリ今ヤ世ノ狀態ハ時々刻々相進ミ吾人生活ニ要スル費用ハ數年前ト霄壤ノ差ヲ來タシ其上村民ハ他ニ比シ約七方圓以上ノ債務ヲ負ヘリ之レ誠ニ憂フヘキコトニシテ荏苒安ヲ倫シムニ於テハ近キ將來ニ亡滅スルノ已ムナキニ至ルヘシ故ニ舉村一致シ向後五ケ年間産額ヲ増シ米麥增收ノ計畫ト相俟テ此急ヲ救フコトヲ期スヘシ

農 牛 ヲ 増 飼 ス ル 事

大正元年末村内ノ農役用牛ハ二百十八頭ヲ筭シ四拾四年末ニ比シ五頭ヲ増ス抑モ農家ハ牛ヲ飼ヒ耕作ニ使用シ以テ人力ヲ助クヘク且ツ肝要ナル堆肥ノ原料トスヘキ厩肥ヲ得ヘシ然ルニ農戸數四百戸ニ對シ、五四五ニ當リ余リ少キニ過グト云ヘシ宜シク増飼ヲ獎勵シ一ケ年少クモ十頭ヲ増シ五年末ニ至リ五十頭ヲ増飼スルコト、シ耕鋤ニ肥料ノ蒐集ニ努ムヘキナリ尙注意ヲ加飼育スレハ農家ノ副産トシテ多少ノ収入ヲ見ルヲ得ヘキナリ

負 債 償 還 ノ 事

明治四十四年末調査本村民ノ他町村ヨリノ債務ハ約七方圓ナリ之ハ各自整理シ若クハ勸勉貯蓄ヲナシ五ケ年以内ニ償還スルノ途ヲ講スルヲ要ス七圓ト云大金ナレトモ村民四百七十戸貳千四百餘人負債ノ恐ルヘキヲ了知シ其氣ニナレバ左程ノ難事ニアラス一戸一日拾錢宛ノ勤ト儉トヲ行ヘハ一ケ年壹万六千九百參拾圓ヲ得ヘク一人一日ニスレハ僅カニ壹錢九厘ニシテ足ル兔モ角成ルモ成スモ人心次第ナリ人心一致努力スレハ難事モ易々タルヘク人心萎靡荒廢スレハ何レノ日ニ至ルモ生業振興シ負擔輕減スルノ時機アラス今七方圓ノ債務ヲ五ケ年繼續負擔シ只利子拂ニテ日ヲ送ルトスレハ其間ニハ實ニ左ノ計算トナリ反對債權地方トノ差ハ宵壤モ尙ナラスト云フヘシ早ク債務ヲ了シ債權ノ位置ニ立ツコトニ努メザルヘカラス

年 次	元金ニ對スル利子	利子ニ對スル利子
初 年	七、〇〇〇、〇〇〇	
二 年	七、〇〇〇、〇〇〇	七、〇〇〇、〇〇〇
三 年	七、〇〇〇、〇〇〇	一、四七〇、〇〇〇
四 年	七、〇〇〇、〇〇〇	二、三三七、〇〇〇

計四二、七三五<sup>四</sup>七〇〇

此計等八年一割當リト定メタルモ實ニ僅々五ケ年間ニ四万貳千七百參拾五圓七拾錢ノ膏血ヲ吸ハレ尙債務ハ元ノ奎阿彌ナリ思フテ茲ニ至レハ實ニ肌ニ粟ヲ生スヘシ夫レトモ生産資本ノ借入ナレハ恐ルルニ足ラザルモ本村ノモノハ重モニ喰ヒ込借錢ナリ

地所ヲ他町村民ニ賣却セサル事

本村ノ農家ハ前述ノ如ク懐口合豊カラス故ニ良田ト雖他ノ地方ヨリ安價ナリ茲ニ於テ他町村民ハ本村ヘ地所購買ニ浸入スルモノ多シ昨<sup>年</sup>注意シ置キタルモ本年ノ如キハ多數ノ田地ヲ買收セラレタリ之ハ農家負擔ニ苦ムノ結果利送リト打算シ賣拂フモノナルモ本村ノ如キ村トシテハ山林ノ大計畫ヲナシ將來之レニヨリ大富源ヲ得ヘク村民亦稍ク勤儉ノ美風ニ向ヒツツアリテ今日反當貳百圓乃至貳百五拾圓ニテ高價ナリトテ賣飛バシツツアル田地近キ將來忽チ四五百圓ヲ唱フルニ至ルハ必然現ニ郡内竹野村廣氣村ノ如キハ同シ一反歩ノ田ニテ五六百圓ヲ唱ヘ買人アルモ賣人ナシト云フ盛況ナリ故ニ今一時ノ安ヲ倫ミ賣飛スモ後來夫レヲ手ニ入レ戻スニハ非常ナル高價ヲ拂ハザルベカラズ結局大ナル高歩トナルベシ警戒スベキ事ナリ

キ事ナリ

山林愛護ノ事

本村ハ全面積貳千五百町歩内山林ハ貳千町歩ニ上リ耕地地其他道路河川ニテ約五百町歩ナリ大ニ林地ノ利用ヲ増進シ之ニ依リテ富ヲ作ラザルベカラサルニ大部分部落有制ナリシト舊習ノ久シキ兎角山林ハ輕視セラレ今日ニ至リタルモ一昨年統一村有トナリシニヨリ大ニ注意ヲ加ヘ將來ハ山林ヲ一大富源トナスノ計畫ナリ其他私有林モ重要視セラレズ唯天然ニ任カシ生長スレバ採取シ其儘又天然ニ放任スルモノ多シ是等ハ大ニ注意シ少シノ場所ト雖モ保護植栽スヘキナリ

官公署	園部區裁判所檜山出張所	檜山郵便局	園部警察署	巡查部長 派出所
會社	檜山巡查駐在所	檜山村役場	株式會社檜山銀行	合資會社 蠶種製造 三一館
神社	八幡宮	古岩神社	日吉神社	熊野神社

寺院

西岸寺	法華寺	常照寺	養德寺	廣昌寺
龍福寺	妙行寺	長樂寺	常願寺	
牛馬	牝牛	三二	牝牛	計二一三
篤志者	赤十字社員	一〇六	受國婦人會員	三五
帶動者				
旭七等 功七級一	旭七等 四	旭八等 功七級四	瑞七等 二	旭八等 二六
議 員	數	郡會議員 一	村會議員 一二	瑞 八等一六
車 輪				計 五三
人力車九	甲牛車四二	大七車一五	手先 二〇	自轉車 一二
貨 錢	大工職工 其他ノ	一日 七拾五錢	無	勞役人夫一日 五拾錢
				中 四拾錢

其他工產物

竹製品、桶類、石材、建具類、履物、下駄、墨表、繩、菓子、瓦、清酒、味噌、醬油、味噌、(價格略ス)

視察ニ付所見ノ概要

團體ニモ一ツノ目標ガナケレバナラス其目的ヲ達セントスルニハ準備トシテ之レガ計畫ヲ組立ル必要アリ予ガ檜山村ヲ視察スルニ農産物ノ增收ヲナサントシ五ヶ年計畫ナルモノヲ確シ之ヲ發表シタリ思フニ各自ガ時勢ニ促ガサレ發奮自覺シタルニヨル向後村力ノ發展ニ盡シ一家ノ治産増富等ノ爲一致ノ熱心ト協同ノ努力トヲ以事ニ當リ其目的方向ニ則リ計畫ノ敷キル所ニ基キ着々歩武ヲ進メ粉骨碎身意ヲザランカ處期ノ如ク向五ヶ年間ニ於テ豫定ノ結果ヲ見ルハ必然ナリ又造林事業ニ就テハ各公有林其前表ノ通山林面ヨリ中流以上ハ天然林即チ松林ニ仕立之レテ松茸山ニ造成ノ計畫ニナシ其收得頗ル大ナリ中流以下ハ人工造林ニヨル杉、扁柏、ヲ植付六拾年ヲ以テ一輪伐期ト爲シ居レリ以上ノ如クナルガ故ニ將來林業ヲ以テ第一村是トナシタルハ蓋シ過言ニアサズシテ至當ノ經營ナリト云フベシ又造林ノ手入ハ一般人民ニ二反歩若クハ三反歩宛ヲ無償ニテ貸與シ下草雜草ノ刈採ヲナサシメアルハ造林ニ伴フ經費輕減の方法ニシテ用意周到ナル善法ト云フノ外ナシ殊ニ土地ヲ他都市ノモノヘ賣買ナサシメザル規約ヲ設ケ村民ヲシテ鞏固ナル決心ヲ締結シ自治自營ノ實ヲ舉ケントスルハ以テ範トスルニ足ルベキナリ其他特記スベキモノナシト認メ之ヲ略ス

檜山村有林ノ來歴及將來ノ計畫

- 一、公有林野統一以前ノ保護並ニ計畫
- 二、公有林野統一ノ狀況
- 三、公有林野統一後ノ保護並ニ計畫
- 四、將來ノ收入豫定
- 五、其他ノ利益

一、公有林野統一以前ノ保護並ニ計畫

本村ハ八部落ヨリ成リ戸數四百七拾余戸人口二千四百十余人地形南北ニ稍長ク東西ニ短ク最モ長キ所東西一里九町南北一里廿四町此方里一、二四方里即約二千七百六拾余町歩内約二千町歩ハ山林ニシテ尙其部内壹千四百余町歩ハ公有林野ナリ而シテ公有林野ナルモノハ舊慣ノ久シキ殆ド部落民共有ナルカノ如キ觀念ト將又山林地ヲ利用シ收利ヲ得ルト云念ノ薄キ爲拾數年前迄里俗ニ謂ル山家ニ木ナシ面積ヲ廣ク有スル部落程粗放ノ取扱ヲナシ居タリ故ニ先覺者ハ此山間地ニ住居シ土地面積ノ七八割迄林地ニ占有セラル住民ハ舊慣ヲ打破覺醒シ大ニ林地ノ利用ヲ増進シ土地ノ富ヲ計ラザルベカラズト百方部落民ニ説キ早ク着手セシ都

落ハ明治二十年頃ヨリ鎌止ニ着手シタレドモ村内一齊ニ愛林思想行渡リ實現セシハ明治三拾年ノ頃ニシテ全三拾六年ニハ別紙第一號書ノ如ク山林ヲ以テ村基本財産ヲ造成スルノ目的ヲ以テ規約ヲ制定シ第二號ノ如ク區有林手入品評會ヲ規則ナルモノヲ設ケ大ニ之ニ力メタリ其后明治三拾八年京都府ノ模範林並ニ苗圃ヲ當地ニ設置セラレテ以來林業思想ヲ助長セシメタル事與テ力アリ越ヘテ四拾三年ニ至リ府郡ノ當局ハ部落有財産ノ統一ニ關シ極力獎勵セラル、ニ際會シ前述ノ林野ヲ以テ基本財産ヲ造成スルノ規約ノ殆ンド滿期ニ到着セル爲村ノ有志ハ理想ノ統一ヲ了セント種々畫策シ四拾三年九月之ニ關スル第一回ノ會合ヲナシ現在ノ土地立柴以上ノモノハ一指ヲモ掛ケズ統一ノ調査方針ヲ立ル事ヲ約シ村長ヲ委員長ニ村會議員ヲ委員ニ托シタリ

二、部落有財産統一ノ狀況

前項ニ述タル如ク四拾三年九月之ニ關スル第一回ノ會合ヲナシ調査ニ着手セントスルニ際シ不幸ニモ九月拾五日ヨリ拾一月三日ニ亙ル間ニ於テ村内ニ最モ恐ルベキ赤痢患者十三名ヲ出シ之ガ收容治療ニ忙殺セラレ村吏ハ日夜惟レ日モ足ズノ狀ナリシ爲調査延引シ十一月下旬ヲ以テ終了ヲ告タリ依テ直ニ十二月一日ニ一部落ヨリ五名宛ノ代表者の有志者ヲ召集シ別紙第三號書ノ趣意書ヲ配布シ協議ヲナシタルニ滿場一致是

認シ各部落ニ引取り之ノ趣旨ヲ徹底セシメ異議アル部落ハ一週内ニ委員長へ申出委員長ハ更ニ説諭ノ方法ヲ講スベク約シタリ然ルニ別ニ異議ノ申出ナク拾二月十三日村會ヲ開キ區會ノ代決トシテ理想ノ如ク土地立木共全部些ノ物件ヲモ殘サズ無償無條件ニテ統一ヲ了スル手續ヲナシタリ其當時ノ物件ハ臺帳面ニ記載スル所左ノ如シ

區名	山林	反別	田反別	宅地反別	畑反別	合	計
中臺	三八〇反八一三	：	：	：	反三一	三八一反一二四	
橋瓜	九九〇、三一四	：	：	二〇三坪	四〇三	九九〇、七一七二〇三坪	
和田	二五〇、〇一二	：	：	二二	一二六	二五〇、二〇八二二坪	
井脇	九二三、三二六	：	：	八四	〇一七	九二三、四〇三八四坪	
大朴	二五八、六二九	八反二貳二	五八三	：	：	二六六、九二二五八三坪	
井尻	三〇二、四一三	：	二九坪	：	：	三〇二、四一三二九坪	
八田	四三一、〇一三	：	：	二、二二九	：	四三三、三二二	
小野	一三〇、九一三	二、九二九	：	：	〇〇九	一三三、九二一	
計	三六六七、七〇三	一一、二二一	九二二坪	三、三〇五		三六八二、二二九九二二坪	

而シテ之ガ實測反別ハ陸地測量參謀本部ノ圖ニヨリ算出スルモハ約千四百余町ニシテ内二十年生以上ノ松林約三十町歩十年生以上約三百町 (四十四年ノ松茸採取料ハ六百余圓) 蕪炭林二百五十町歩京都府摸範林四十町歩其他從來ノ綠肥採取並ニ年輪不整ノ雜木地並ニ人造植込地等錯雜シテ八百余町歩此内谷間ノ比較的良キ地味ノ處ニ人造植栽セシハ左如シ

一、杉松ノ植込總數五万一千一百十本 (各部部ニテ植込シ明治二十二年ヨリ全四十三年迄ノ間ニ於ル)

一、杉松植込總數五万本 (三十七八年戰役紀念トシテ村ニ於植シモノ)

三、統一後ノ保護並ニ計畫

一、統一ヲ了シタル四十三年度ニハ杉松二拾余町歩ノ植込ヲナシ四十四年夏期ニ京都府林務課ニ乞フテ將來ノ營林計畫設計成リ適地三百二十町歩余ノ人造植込ト (平均一ヶ年三十二町余ヲ十ヶ年繼續植込ムモノナルモ四十四年並ニ大正元年二年ハ約四十町歩ヲ植込豫定トス) 其他三百町歩ノ松林 (天然並ニ向後十年後ヨリ二十年間ニ改造スルモノアリ) 三百町歩ノ萌芽林 (天然) ヲ村營林トナシ殘ル反別四百余町歩ハ別紙第三號書ノ如ク村内農民ノ肥料用綠肥採取地トシテ貸付クルノ制トナシ目下荆棘及雜木等凡テ刈取整地中之ハ主トシテ田地ニ接近スル山地ノ七八合若クハ半合以下ノ部分ニ設ク故ニ向後五ヶ年以内ニシテ全ク整理終レ

ハ判然ト區別ヲ認ムルニ至ルヘシ

#### 四、將來ノ收利豫定

一當地ハ松茸ノ產地ニシテ西南ニ面ジタル中腹以上赤松林ニハ多ク産ス故ニ此方面ノ山ハ重ニ赤松仕立ニナシ大正二年度ノ松茸採取料ハ八百圓ノ豫定ナルモ本村ノ松林ノ大部分ハ十數年生ナルヲ以テ向後數年間ニ著シク増加ヲ見ルベク大正十年度ニハ少クモ數千圓ニ昇ルノ豫定ナリ而シテ松材ハ伐期四十五年ト定メ輪伐スル事トナシアルモ主トシテ松伐採取ニ影響セザル様注意シテ輪伐更新ヲ行フ

一萌芽林ハ目下十數年生ノモノ多ク伐期ヲ十五年ト定メ連年二十町歩ノ伐採ヲ行ヒ得ベキナリ

一人工造林中杉扁柏ハ六十年ヲ以テ一輪伐期トス連年植栽シツ、アルモ明治四十三年以前ノ植込苗數拾万余アリテ其年齡不整早キハ明治二十年、二十二年頃ヨリ四十二年迄ノ間ニアリテ最モ多キハ三十八、三十九四十年ノ頃トス

次ニ四十三年度以降十ヶ年間ニ豫定ノ三百二十町ヲ植込ムトキハ百年目ヨリ法正林トナシ得ベク然ル曉ニハ松杉扁柏一ヶ年ニ三万七千尺ノ雜木三百八十棚ヲ伐採ナシ得ベク一尺ノヲ平均壹圓五拾七錢弱トシ一棚ヲ參圓五拾錢トスレバ毎年ノ總收額五万九千餘圓トナルベキナリ

#### 五、其他ノ利益

以上ハ施業者即チ村タル法人ノ收利ヲ述ヘタルモノナルモ第一項並ニ第二項ニ述ベタル如ク當地ノ大部分ヲ占有スル山地ヲ遺憾ナク利用シ得テ大ハ國土保安ヨリ村住民ニ及ス影響ノ甚大ナル洪水並ニ旱害防止ハ素ヨリ農閑期並ニ農業ノ余暇ヲ利用シテ多大ノ勞銀ヲ得近時追々窮迫スル生活難ヲ免レ得ヘク其上小人閑居不善ヲナスノ害ヲ防キ衣食足リテ禮節ヲ知ル等諸種ノ利益アリテ農村振興人心統一等有形無形ノ利益アリト信ジテ疑ハズ

#### 結 論

前述ノ如クナルガ故ニ林業ヲ以テ本村第一ノ村是トナシ一日モ早ク之ヲ遂行ヲ期スヘク村民一致努力スル所以ナリ

#### 檜山村基本財産期成同盟會規約

夫レ町村ニ基本財産ノ必要ナルハ尙吾人一家ニ必要ナルカ如シ之レナクハ其基礎確立スル能ハズ其自治經營鞏固ナル能ハズ曷シテ獨リ其事業ノ盛美ヲ期スルヲ得ベケンヤ假令盛況ヲ呈スルモ一時ノ現象ニシテ決シテ確乎不動ノモノニアラザルハ識者ヲ待タズシテ明カナリ然ラハ之ヲ造成ノ道如何假令名案妙計タ



リトモ少時ニシテ多額ノ資産ヲ作ルハ到底望ムヘカラズ故ニ宜シク適當ノ計畫ヲ立之ニ幾多ノ星霜ヲ假シ其成功ヲ期スヘキナリ本會ノ爲サントスル處ハ今ヨリ三十年ノ後ニ至リ約五萬金ヲ造成スルニアリ而シテ其經營ハ十ケ年ニ壹萬貳千五百余金ノ財産ヲ作り之ヲ本村基本財産基金ニ寄附シ爾后二十ケ年保護殖利十ケ年倍ト仮定シ即目的ノ額ニ達スルニアリ今ヤ奮起此同盟ヲ創成セバ聊カノ痛痒ヲ感セズ此所志ヲ遂行シ得ヘキナリ諸士來リ加盟シ其成功ニ貢獻セラレンコトヲ希望ス

明治三十四年十二月

發起者誌

第一條 本會々員ハ全村ノ有志ヲ以テ組織シ所志ノ成功ニ貢獻スルノ義務アルモノトス

第二條 本會ノ目的ハ明治四十四年ニ至リ壹萬貳千五百圓ノ財産ヲ作り基本財産基本トシテ本村ニ寄付スルニアリ

第三條 各區一戸ニ付十ケ年後ニ約貳拾七圓以上ヲ得ル率ヲ以テ各區有ノ山林ヲ基本財産候補ニシテ本會ニ提供シ十ケ年後ニ充分ナル調査ヲナシ一括シテ前條ノ額ヲ得ルナリ

第四條 各區ノ戸數三十四年下半期ノ府稅賦課戸數ニ依ル即下記ノ如シ中臺、六九 橋瓜八九、和田五四、井脇七二、大朴五四、井尻六二、八田四八、小野一五、

第五條 十ケ年後調査々定ニ際シ山林寄附ニ代フルニ金員ヲ以テスルモ妨ゲナシ

第六條 提供地ハ既成林ナレバ其儘保護シ芝草山ナレバ火及鎌入ヲ止メ且ツ防火線ヲ設ケ要部ニ杉檜苗ヲ植込ムモノトス

第七條 提供地ハ權利關係者ハ一同寄附承認ノ証ヲ差出スモノトス 第一號式

第八條 山林ノ手入ハ八ケ部(各區)ニ分チ各部分掌ス

第九條 前數條ノ全費ハ各適當ノ方法ヲ設ケ支辨スル事

第十條 本會事務所ハ本村役場内ニ置ク

第十一條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會頭 一名 副會頭 一名 幹事 八名 委員 廿三名

第十二條 各役員ハ任期五ケ年トシ正副會頭ハ總會ニ於テ選舉シ幹事以下ハ會頭之ヲ囑トス

第十三條 各役員ハ無報酬トシ必要ノ實費ヲ支給ス

第十四條 第十條以下ノ經費ハ寄付金及村ノ補助ヲ得テ之レヲ支辨ス

區有山林品評會規程

- 一、目的 本村內各區ノ區有山林ノ保護植林ヲ獎勵シ將來ノ財產力涵養ヲ計ルニアリ
- 二、開催 初會ヲ明治三十六年春期ニ爾后五ケ年毎ニ開催スルモノトス
- 三、審査 各區ヨリ一名宛ノ審査員ヲ採用シ審査長ハ農會長トシ實地巡回審査ヲナスモノトス
- 四、第二次ノ品評會ヨリ左ノ二種ニ分子審査ス
  - 甲種 橋瓜、中臺、井脇、八田、小野
  - 乙種 和田、大朴、井尻
- 五、每品評會ノ審査ハ前回品評會以後ノ成績ヲ審査ス
- 六、褒賞左ノ各等ニ分子授與スルモノトス
  - 甲種 一、二、三等、
  - 乙種 一、二、三等
- 七、雜則各區長ハ品評會ノ通知ヲ受ケタルトハ左ノ調査ヲ農會支務所へ提出スベシ
  - 一、惣個所數
  - 二、惣反別
  - 三、鎌止又ハ火留ヲナシタル總反別

四、全個所數

五、樹種ヲ植付タル反別並ニ樹種及樹數

六、審査要求ノ主眼 (例令ハ明治何年ノ頃ヨリ何々何本植込又ハ何々ノ目的ヲ以テ何々立山等其造林ノ經營一斑ヲ記ス)

明治三十六年拾二月

明治四拾三年拾二月一日各區有志代表者集會ニ提出ノ趣意書

部落有財產ヲ村有ニ統一シ保護植栽ヲ試ムル目的ハ主トシテ左ノ三トス

(一) 國富ノ増進ヲ計ル事 (二) 一村ノ經濟的獨立ヲ計リ自治ノ基礎ヲ鞏固ニスル事

(三) 部落割據ノ弊ヲ去リ村內ヲ打テ一丸トナスコトナリトス尙之ニ伴フ副利ハ植栽ニ保護ニ伐採ニ搬材ニ葦類ノ採取ニ多クノ人手ヲ要シ農閑期ニ多クノ賃銀ヲ得ルノ道ヲ開ク事ノミナラズ水源涵養洪水防止所謂國土保安ヲ得土地農業ニ幸福ヲ與フル事等枚舉ニ遑ナク何ノ方面ヨリ打算スルモ一モ之ニ反對ヲ唱フルノ理由ナシ故ニ村內八部落有ノ財產全部有ノ儘無償ニテ統一セントス幸ニ御同意盡力アラン事ヲ全會提出ノ見積價格割出意見書

村內各部落有財產ハ過般來一同巡回視察ノ結果左記ノ價格ヲ推算ス其方法タルヤ最狹面積ノ山地ヲ有スル

和田大朴ハ一筆毎ニ價格ノ見込ヲ定メ計上シ井尻ハ之ニ準ジ推定シ其他廣面積ノ部落ハ最モ多キ八田區ヲ約五六百町歩ト推算シ一町歩七拾圓宛即四方圓其他ハ廣狹ノ目測並ニ流水ノ多少ト立毛ノ多少等ヲ參酌シ推定シタリ要スルニ之ヲ人材ニ譬フレバ和田、大朴、井尻ノ三區ハ中等程度ノ教育ヲ終了シ實業界ニ飛出シ多少ノ報酬ヲ受ケツ、アル所謂半バ既成品ニシテ今后老熟スルニ從テ昇進スルモノ、大雄飛ハ望ナク橋瓜井脇ハ高等程度ノ學校ヲ今ヤ卒業間近ニシテ最早成功ハ疑ナク今後數年ニシテ大ニ雄飛ノ望アリ其他ノ三部落ハ最モ俊才ノ小學兒童ニシテ後來大ニ望アリト雖モ今後多クノ資本ヲ貢ギ込年月ヲ假シテ成功ヲ望ムベク所謂全然未成品ナリ之カ資本ト監督ノ程度ニヨリ博士大官大實業家タルヲ望ムヘキモノニシテ一得一失ハ免ルベカラズ幸ニ諒セラレヨ

區名	評定	價額	戸數	一戸當金額
中臺	一五、〇〇〇	〇〇〇	六一	二四五九〇
橋瓜	二五、〇〇〇	〇〇〇	九三	二六八八一〇
和田	一〇、〇〇〇	〇〇〇	五八	一七二四一〇
井脇	二〇、〇〇〇	〇〇〇	七三	二七三九七〇

明治四十三年十一月十日

村會議長 視察員 一行

大朴	井尻	八田	小野
一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	四〇、〇〇〇	一五、〇〇〇
〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
六〇	六八	四三	一四
一六六六六〇	一四七〇〇〇	九三〇二三〇	一、〇七二四二〇

第四號書

綠肥採取地貸下規程

- 一、村有山野へ入會ノ慣行ヲ改メ地域ヲ定メ個人ニ貸付スルノ制ヲ採用ス
- 二、本規程ハ可成の小時間ニ多クノ綠肥ヲ得豊富ニ堆肥ノ原料ヲ給スルト同時ニ山野ノ利用ヲ經濟的ナラシムル目的ナリ
- 三、我村ノ農作ニハ主トシテ堆肥ヲ用ユル事ヲ獎勵ス故ニ採取場ハ人々ノ綠肥使用高ニ應シ貸付ス
- 四、綠肥ヲ採取シ他人へ販賣スルモ妨ナシ

但村外へ販賣ヲ許サズ

- 五、採取場ハ一區域ノ使用料一ケ年夫役一人トス
- 六、採取場ハ十ケ年ヲ一期トス
- 七、不要採取場ノ返納又ハ新ニ貸付若クハ増貸下ヲ望ム者ハ隨時申出ヅヘシ
- 八、採取場ハ向後五ケ年ヲ期シ荆棘其他不良ノ樹根ヲ去リ平一面ノ綠肥地トナスヘシ怠ル者ハ返付ヲ命ズ
- 九、採取場ニハ標札ヲ設ケ相互誠意ヲ以テ他ヲ犯スヘガラス
- 十、採取場ハ麓ヨリ整理シ手ノ行キ届サルキハ上部ヲ殘スベシ
- 十一、綠肥採取場ハ可成的耕地近キ山地ニ麓ヨリ山頂ヘ向ケ區劃シ峰部ハ鑿止シ立木林ヲ仕立ル者トス

納税並興産組合

- 第一條 本組合ハ組合員一致共同シテ左ノ各項ヲ遂行スルヲ以テ目的トス
- 一、納税ノ義務ヲ重シ期日ヲ誤ラス納入スル事
- 一、各自産業ニ奮勵シ本村目的ノ五ケ年計畫ノ遂行ヲ期スル事
- 一、勤儉ト風紀ノ向上ヲ計リ道德的經濟ノ發達ヲ期スルコト

一、組合貯金勵行スル事

- 第二條 本組合ハ檜山村大字 小字 垣内 名ヲ以テ組織シ 組合ト稱ス
- 第三條 本組合ニ組長一名副組長 名ヲ置キ組合ノ事ヲ周施セシム
- 第四條 組合員ハ納税期日前ニ傳令票ト現金ヲ豫托スルカ期日午前中ニ納税済証ヲ組長ヘ差出スヘシ
- 第五條 組合員ハ隣保相扶クルノ美風助長ヲ計リ時ニ集合協議シ目的遂行ノ方法ヲ講スルモノトス
- 第六條 前條協議ニ決定ノ事項ハ相互ニ服從ノ義務アルモノトス
- 右規約必行ヲ誓ヒ署名捺印ス

明治四十五年三月

山城葛野郡嵯峨村

檜山村ヲ發シ陸路五里自働車上ノ客トナリ團部驛ニ至ル午後三時全所ヲ發關西線嵯峨停車場ニテ下車嵐山公園ヲ經嵯峨村役場ニ達ス首府京都府ヨリ西北ニアル丹波口ナリキ全村書記ノ案内ニテ彼ノ有名ナル野々宮竹林ヲ視察シタリ今其概略ヲ記セハ

一竹林面積ハ頗ル廣大ナルモ何レモ一己人持ニシテ貳反歩若クハ三反歩位宛境界線垣アリ然レモ該竹林内ニ

ハ縦横十文字幅一丈以上ノ車道ノ設ケアリ之レ等ハ竹林ノ手入雜草ノ刈採施肥伐採運搬等ノ便宜ナリト云

一竹林面積五町歩以上  
一竹林ノ伸長、二丈六七尺ヨリ三丈ニ至ル  
一竹ノ太サ 七八寸廻リヨリ壹尺以上

一竹 質 質上等ニ頗ル堅シ  
一土 質 總黒土ニシテ砂礫ナシ平坦ニシテ肥沃ナリ

以上ノ如クニシテ各持分區域ニ四方境界線ニ排水ノ溝ヲ作り水ノ停滞スルヲ防キタリ肥料ハ厩肥、糞、雜草等ヲ竹林内ニ敷詰居レリ之レハ除草手入ヲ省ク而已ナラス一面土地ヲ肥沃ナラシメ夏季乾燥セサル爲ナリ除草ハ懈怠ナク取除スルヲ要スト云フ

一壹反歩收穫上リ金高八拾圓以上壹百圓以内トス

但此計算方法略ス

一輸出販路ハ多ク東京横濱市地方ナリト云フ

右ノ次第ニテ我地方ニモ適切ナル竹林栽培法ヲ講セラレ頗フル有益ナル經營ナレバ本業ノ盛大ナラン事ヲ

望ム

一戸數千百三戸 人口六千五拾七人

男三千七拾八人  
女二千九百七拾九人

一土地

田	二二四町四一〇〇	畑	七六町三八一八	宅地	五三町一五一七
山林	二六三三、九二六				
内竹林	六五〇、〇〇〇	原野	一町五八一八		

信用組合資本金壹千八拾圓 肥料共同購入貸付ヲナシ居レリト云フ

青年會 一ヶ年四回大會ヲ開ク惣人員ハ貳百六拾名而シテ會費一ヶ年一名參拾錢宛ノ組合貯蓄ヲナシ居レリ

此基本金七拾圓アリト云

毎年十月ヨリ翌年三月迄ハ夜學研究ヲナス之レハ拾區ニ分テ學校教員ヲシテ分擔教示セシム之レガ  
手當トシ教師一人一ヶ月金參圓宛ヲ支給ス毎年村稅ヨリ金百圓ヲ補助セリ尙青年會員ハ一ヶ年二度  
入營軍人ノ慰問ヲナシ居レリ

大正三年度村稅總額ハ金壹万八千四百圓貳拾三錢四厘

但之レガ各戸別當一戸平均九圓其殘額ハ地租ト特別稅トシテ一反步當リニテ徵収ノ方法アルモ之レハ別ニ必要ヲ認メサルニヨリ略ス其他各種ノ販調ヲ遂クル暇ナカリシヲ以テ之ヲ省ク

右ニテ嵯峨村ヲ出發シ嵯峨驛ヲ午後七時關西線ニテ發車シ京都市七條停車場ニ着午後拾時東海道線ニ乘換靜岡停車場ニ着セシハ翌午前六時全日午前拾時靜岡縣廳へ出頭シ堀田技師ニ面謁山林施設經營ニ係ル視察上ノ指導ヲ求メタルニ鳥居郡長ヨリ命ゼラレタル田方郡多賀村ヨリハ伊豆國田方郡上大見村遠江國小笠郡倉真村ノ二ヶ村ニ變更スヘシト添書ヲ附與セラレタリ午後一時退廳直ニ靜岡停車場ヲ午後二時十分ニ發沼津驛ニテ下車夫ヨリ電車ニテ三島驛ニ至ル午後七時十分發車シ大仁停車場へ午後九時二十分着一泊翌午前八時大仁停車場ヲ發シ陸路三里二十町其間道路改修セラレ道幅二間以上馬車荷馬車等往復頻繁ナリ下大見村中大見村ヲ經上大見村ニ至ル間ハ何レモ山高ク谷深ク橋梁縫フカ如ク水態激流人家散在セリ桑園ヲ植付アリシモ極メテ粗惡ナリ或ハ實地ニ適セサルヤノ感アリ殊ニ其日大降雨ニテ頗フル困難ヲ極メタルモ漸クニシテ目的村ニ達スルヲ得タリ

靜岡縣田方郡上大見村

一位 置

靜岡縣廳ヨリ東南ニ方リ靜岡停車場ヨリ大仁停車場迄流車四拾七哩大仁ヨリ村役場迄陸路三里二拾町ナリ

一村ノ成立

大字、木下、千万町、石原、龜穴、明見、中金、河原、雨山、大代、ノ九大字ナリ

一村ノ機關

名譽職村長一名 有給助役一名 書記三名 雇一名 常設委員及區長八名 傳染病豫防委員一六名

一教 育

就學歩合男百人ニ對シ九拾四人女百人ニ對シ百人學務委員ハ公民中ヨリ就職セルモノ六名教員中ヨリ就職セルモノ三名

一學務委員會開會一ヶ年三回ナリ

一貧窮兒童ノ補助ヲ定メタルハ金四圓二人六圓二人五圓一人拾圓一人

一通俗教育及補習教育アリ一月四日ヨリ十月迄ノ間ニ於テ已ニ卒業セシ女子補習ノ爲メ小學校内ニ於テ女子短期講習會ヲ開キ開催セラレツ、アリ其講師ハ校長以下四名ナリ女子ノ集合ヲ利用シ小學校教員ハ家庭教育衛生修養並ニ時事ニ關スル事項ヲ講演セラレ其回数八回ナリト云

一 豫定學校林ノ保護

一 中野學校林五町八反五畝四步

(防火線修理人夫二十五人  
防火線刈取及燒棄人夫二十五人)

一 頭砂原學校林十一町三反六畝七步

(防火線修理人夫十二人  
下蒔人夫及防火線燒棄人夫八十七人)

一 農業補習學校ハ生徒五十七人ニシテ三學年ヲ二學級ニ編成シ教員ハ正教員五人准教員一人之レヲ擔當シ漸

次補習教育ノ實ヲ舉ケツ、アルモ學業學校トシテ完全ノ教育ヲ授ケントスルニハ實習地其他ノ設備ヲ要ス

ルモノ少カラザルヲ認メタリ

一 圖書館大正二年末三百拾九卷

四百一冊

一 本年度購入書籍壹卷

壹 冊

一 全寄贈書籍十六卷

十七 冊

一 學校基本財産現金五千參百參拾八圓參拾四錢貳厘內金五千六十八圓四拾錢ハ銀行預金利率年九朱尙貳百六

拾九圓九拾參錢參厘ハ個人ニ貸付年利率一割二分

一金壹千六百五拾圓貳拾八錢年利率九朱ニ銀行預金トナス

一 戶籍人口 二千六百四十人 男千三百五十八人 女千二百八十九人

出寄留者 男女二百九十八人

入寄留者 男女九十八人

在營及外國居住者 二十三八

現住者 男千二百八十九人

女千二百三人

拾五年以下男女九百五拾人拾五年以上六十年以下男女一千四百四十九人六十年以上男女二百五十二人ナリ  
ト云フ

一 基本財産

基本財産現金壹千六百五拾圓貳拾八錢ハ口濱銀行上大見出張所へ年九朱ノ利率ヲ以テ定期預金トシテ預入

アリト云フ

一 勤儉貯蓄毎戶壹ヶ月五錢宛ノ貯蓄ヲ爲シ居レリ

一 衛生

春秋二期及臨時三回ニ一般清潔方法ヲ施行セリ全時種痘ヲ施行ス第一期一回三十八人第二期一回二十三

人第二期第一回五十八人第二期第二回十人トラホーム患者檢診ヲ施行シタル成績左ノ如シ

檢診人員貳千參百八人 内重患者ナシ 輕症患者二十四人

一土 木

大正二年ヨリ計畫セシ里道戸倉野高石原ヨリ分岐シ西洞改修道路延長二百七十二間ハ大正三年四月廿日ニ着手五月三十日竣成シタリ其工費六百九拾五圓貳拾七錢其他笹場里道橋梁架換ニケ所屬ノ場里道橋梁架換ニケ所原保堤防修繕工事等此工費合計壹千六拾八圓四拾六錢參厘ナリ其他復舊工事費ノ壹千余圓ハ當該大字村ノ助力ヲ得悉ク復舊工事ヲナサシメタリト云フ

一勸 業

村農會ガ農事ノ獎勵虫害ノ豫防等ノ爲郡ノ補助ヲ受ケ施設セラレ居レリト云フ

一蠶病豫防組合

一蠶宇蠶具ノ消毒其他ノ豫防督勵ノ爲郡費ノ補助ヲ受ケ實施シ居レリ

一野猪ノ被害年々増加ノ傾アリ豫メ威銃使用ノ許可ヲ受ケ被害ノ届出ニ對シ實行ナシ居レリト云

一麥奴ノ驅除苗代田及本田ノ害虫驅除ハ尤必要ト認メ農會ト共ニ實行督勵ヲ加ヘ居レリト云フ

一桑新植獎勵ヲ爲サントシ壹反歩以上ノ新植ヲナスモノニ對シ相當ノ補助ヲナシ居レリト云

一稅 務  
一國 稅

田 租	壹、二九二、五四〇	宅地租	三三九、三三〇
畑 租	一九四、五五〇	雜地租	九八、四一五
所 得 稅	三二〇、六一〇	營 業 稅	一八八、〇六〇
自家用醬油稅	四三、五〇〇	賣 藥 稅	九、〇〇〇
合計	二、五八六、〇〇五		
一縣 稅			
地 租 割	一、一七七、五〇五	戶 數 割	一、〇八七、九五〇
雜 種 稅	一五貳、七九〇	營業稅附加稅	二六、一九〇
捕鳥獸稅	四、二〇〇		
合計	二、六八三、一七五		
一郡費分賦額	壹八七、五四〇		
一村 稅			



戸數割附加税	壹、三、七、四、四、八〇	地租割附加税	三、七、七、四、七、二、五
國稅營業稅附加税	二、八、〇、九〇	所得稅附加税	六、五、壹、九〇
賣藥稅附加税	三、六〇	縣稅營業稅附加税	九、六、壹、九〇
縣稅雜種稅附加税	六、六、六、九〇	合計	四、〇、〇、八、七、五

以上ノ如ク列記セルハ大正三年中ノ國稅縣村稅ニシテ徵稅令書ヲ發シタルモノナリ納稅ハ怠慢ノ嫌ナキニアラズト雖モ督勵ノ結果一人ノ滯納者ナク漸次怠慢ノ弊ヲ矯メ改善シ得タルハ自治發達上最モ喜フヘキ限ニシテ實ニ優良ナル町村ナリト認稱スルノ外ナシト思考ス

一 推茸栽培方法

「クニ木 シデ しひノ木」等ニテ生木 十五六年ノ生木ヲ落葉期節ニ伐採シ日向ノ最モ暖イ個所ヲ撰ミ之レヲ四尺若クハ五尺位ニ伐リ小成シ土ニ添付セサル樺枕木ヲ置キ乾燥セシメ曳ノ小屋建ニ組建設置スルモノトス推茸發生時期ハ二月上旬ヨリ四月下旬冬ハ十月上旬ヨリ十一月下旬發生スルモノナリト云今一ケ年ノ收益金高壹万五千圓以上製造方法ハ推茸ヲ採收ノ儘日向ニ乾燥セシメ居レリ若シ雨天ナレハ竹串ニテ火力ヲ用ヒ乾燥スルモノトス成ヘク空氣ノ流通シ得ル場所ヲ撰定スヘシ之レガ賣買販路ハ東京横濱

ル

市ニシテ多クハ仲買人へ賣買ナシ居レリト云フ

一 葵仕附方ハ御料地ヲ拜借シタル拾八町歩ノ内二町歩ヲ各大字村民ニ貸與シ五ケ年ヲ一期トシ一ケ年二町歩ニ對シ料金四百圓ヲ村ノ收益トナシ居レリ其價格目方正味三貫五百匁ヲ（一個ト稱ス）ヲ最上等壹個拾五圓中等物七圓下等物五圓ナリ此壹ケ年ノ收益高壹万五千圓ナリト云

一 造 林

土質（赤砂交リ土）杉ハ實地ニ適スルモ檜ハ適當セズト云フガ中ニハ檜ヲ植付アルヲ見ルモ生育惡敷ト感シタリ五十年以上ナラデハ伐採收益ヲ見ルコト難シト杉ハ適當ナルカ生育良好ニシテ三十年間生育スレハ用材ニ伐採收益ヲ見ルハ疑フヘカラズ多クハ杉ノ栽植ニシテ松ハ極テ少シ

一 神代 杉

全國ニ類ナシ年月末詳ナルモ其昔兩部落ニ於テ噴火林アリ其當時山林ノ大木ガ地中ニ埋メラレタリト云今村民探索ヲナシ居レリ若之レヲ發見セバ杉一本ノ價格壹千圓以上ナリト云聞クガ儘ヲ記スルモ實ニ昔嘶ト云ハサルヲ得サルノ感アリ

財產表 田ノ部

計	地蔵堂	全	全	地蔵堂	筏場	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
	中野洞山	川移	五ノ澤	全	平野	西小嵐	全	西小嵐	頭砂原	川移	東小嵐	全	全	五ノ澤					
	八四三	八二四	八〇七ノ二	八四二ノ二	八四二ノ三	八一九ノ二	八一九ノ二	八一七	八二五	八二三	八一〇	八〇八ノ一	八〇七ノ一						
	一一一四反六三三	一、〇〇四	〇一九	一、〇二二	二二二	一一三	三二〇	二二三	二二一	三三九	一、五一一	六一四	四二二						
	四四九山〇三〇	二四、三二〇	五七〇	二四、九六〇	六、四八〇	八、〇八〇		三、四〇〇	五、三五〇	九、九一〇	三三、七三〇	一三、一六〇	一一、七五〇						
	佐藤清吉	塩谷佐二郎 外壹人	塩谷余作 外二人	海老名五郎左工門 外二人	萩原辰三郎	右全人	高村惣 外一人	鹽谷泰三	鹽谷吉兵衛	小倉菊雄	高村惣 外二人	塩谷儀作 外二人	右全人						

全	全	全	筏場	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
川移	中野八丁	全	川移	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
八二三	八四五ノ二	八二二	八二〇	八一六	八一八	八一五	八一三	八一三ノ二	八一三ノ一	八一	八〇四	八一四	八一四						
一、〇一〇	一、三〇〇	三〇七	三一〇	一、二〇二	二二	二二三	五〇四	三〇一	一、九二五	二、三二八	五〇〇	反七〇二							
二五、八二〇	五七、〇〇〇			四二、一一〇		九、八六〇	一四、七六〇		五七、一四〇	六二、九一〇	一一、三三〇	二二、〇一〇							
高村惣 外壹人	右全人	右全人	鹽谷和二郎 外二人	鹽谷德次郎 外三人	右全人	山下利右衛門	遠藤助三郎	右全人	右全人	鹽田佐一 外九人	鹽谷儀作 外壹人	鹽田余 外壹人	貨付人名						

御料地借地山葵田ノ部										
全	全	全	全	全	全	菅引	全	全	全	全
全	全	全	川ノ入	全	全	菅ノ木	全	小	全	全
三三二	三一	二九	三〇	二二	一一	一〇	八	一三	二三	一九
二二三	四二六	〇二四	〇一一	〇二三	一一三	二〇九	一二四	八二五	一〇四	一四
一〇、〇〇〇			三七〇	三、八〇〇			七五〇	一五、〇〇〇	一、二〇〇	五、〇〇〇
全	全	山	海	全	全	全	内	全	高	山
人	人	口	考	人	人	人	田	人	村	口
		重	名				大		惣	作
		兵	モ				作		作	兵
		衛	ロ						平	衛

御料地拜借山葵田ニシテ料金ヲ野澤ノ分ニ併セ徴收スル分

全	全	全	全	全	全	全	全	計	全	全	地
全	全	全	全	全	全	全	全	計	全	全	藏
全	全	全	全	全	全	全	全	計	全	全	堂
三九	三八	五	一ノ二	三△	二	四	七	一六六	一六四	四四	向
五二七	〇二八	一〇	二二九	一〇六	四二六	二六	三	四、八〇二	四一〇	八二二	小
				九七〇				一一七、九七〇	六七、六五〇	一三、〇〇〇	屋
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	萩
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	原
	幸	余	吉	林	徳	利	助		辰	田	辰
	外	余	衛	平	次	左	三		三	吉	郎
	二	作			郎	工	郎		郎	平	
	人				外	門			外	外	
					壹				壹	壹	
					人				人	人	

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
			筏場			原保				原保			
全	上カイト	新屋戸	中ノ田	中村	全	原保開戸	上ノ臺	全	權臺	全	上押切	全	全
六四ノ五	六三ノ四	四八ノ四	二四ノ三	二五六ノ三	二三八ノ三	二三六ノ三	一二八ノ六	九五ノ四	九三ノ五	九一ノ三	六八ノ二	二三七ノ五	二三七ノ四
四	五	三	一五	九	二三	一〇一	〇二五	一六	一〇七	二三	二〇〇	一	二

全	全	全	地蔵堂	筏場	全	全	全	全	全	全	全	計
				西畑頭砂原								田ノ部
全	金山	全	下カイト		全	全	全	西畑頭砂原	五ノ澤	全	頭砂原	
二三七ノ六	二三七ノ三	一三ノ四	一〇ノ二	八〇四ノ五△	八〇四ノ六△	八〇四ノ四△	八〇四ノ三△	八〇四ノ三ノ四△	八〇七ノ四	八〇四ノ二	八二六	
				一、三〇三	一、一一〇	二〇	五二一	一、〇二二	三、七一九	一、二三三	一、反五二三	一、七二一
四	一〇	二七	一五	二、六〇〇	三、三〇〇	二〇〇	一、六〇〇	二、六〇〇	六、〇〇〇	三、七〇〇	四、五〇〇	四、九七〇
				盛 谷角次郎	全 人	全 人	八 木下金作	盛 谷 林 平	盛 谷和次郎	全 人	八 木下金作	
												四九七〇

全	戸倉野	原保	原保	全	筏場	地藏堂	原保	畑ノ部	計	全	全	全	戸倉野
東耕地	高石原	柚木	上押切	五ノ澤	三ノ澤	中野	下押切			全	東耕地	全	高石原
一四七ノ四	一三ノ七	四三九ノ四	六五ノ二	八〇七ノ五	五〇八ノ五	八四六	一ノ一			一四八ノ二	一四〇ノ四	三二ノ四	三一ノ二
一一	一一	〇二一	一五	一一三	三	四二三	二二六	二五反三三四		二	一九	二四	〇〇八
								二四四五〇〇					

全	戸倉野	費僧坊	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
高石原	東耕地	澤田	全	四ノ澤	全	二ノ澤下	石丘	全	大蒔	大石野	小畑	全	下福石	
三〇ノ三	一四八ノ三	三七ノ四	五二三ノ三	五二二ノ五	四七九ノ六	四七九ノ五	四一七ノ四	三四五ノ四	三四五ノ三	二九三ノ七	二〇九ノ五	一三一ノ四	一三一ノ三	
二九	一六	一〇	一	九	一〇	九	六	八	一	〇二七	八	六	四	

全	全	全	全	全	宅地ノ部	計	貴僧坊	全	貴僧坊	全	後場
四ノ澤	三ノ澤	全	梅ノ木原	中ノ田			上リ段野	全	上リ段野	奥作ノ澤	中野山
五二一ノ三	五〇七ノ一ノ五	三一四ノ五	三一四ノ四	二九ノ六			一八七ノ二	一八七ノ一	一八八	七六六	七二三
							内	内		二七、八二五	一一五、六三三
一四	一一	三	一二	六坪		三八三、四一〇	一、一〇〇	一、一〇〇	一一、一二七	二、二〇〇	
						六、二〇〇	一、四二二	四、〇〇〇	二、一二七	山	山下
										下	磯五郎
										萬	平

全	中原戸	管引	全	全	原保	地藏堂	全	全	全	地蔵堂	計	全
大菅山	北ワクサ 山	ワク澤	全	全	西小山	庄次ノ澤	木樓子	奥庄次之澤	燒マサル	三角山	山林ノ部	久保
三二五ノ一	二九五	五六二ノ一	七〇五	七〇八	七〇二ノ一	七五八	七六一	七五七	七五六	七五一		一七八ノ四
										一〇反〇二〇		一一〇
八、六一九	二四、九〇五	七〇、〇〇〇	七二九	二二四	六、二二二	二二、五二九	四三、八二〇	一三、五二九	九、九二〇			一、二二四









菅引猪野	内	全	全	全	全	全	全	全	全
			二七、四一七				第一五號		全
			二九、一〇四				第六號		全
			一四、七二八				第三號		全
			一二八、四二二				第五號		全
			一〇〇、四二〇				第三號		全
			九一、五二〇				第四號		全
			八、〇一九				第六號		全
			一六、二二二				第九號		全
			四四、一〇二				第二〇號		全
			四、〇〇八				第八號		全
			二三、五二五				第一〇號		全
			四九、七二〇				第一二號		全
			四〇八				第七號		全
			三、九二〇				第七號		全
									全
									全
									全
									全
									全
									全
									全
									全
									全

六

中大見村冷川	大幡野	一、五二五ノ二	三二一、一〇四	靜岡縣へ提供 造林地	實測反別 三五丁九、二〇八
全	全	一、五二四ノ三	三五〇、〇〇〇	全	全
全	全	一、五二二ノ四	一五五、〇〇〇		入會 株 場
全	全	一、五二三ノ一	四八二、三一九		全
全	全	一、五二四ノ四	一六九九、九二九		全
全	全	一、五二五ノ一	二三四〇、九二七		全
全	全	一、五二五ノ四	二一〇〇、〇〇〇		全
全	全	内	一二八、一〇〇		全
全	計	内	一、五二二九、三九		造林地實測反別
			三五三〇、五〇四		

備考 一、反別上欄部△印ヲ付シアルハ御料地山葵田ノ料金ヲ野澤ノ分ト合併徴收ノ分ヲ掲記セシモノ  
ニシテ反別ハ原野内及御料地借地山葵田ノ内ニ含有ス  
二、造林實測反別ノ上欄ニ號ヲ掲記セシハ實測區域ヲ示シタルモノナリ

共有原野ノ部

上大見村中大見村及下大見村ノ内實野

中大見村冷川	大幡野	一、五二〇ノ一	三九四反八二九	入會秣場
全	全	内	二八八、八〇九	縣造林地へ提供
全	全	一、五二四ノ二	二七四四、二二七	入會秣場
全	全	内	二三七五、〇二七	縣造林地へ提供
全	全	一、五二五ノ三	一四一四、三〇八	入會秣場
全	全	内	六〇七、四二二	縣造林地へ提供
全	全	一、五二二ノ三	六五九、二二六	入會秣場
計	計	内	六三九、二二六	縣造林地へ提供
			五二二二、八〇〇	
		内	三九一〇、六一四	縣造林地へ提供
中大見村冷川	大幡野	一、五二一ノ一	反四二二	
全	全	一、五二五ノ二	一一六	

共有田ノ部

中大見村冷川	大幡野	一、五二一ノ一	反四二二	
全	全	一、五二五ノ二	一一六	
全	全	一、五二一ノ二	一一六	
全	全	一、五二一ノ四	三二九	
計	計		一、〇二三	

學校基本財産現金ノ部

一金五千參百參拾八圓參拾四錢貳厘

内金五千六拾八圓四拾錢

但銀行預金利率年九朱

内金貳百六拾九圓九拾參錢參厘

但個人借付利率年一割二分

外ニ金九厘收入役保管シアリ

基本財産現金ノ部

一金壹千六百五拾圓貳拾八錢

但銀行預金利率年九朱

傳染病隔離病舎敷地及學校敷地ノ部

原保東田	全	三九一	七二八	學校敷地
全	三九二ノ一	一一〇	全	
全	三九三ノ一	八二五	全	
全	三九三ノ二	四	全	
全	三八五	一、四一七	全	
全	舞臺	二一九	全	
全	三一九ノ二	六〇〇	全	
全	三二〇ノ一	內石敷二	全	
全	上ノ臺	五二六	傳染病隔離病舎敷地	
全	一一七ノ一	六二三	全	
全	一一六	五、三三二	全	
計				

村有建物ノ部

上大見村役場

原保字西四百拾番地建設

一草葺平屋間口七間三尺奥行五間三尺

此建坪四十一坪貳合五勺

上大見村巡查駐在所

原保字西四百拾番地建設

一瓦葺平屋間口二間奥行四間

此建坪八坪

外支關便所及付屬廊下五坪

傳染病隔離舎事務室醫室小使室

原保字上ノ臺百十六番 百十七番ノ一建設

一瓦葺平屋間口五間三尺 奥行二間

此建坪十一坪

外付屬廊下及支關六坪五合

傳染病隔離病舎重症患者室

右 同 所 建 設

一瓦葺平屋 間口九間三尺 奥行三間三尺

此建坪三十三坪二合五勺

傳染病隔離病舎輕症患者室

右 同 所 建 設

一瓦葺平屋 間口六間三尺 奥行二間

此 建 坪 拾 三 坪

外付屬廊下五坪五合椽側三坪二合五勺

傳染病隔離病舎渡り廊下及消毒所

右 同 所 建 設

一瓦葺平屋 間口九間 奥行一間

此 建 坪 九 坪

外 消 毒 所 一 坪

傳染病隔離病舎死屍室消毒室

右 同 所 建 設

一瓦葺平屋 間口四間三尺 奥行二間

此 建 坪 九 坪

上大見尋常高等小學校々舎

原保字東田三百八十五番地建設

一瓦葺平屋 間口拾五間 奥行五間

此 建 坪 七 十 五 坪

外渡り廊下玄關便所十五坪五合

一瓦葺平屋 間口拾七間 奥行三間三尺

此 建 坪 五 十 九 坪 五 合

外付屬廊下二十五坪五合

一瓦葺平屋 間口拾五間 奥行四間

此建坪六十坪

外付屬渡廊下二十六坪

上大見尋常高等小學校付屬物置場

右同所建設

一瓦葺平屋 間口四間 奥行二間

此建坪八坪

上大見尋常高等小學校付屬運動場使所

原保字舞臺三百二十番ノ壹建設

一亞鉛板葺平屋 間口一間三尺 奥行一間

此建坪一坪五合

上大見尋常高等小學校分教場

普僧坊字宮ノ上山 一九六ノ二番地建設  
一九四ノ五番地建設

一草葺平屋 間口五間 奥行七間

此建坪三拾五坪

外玄關使所三坪七合五勺

上大見尋常高等小學校付屬教員住宅

原保字東田三百九十三番ノ一建設

一瓦葺平屋 間口六間 奥行三間

此建坪十八坪

外ニ付屬物置使所二坪

上大見尋常高等小學校付屬裁縫室

一瓦葺平屋 間口五間 奥行三間三尺

此建坪十七坪五合

外玄關物置及下屋三坪四合九勺

一植林地反別七百九十二町六反壹畝歩内二百二十六町歩ヲ天然林トシテ保育シ四百七十町歩ヲ植付アリ殘九拾

六町六反壹畝歩ハ漸次殖樹ヲナセリ尙千二百四拾二町七畝拾五歩ハ入會秣場トシテ保管シ居レリ

一造林經費ハ到底村費ヲ以テ支出スル事能ハサルヲ以テ各部落ノ負擔トシ其收益伐採ノ節分與スルモノトシ公課ハ村ノ負擔トス

一杉植付仕立ハ從來坪ニ一本ナリシモ當今ニ至リテハ八尺六方ニ一本ヲ植樹スルモノトシ伐採期間ヲ三十年ト定メ居レリ

一苗木ハ各大字村民ニ托シテ仕立テ二年生亦ハ三年生ノモノヲ相當代價ニテ買揚ゲ殖樹セシメ居レリ

視 察 ノ 處 見

一田方郡上大見村施設經營ニ付テハ其頃ニ當リ概述シアレハ之ヲ略ス殖林事業ニ付一言セント欲ス由來上大見村ハ林業ヲ以テ本位トセリ他ノ普通農業商工業ノ如キハ林業ニ附隨シタル副業ニ過キズ其内葵椎茸等ハ稍ヤ著シキモノニシテ林業閑暇ノ季節ハ村一般ノ副業トシテ益々發達セシムル必要アリ

一公有林野ノ面積二千三拾五町三反壹畝十五歩ニシテ頗ル其廣大ナルニ驚キタリ今ヤ村ノ狀態山林ノ經營漸次改良セラレ一方區有林ノ統一整理ヲ遂ケ亦私有林ニ於ケルモ之レニ伴ヒ著シク發達シ一般村民ノ植林保

護改變セラル、ヲ視ルニ經營ノ方法整然ニシテ集約ノ度ヲ加フルニ至レリ故ニ將來山林ノ經營監督指導ヲ怠ラサルニ於テハ多大ナル成績ヲ舉クルハ論ヲ俣ス財政ノ發揚期シテ持ツヘキナリ

林地ハ多ク人工林ニ適合スルヲ以テ有用ナル樹種ノ植栽ニ充テ絶嶮地又ハ作業困難ナル個所等ハ人工植栽ニ不適ノ地ナレハ自然生稚樹ヲ撫育成木セシメ以テ雜木林トナスヲ利有リト感セリ

植栽シタル樹種ハ用材トシテ重要ナル杉松ノ二種アリ(松ハ防火線境界ニ植栽セシニ過ギス)地方ニ良好ナル生育ヲナスノミナラス將來需用ノ趨勢アリト聞キ考察スルニ極メテ適當ナルモノト認メタリ

方今用材ノ需用累年増進シ供給之レニ伴ハザルノ盛況ヲ來タシ村有林ノ前途多望ナリ此機ニ當リ造林ノ大業ニヨリ一面社會ノ要求ニ應セントスルハ又適當ナル措置ニシテ其經營施設善美ナリト謂フヘシ我御所村ニ於ルモ村經濟ノ度合ヲ計リ以テ劃策經營實行シ得ラル、モノト信ズ

靜岡縣小笠郡倉真村

田方郡上大見村ヲ同日午後三時十分出發シ大仁驛着直ニ發車シ同日午後九時掛川驛着壹泊ス翌午前八時同所出發午前十時小笠郡倉真村ニ着ス

倉真村ハ遠江國小笠郡ノ東北ニシテ静岡縣ノ管下ニ屬ス東北ハ分水嶺ヲ以テ榛原郡五和村及同郡東山村ノ一部ニ隣シ東南ハ名峰栗々嶽ノ山脈ヲ以テ栗本村ニ通ス西方亦山嶺ニ依リ西郷村ニ境ス北ハ同郡原泉村ニ接ス土地ノ大部分ハ山岳ヲ以テ蔽ハレ只タ西郷村ニ連ルノ地僅カニ平坦ニシテ農耕ニ適セリ村内ハ上下兩區ニ分タレ倉真村役場ハ下區谷川ニアリ東海道線掛川驛ヲ去ル壹里廿七丁交通至便ナリ

村ノ成立

上區下區兩區ヨリ成ル

第一地況位置面積

本村植林地ハ九團地ヨリ成ル其位置面積ヲ表示スレハ左ノ如シ

植林地名稱	位置	面積	摘要
第一團地	字舟々澤	一九六反壹二〇	
第二團地	字時々巢	二二、一〇〇	
第三團地	字西澤	一八一、六〇〇	

四	全	字東澤	四〇五、〇〇〇	
五	全	字松葉前 字松葉牛ノ下	二〇〇、一〇三	
六	全	字北澤	一〇四、〇〇三	
七	全	字松葉芳原	二〇五、六二八	
八	全	字松葉不動	六、〇一四	
九	全	字七久保	二二、七〇〇	
計			一三四三、四〇八	

二更ニ下區ニ於テハ明治三拾五年三月廿五日松葉山植樹規程ニ追加決議ヲナシ部分木ノ方法ヲ設置シ從來榛原郡五和村ニ有料貸付ヲナシタル原野及區民ノ採採取ニ不便ノ箇所ヲ各部落ヘ分割シ部分木ノ法ニ依リ左ノ團地ニ植樹ヲナシタリ

植林地ノ名稱	位置	面積	摘要
第一團地	字千石	三二九反〇〇〇	
第二團地	字ツ久保	七五、〇〇〇	



計

四〇、四〇〇

齒

以上ノ各園地ハ毎年度新植スヘキ面積ヲ定メ植栽シ其境界ハ主トシテ天然界ヲ利用シ峰及谷筋等ニ依リテ之レヲ區劃シタリ其詳細ハ植樹作業工程ノ項ニ明記セリ

第三氣候

本村地市ニ於ケル最近五ケ年間平均月別氣温並ニ降霜季左表ノ如シ

月別	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
温度	四四	四四	五四	四六	六七	六七	七六	八五	八五	七七	四六	四五

初霜 十壹月上旬 晚霜 四月下旬

四地位

土地ノ理化學的性質ト林木生長ノ状態トニヨリ之レヲ査定シ上中下ノ三級ニ分チタリト雖各園地ヲ通シ甚シキ差違ヲ認メズ

五林木ノ生長及材積

人工林ノ主要林木タル杉扁柏共ニ其生長良好ニシテ私有林中適地ニアリテ優良ナルモノハ平均左表ノ生長ヲ示セリ

年 齡	杉			扁 柏		
	直 徑 (寸)	高 (間)	年 齡	直 徑 (寸)	高 (間)	年 齡
二〇	五、一	六、五	二〇	四、九	五、〇	二〇
二五	六、五	八、〇	二五	六、三	七、〇	二五
三〇	七、九	九、五	三〇	七、三	八、五	三〇
三五	九、〇	一〇、五	三五	八、一	一〇、〇	三五
四〇	九、五	一一、五	四〇	九、一	一一、〇	四〇

近來伐期ノ短縮ヲ競フノ結果私有林ノ如キ生長良好ノ箇所ニ於テハ杉二十年扁柏二十五年ヲ以伐採スルモノアリテ其山元價格杉五拾錢扁柏六拾錢内外ナリ尙左ニ本村村有林年長狀態及材積調査ノ爲中庸林ニ於伐採シタル中央木ニ付生長經路ヲ示サン

杉 中 央 木 材 積

扁

柏

標準地材積

年	年	年	年	年	年
二七	二五	二〇	一五	一〇	五
三四、五	三三、〇	二八、〇	二〇、五	一〇、〇	二、〇
五、一〇	四六、〇	三五、〇	二一、〇	五、〇	：
三、四九	二、七九	一、三〇	〇、三五	〇、〇二	：
二六	二五	二〇	一五	一〇	五
四四、〇	四二、五	三四、〇	二五、〇	三六、〇	三六、〇
五、五五	五、〇三	二、八九	一、二八	六〇、〇	五六、〇
				四六、〇	四六、〇

七

同上各年度ニ於ル生長

年	年	年	年	年	年
一〇	五	五	五	五	五
一三、〇	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五
一五、〇	：	：	：	：	：
〇、一六	：	：	：	：	：
樹齡	樹齡	樹齡	樹齡	樹齡	樹齡
二六	二五	二〇	一五	一〇	五
四四、〇	四二、五	三四、〇	二五、〇	三六、〇	三六、〇
五、五五	五、〇三	二、八九	一、二八	六〇、〇	五六、〇
				四六、〇	四六、〇

杉

樹齡	樹齡	樹齡	樹齡	樹齡	樹齡
二六	二五	二〇	一五	一〇	五
四四、〇	四二、五	三四、〇	二五、〇	三六、〇	三六、〇
五、五五	五、〇三	二、八九	一、二八	六〇、〇	五六、〇
				四六、〇	四六、〇

七



扁柏八分板(巾一尺)	全	(小節 三枚三分)	
杉五寸角(丈二尺一本ニ付)	全	(上 一四八六〇 (並 一四五五〇	
杉四寸角(丈二尺)	全	(上 一、〇八〇 (並 九〇〇	
扁柏五寸角(全)	全	(上 二、八〇〇 (並 二、三〇〇	
扁柏四寸角(全)	全	(上 一、六〇〇 (並 一、三五〇	
杉 貫(丈二尺)	全	、二〇〇 (並 一六〇	
杉 皮(一棚 壹圓ニ付)	全	二五棚 (並 三三棚	
扁柏皮(全)	全	二四棚 (並 三〇棚	
杉丸太(長六尺 末口 貳寸五分)		一本代金 〇、〇五五	
杉丸太(長七尺末口三寸)		一本代金 一、〇〇〇	
全 (長一丈 末口 三寸五分)	全	、二八〇	
白炭(上白 炭ナラカシ)		壹圓ニ付 六貫五百目	
全 (中白炭材雜木)	全	七貫五百目	
佐倉炭(土籠炭炭材雜木)	全	十貫目	

合

全 全上 炭材ナラカシ	全	九貫五百目	
槇雜木(廻リ三尺)	全	一二束	
全 松(廻三尺八寸)	全	一四束	
薪雜木(廻リ五尺)	全	二五把	
葛 芋 普通製造シタルモノ	全	百八拾匁	
全 芋ヲ續ミタルモノ	全	百十匁	
椎 茸 乾燥シタルモノ	壹圓ニ付	容量一升六合	
杉 電柱一本價格左ノ如シ			
長	末	口	價 格
二二尺		四寸五分	二、二〇〇
二八尺		五寸	四、五〇〇
	長	末	口
	三四尺	六寸五分	九、〇〇〇
	三〇尺	六寸	七、參五〇

前記林産物中ノ各材種ニ付輸出先ヲ調査スルニ大要左ノ如シ  
一角 材

二

掛川町及袋井堀ノ内方面付ノ村落ノ土地ニ於テ需用多シ

二 板及貫類

掛川町及附近ノ諸村ノ土地ニテ使用多シ

三 電 柱

掛川驛ヨリ鐵道ニヨリ静岡市及濱松方面ニ輸出セラル

四 皮 類

掛川町ニ輸出スルモノアリト雖多ク附近ノ村落及土地ニテ使用ス

五 炭 類

掛川町ニ輸出スルモノ多シト雖製茶用ノモノハ最寄村落ニテ消費スルモノ多シ

六 薪 及 炭

掛川町ニ消費スルモノ最多シトナス又製茶使用ノ爲土地及近郷ニ於テ使用スルモノ少カラズ

七 葛 芋

葛布ノ產地タル掛川町へ全部販出ス

八 椎 茸

静岡市横濱等ニ輸出シ又掛川町並ニ近郷ニ於テ使用スルモノアリ

之レニ依リテ之レヲ觀ルニ掛川町堀之驛袋井町八本村林産物ニ對シテ重要ナル集散地ナリトス

一普通木取ノ標準ハ杉ニアリテハ目通り壹尺内外ノモノハ丸太ニ使用シ二尺乃至三尺ノモノハ貫又ハ角材ト

ナシ三尺乃至四尺以上ノモノハ多ク板類トナシ楢ハ目通三尺以内ノモノハ角材トナシ三尺以上ハ戸縁及角

材ニ製シ四尺以上ノモノハ板戸縁等トナス從來運搬ノ關係上丸太ヲ輸出スルモノナカリシガ近時方法ノ改

良ニ伴ヒ其間伐材ハ主トシテ丸太トナシ附近市場ニ多集ス之レ山元ニ於ケル丸太産出ノ利益アレハナリ

白木仕立賃金表

杉ノ部

名 稱	員 數	稅	賃	先山墨掛柚等
六尺板類	壹間		二圓六〇〇厘	五〇厘
壹丈二尺貫	一挺		四〇	八
壹丈二尺五寸角	削壹本		二〇〇	四〇

九尺四寸角	全	一〇〇	二〇
六尺四寸角	削壹本	八〇	一五
板割壹寸厚	丸枕壹間	八〇〇	一〇〇
扁 柏 ノ 部			
板割壹寸厚	丸枕一間	壹、〇〇〇	壹二〇
六尺板類	壹間	三五〇	壹〇〇
壹丈二寸長押	壹挺	一〇〇	：
九尺長押	壹挺	八〇	：
六尺以上	全	六〇	：
松 ノ 部			
六分板	壹間	三九〇	八〇厘
八分	壹間	四五〇	九〇
壹丈二尺二寸角	丸枕壹本	六〇	一二
九尺二寸角	全上	四〇	八

次ニ本村製炭ノ狀況概記ス

本村ニ於ケル製炭ハ明治貳拾三四年ノ頃ニ至ル迄ハ概シテ白炭ニ製シタルモ以降佐倉炭ヲ獎勵スル所トナリ一變シテ白炭ヲ廢シ千葉縣ヨリ教師ヲ聘シテ實地指導ヲナシ且小笠郡北部ノ山村ニ製炭改良組合ヲ組織シ專ラ佐倉炭ノ改良ニ努メタルヲ以テ現今ニ於ケルヤ舉テ佐倉炭ナラザルハナシ而シテ地方ニ於ケル需用ノ大部ハ製茶ニ使用セラル、モノニシテ炭材ノ多クハ雜木椎栗檜等ニシテ近來價格騰貴シタル爲或ハ松ヲ炭材ニ使用スルモノ往々アルニ至レリ而シテ竈ハ土ヲ以テ作り普通興行六尺巾五尺ノ桃形ニ作り高サ平均二尺ニシテ四圍ハ土ヲ以テ搗キ堅メ上部ハ赤色小石交リノ粘質土ヲ以テ充分ニ叩キ堅メ俗ニ云天井ナルモノハ可及的薄

六尺二寸角	全上	二〇〇	四〇
壹丈二尺 五寸	壹挺	壹五〇	三〇
九尺 五寸	壹挺	壹〇〇	貳〇
皮 取 リ 質			
秋 皮	壹束	五〇	貳厘
春 皮	全	四〇	四

キヲ貴ビ炭材ハ凡ソ壹尺八寸ニ切り少ク水分ノ發散シタルモノ凡ソ百八拾貫ヲ詰メ込ミ之ニ對シテ炭量三十貫内外ヲ出シテ隔日ニ製炭スヘキモノナリ

一労働者及労働賃金關係明治貳拾二年已來造林事業ノ進歩急激ニシテ從事スヘキ労働者ノ數ハ年ヲ逐テ増加シ來リ隨テ其技能ニ熟達スルモノ尠トセス而シテ事業季節ニ至ラバ到底村内現在者ヲ以テ満足スルコト能ハザリシモ現今既ニ植込ヲナシ下刈ヲ要スル箇所大ニ減シタルヲ以テ多大ナル労働人夫ヲ要セザルニ至レリ而シテ之等人夫ニ支拂フヘキ賃金ハ毎年村會ニ於テ議定シ夫役賦課ヲ爲スノ借例ナルヲ以テ他ノ労働者ニ比シ安價ナリ今左ニ森林關係ノ普通人夫賃ヲ掲クレハ左ノ如シ費用調査及支辨法ノ項目ニ明記スルモノハ村會決議ノ賃金ニシテ今茲ニ掲クルモノハ普通雇人ノ賃錢ナリトス

人	夫	種	類	上	賃	並	金
柚	夫			九〇〇			八五〇
木	夫	枕		八五〇			八〇〇
造林	用	男	人	夫	五五〇		五〇〇
全	女	人	夫	三五〇			三〇〇

剥	皮	人	夫	八〇〇	七五〇
---	---	---	---	-----	-----

一本村財政ノ概況ヲ示ス爲左ニ  
 明治四拾五年  
 大正元年  
 度ニ於ル諸般ノ統計ヲ表記ス

種目	區別	村名		戸數	二人人口		種目	區別	私有地明細表												
		倉	眞		村	眞			男	女	員	計									
田	反	二四二、三四	反	步	六七、六九、七〇	反	價	壹	反	別	戸	地	當	價	壹	反	別	人	地	當	價
寄留者					五八				一、二四一												
本籍者					一、二五七				一、二〇三												
計					一、三一五				一、二四一												

米	農 產 物	椴材	二〇〇坪	一四〇,〇〇〇
		竹材	一,〇〇〇束	五〇〇,〇〇〇
		木炭	一〇,五〇〇	一,五〇〇,〇〇〇
		扁柏皮	二〇〇棚	二五,〇〇〇
		杉皮	八〇〇	一〇〇,〇〇〇
		森林用苗木	一〇,〇〇本	五〇,〇〇〇
		菌茸類	三〇	三〇〇,〇〇〇
		狩獵	不明	〇,一〇〇,〇〇〇
		葛芋	九〇	三〇〇,〇〇〇
		其他	不明	九〇,一五,〇〇〇
合計		二,七二三石	五四,四六〇,〇〇〇	

種別	林產物種類表	數量	價	價格	村民職業別戶數			合計
					專業	兼業	合業	
丸太及角材		六〇〇		三〇〇圓〇〇〇				
計		三六二		三三五				
雜業		七		七				
工業		七		一三				
商業		一二		一二				
農業		三三六		三四三				
合計		三六二		三三五				
畑地		一九五,九〇四		七九				四,五五五
宅地		六五五,八五坪		二,六六六				六,六四九
雜地		二六五,六〇四		一,〇六六				一,二二七
合計		四九五,八三二 六五八五坪		二,四〇九,三六				三九,九五一





種別	總額	一戶一人當	
		額	當
國稅	五、三六四、七六五	一三、九三四	二、一八〇
縣稅	三、六六〇、四五〇	九、五〇七	一、四八八
村稅	四、八一二、一四五	一二、五九〇	一、九五六
合計	三、八三七、三六〇	三六、〇三一	五、六二四

名	就學兒童		男教員		女教員	
	男	女	計	男	女	計
倉真村尋常高等小學校	一四五	一六二	三〇七	七	一	八

種目	數量	金額	摘要
田		〇、一二五	地價金
雜地		七、二〇一	全
現金		一六六、八一九	預リ金

空

科	目	豫算	決算	附	記
<p>明治四拾五年 大正元年 度歲入出決算表</p>					
<p>村經費</p>					
有券証券	建築物	合計	村治機關		
			(其一) 村役場吏員		
職務人員	村長	助役	收入役	書記	村會議員
職務人員	區長	區長代理者	學務委員	衛生委員	區會議員
人員	六	六	三	二〇	一二

三

第一款	財産ヨリ生ス ル収入	四四四、一二四	二六九、二〇七
第二款	使用料手数料	一五、二〇〇	一五、八八〇
第三款	雑収入	一八四、七〇〇	一〇一、二四〇
第四款	前年度繰越金	二六九、九九六	二六九、九九六
第五款	縣費補助	四九二、三八〇	五七〇、二六〇
第六款	郡費補助	五、〇〇〇	八、〇〇〇
第七款	寄付金	二、〇一一、七〇〇	二、〇一一、七〇〇
第八款	公債償却區負 擔金	五三二、九六二	五三二、九六二
第九款	交付金	一一七、九六三	一四八、六〇九
第十款	村税	五、七六六、八〇四	五、七五七、一八五
第十一款	夫役	三四六、六四六	三九二、一五五
總計		一〇、一八七、四七五	一〇、〇七七、一一七

歳出 經常費

科	目	豫算	決算	附記
第一款	役場費	一、〇〇九、九一〇	一、〇三七、五五九	
第二款	會議費	三三三、六〇〇	一七、一五〇	
第三款	土木費	八三〇、〇〇〇	九六六、四九〇	
第四款	教育費	一、九八一、三三三	一、九八〇、六三四	
第五款	衛生費	五四四、六〇〇	五四五、〇五五	
第六款	勸業費	三、〇〇〇	三、〇〇〇	
第七款	諸稅負擔	一五八、四一六	一五九、〇〇六	
第八款	村公債費	八二六、八三〇	八二六、八三〇	
第九款	神社供進費	七、〇〇〇	七、〇〇〇	
第十款	基本財産積立 金	二二一、一六二	二五四、四〇九	
第十一款	雜支出	四〇、五二三	四〇、五二三	
第十二款	特別豫算繰入 金	三、〇〇〇	三、〇〇〇	
第十三款	豫備費	二六五、三五〇		

計	臨時費	五、九二四、七二五	決算	五、八四〇、〇〇〇	附記
科目	豫算		決算		
一、款 土木費		一一五、二五〇			
二、款 植樹費		四一六、五〇〇		二二六、八四〇	
三、款 補助費		八五、〇〇〇		八五、〇〇〇	
四、款 教育費		三六五、〇〇〇		三六五、三一八	
計		四、二六二、七五〇		三、九五二、一五八	
總計		一〇、一八七、四七五		九、七九二、八一四	

作業法並ニ各林伐採年齢左ノ如シ

杉 皆伐喬林作業 五十年  
 扁柏 全上 六十年  
 松 全上 四十年

突

雜木 矮林作業 十五年  
 第四款 成績

植林ニ關スル作業ヲ類別セハ稍ヤ繁雜ニ失スルノ嫌アルヲ以テ本項ニ於テハ主トシテ植付ヲナシタル年度別並ニ反別苗木ノ種類及ビ本數等ヲ表示シ其他ノ事項ハ該當スル項目ニ於テ明示スルコト、シタリ今倉真村及上區下區ニ於テ植付ヲ成シタルノ成績ヲ示セバ左ノ如シ

倉真村下區植林地植付年度並ニ面積及苗木數調査表

植付年度	地字番	全上面積	杉苗木數	檜苗木數	松苗木數	計	摘 要
明治廿二年	字松葉牛ノ下 八二二三八ノ一 八二二三八ノ二 八二二三八ノ三	二六、四一三 反	一一、八〇五	∴	〇八五	一一、八九〇	松苗木防火線ニ沿 レテ植付タル者ナ レバ其數僅少ナリ
廿三年	全ノ六五	七七、六一五	二九、一五〇	五、四〇〇	二〇〇	三四、七五〇	
廿四年	全ノ八七	七七、七二三	四六、〇〇〇	四一四	一八八	四六、六〇二	
廿五年	字松葉不動 八三九ノ一内	六、〇一四	一、三五〇	〇九〇	∴	一、四四〇	

廿六年	廿七年	廿八年	廿九年	三十拾年	卅一年	卅二年	卅三年	卅四年
全上	七久保 八六七ノ内	全	全	松葉前後八 八二四 八三五 八二六 八三七 八二九	北澤 七六五 七六六	七六一 七六二 七六三 七六四	七六一 七六二 七六三 七六四	松葉芳原 八三〇ノ内
...	二三、七〇〇	...	...	一八、二二二	四九、八〇〇	二四、九〇〇	二九、三〇二	九九、四二八
一、三〇〇	五、〇〇〇	四、八七〇	...	五、三〇〇	二三、〇〇〇	一一、五〇〇	一〇、〇一六	三六、三二四
...	一、九〇〇	...	八八四	一、五五〇	...	...	八八四	一二、五〇〇
...	一七〇	...	...	一、八一四	四〇〇	一、六〇〇	五〇〇	...
一、三〇〇	五、一七〇	四、八七〇	八八四	八、六六四	二三、四〇〇	一三、一〇〇	一一、四〇〇	四八、八二四
面積ノ欄ニ斜線ヲ 割シタルハ補植ナ ルニヨル	全	全	全	苗木數ノ内補植含ム	以上全シ			

欠

倉間村上區植林地植付年度並ニ苗木數調査表

植付年度	字地番	全上面積	杉苗木數	檜苗木數	松苗木數	計	摘
卅五年	...	七四、五〇〇	二六、七〇〇	九、〇〇〇	...	三五、七〇〇	
卅六年	...	一〇、〇〇〇	...	...	...	一〇、〇〇〇	
卅七年	全上	三、八〇〇	一、四八〇	...	...	一、四八〇	
卅八年	全上	五、六〇〇	一、六〇〇	九〇〇	...	二、五〇〇	
合計		五七、二七	三五、三五	三、六三	四、九七	二六、九四	
明治卅五年	舟ヶ澤 六、六九六ノ内 六、八七〇	八五、〇〇〇	一、六〇〇	一、七〇〇	...	三、三〇〇	松苗木ハ防火線ニ 沿フテ植付タルモ ノナレハ其數少シ
三十六年	字全所 六七二ノ内 六八三	五二、〇〇〇	一六、五〇〇	三、七〇〇	...	二〇、二〇〇	苗木數ノ内補植ヲ 含ム
三十拾七年	全所 六八六ノ内 六八七	五九、一二〇	二二、一五〇	九、一〇〇	...	三二、二五〇	

欠

三十八年	西澤 七五九二 外一二筆	三五、六〇〇	四八、八五〇	二、四五〇		四九、三〇〇	補植苗木數ヲ含ム
三十九年	全上	五六、〇〇〇	二一、八四〇	二、一二〇		二三、九六〇	全
四十年	時ノ巢 七一九六 外三筆	二一、一〇〇	八、二三〇	：	二五〇	八、四八〇	
四十一年		：	五〇〇	：	：	五〇〇	補植
計		三九八、八〇〇	二七、九〇〇	一九、七〇〇	二二五〇	一三七、二四〇	
更ニ上區ガ明治四十年八月八日小笠郡泉村田間原小三郎ヨリ買受ケタルモノハ左ノ如シ							
明治二十年	宮澤 四七〇ノ内	四、八〇〇	八七〇	五七〇	：	一六、五〇〇	植込シ當時ノ苗木 數ヲ示セリ
三十二年	ノタウラ 四七一ノ三	一五、〇〇〇	四、一五〇	八〇〇	：	四九、五〇〇	全上
植付年度	字地番	全上面積	杉苗木數	檜苗木數	松苗木數	計	摘 要

三十七年	宮澤 四七〇ノ内	五、三〇〇	二、〇五〇	：	：	二、〇五〇	全上
		二五、一〇〇	七、〇七〇	一、三七〇	：	八、四四〇	

是ハ他村ニ属スルモノナルヲ以テ園地面積ニ算入セズ  
倉真村植林地植付年別並ニ面積及苗木數調査表

三十九年	東澤 七六四〇 外一筆	二六、〇〇〇	一〇、一四〇	：	：	一〇、一四〇	全
三十八年	全上 七、六四二 外二筆	一〇七、〇〇〇	四一、一八〇	五四〇	：	四一、七二〇	全
三十七年	全上 七、六四九 外四筆	五五、〇〇〇	二〇、九〇四	五四三	：	二一、四四三	全
三十四年	全所 七、五四六 外三筆	五五、〇〇〇	一一、九〇〇	三、五二〇	：	二二、四二〇	補植苗木數ヲ含ム
明三十年	東澤 七、六五一	二五、〇〇〇	九、七〇〇	：	：	九、七〇〇	
植付年度	字地番	全上面積	杉苗木數	檜苗木數	松苗木數	計	摘 要

植付年度	字地番	全上面積	杉苗本數	檜苗本數	松苗本數	計	部落名
四十年	全所 三六三八	四三、〇〇〇	一五、九〇〇	八〇〇	：	一六、七〇〇	全
四十一年	全所 七六三七 外一筆	七三、〇〇〇	二五、二〇〇	一、三〇〇	一、九五〇	二八、四五〇	全
四十二年	全所 七六五三 外一筆	二一、〇〇〇	八、一九〇	：	：	八、一九〇	全
四十三年		：	三、〇〇〇	六〇〇	：	三、六〇〇	補植
四十四年		：	八〇〇	一五〇	：	九五〇	助植
合計		四〇五、〇〇〇	一五二、九一〇	七、四五三	一、九五〇	一六二、三三三	

更ニ下區ニ於テハ明治三十五年三月二拾五日松葉山植樹規程ニ追加決議ヲナシ部分木ノ方法ヲ設置シ從來  
 榛原郡五和村へ有料貸付ヲナシタル原野及區民ノ採採收ニ不便ノ箇所ヲ各部落へ分割シ部分木ノ法ニ依リ  
 植樹ヲナサシメタリ  
 倉真村下區部分木法ニヨル植林地植付年度面積苗木數部落別調査表

三拾七年	松葉千石 八四八ノ一ノ内 八四五ノ一ノ内	二八、〇〇〇	一〇、三二〇	五九〇	：	一〇、九一〇	原作耕地
全	全所 八四三ノ一ノ内 八四八ノ一ノ内	二七、〇〇〇	一、〇五〇	：	：	一、〇五〇	牛九耕地
全	松葉芳原 八三三ノ一ノ内 八四八ノ一ノ内	四三、〇〇〇	一〇、四〇〇	二、一九〇	一、〇五〇	一三、六四〇	熊ヶ谷耕地
全	全所 八四三ノ一ノ内 八四八ノ一ノ内	三五、〇〇〇	一四、三〇〇	一、四四〇	一、〇〇〇	一六、七四〇	乙星耕地
全	全所 八四三ノ一ノ内 八四八ノ一ノ内	二九、〇〇〇	九、七五〇	一、九六〇	：	一一、三一〇	小和田前耕地
四拾五年	松葉大久保 八四〇ノ一ノ内 八四八ノ一ノ内	二三、〇〇〇	四、三〇〇	四、五六三	：	八、八六三	大島耕地
三拾八年	全 八四〇ノ一ノ内 八四八ノ一ノ内	三五、〇〇〇	一〇、五〇〇	：	：	一〇、五〇〇	谷川耕地
全	全 八四〇ノ一ノ内 八四八ノ一ノ内	四二、〇〇〇	一〇、〇〇〇	六、四〇〇	：	一六、四〇〇	青田耕地
全	全 八四〇ノ一ノ内 八四八ノ一ノ内	四五、〇〇〇	一五、七三〇	：	一、八五〇	一七、五八〇	柳澤耕地
全	松葉千石 八四三ノ一ノ内 八四八ノ一ノ内	二二、〇〇〇	七、一〇〇	一、〇〇〇	四四〇	八、五四〇	山崎耕地

全	松葉芳原 八三三ノノ内	七五、〇〇〇	二〇、六〇〇	六、三〇〇	二、三〇〇	二九、二〇〇	松葉耕地
合	計	四四、〇〇〇	一四、〇五〇	二四、〇五〇	六、六〇〇	一四、七三〇	

備考 部分木伐期並ニ賣却代金ノ所分其他一切ノ方法取締等ハ別項植樹法追加規程ニ明瞭ナリ

第五款 經費

前項作業工程ニ表示シタル造林費用ヲ格別ニ調査セハ左ノ如シ

倉真村下區造林費用明細表

年度別	苗木代	植付人夫賃	耕作費	監督費	雜費	計
明治廿二年	二一、八九〇	七、一三四		一〇、八〇〇	二、二〇〇	三三、〇二四
全二十三年	五八、二二〇	三四、九二〇	六、七〇〇	一三、五〇〇	二、三〇〇	一一五、六三〇
全二十拾四年	五七、二一八	四三、〇九一	二二、一〇〇	二五、一〇〇	一、二二四	一四八、六三三
全二十五年	一一、一〇〇	九、六八〇	五一、一三七	三五、一〇〇	一六、六五八	一二四、六七五

全二十拾六年	一〇、〇〇〇	九、〇〇〇	三〇、五七六	二六、〇〇〇	一一、三八〇	八七、九五六
全二十七年	一〇、〇〇〇	九、〇〇〇	三一、六三七	二八、三五〇	一三、一二二	九二、一〇九
全二十八年	五、一六〇	四、二八〇	三五、二八七	一九、三〇〇	一一、〇一六	七六、〇四三
全二十九年	一八、七五〇	一六、八七〇	四六、九三三	二五、一〇〇	一三、四五〇	一一一、一〇三
全三十年	一〇、六六〇	八、二〇〇	六七、二一七	三二、五八〇	二六、七二七	一四五、三八四
全三十一年	三四、五〇〇	二八、七五〇	八〇、一二三	三五、二〇〇	一九、六一〇	一九八、一八三
全三十二年	二〇、七〇〇	一四、三七〇	一七九、五五五	五三、五三〇	二九、五八八	二九七、七四三
全三十三年	二七、〇〇〇	一六、八七〇	九三、九〇七	三六、二〇〇	五七、〇八八	二三二、〇六五
全三十四年	八四、七五〇	五〇、八五〇	一四八、一九〇	四一、二五〇	二九、五〇五	三五四、五四五
全三十五年	七六、〇五〇	三八、〇二〇	一六三、一四〇	四四、八〇〇	八三、七四〇	四〇五、七五四



全三十六年	二二、七二〇	一一、三五〇	一一六、二〇六	三七、六〇〇	二八、七六五	二一六、六三一
全三十七年	四、五五〇	二、二七〇	九八、六七三	三二、六二〇	一六、九七二	一五五、〇八五
全三十八年	六、五五〇	三、三二〇	八五、六〇六	三六、一〇〇	三一、六四四	一六三、二二〇
全三十九年	二二、八七五	一六、五〇〇	六一、三二八	四二、一七五	三四、七三四	一七七、六一二
全四十年	一九、一七六	一五、〇〇〇	八四、一九三	四五、一〇〇	一一、一五〇	一七五、六一九
全四十一年	五、一三〇	四、五五〇	九〇、四九五	四九、六〇〇	八、二一〇	一五七、九八五
全四十二年	五二五	一、〇五〇	七八、三〇五	三六、五九〇	三、一五五	二一九、六二五
全四十三年	三、二五〇	二、〇五〇	五五、八七六	三〇、九七〇	二、六六〇	九四、八〇六
全四十四年	...	...	五七、六二五	二二、五〇〇	八四〇	八〇、九六五
全四十五年	...	...	五五、六六〇	一九、六五〇	二、四一〇	七七、七二〇

大正貳年	...	...	...	...	...	...
計	五二一、六五四	三四七、一三五	七四、四六九	七七九、七一五	四六一、二五二	三、八五〇、一一五
年度別	苗木代金	植付人夫賃	耕作費	監督費	雜費	計
明治三拾五年	一五五、四四六	五一、五四八	八六、九〇〇	二〇、〇二五	三四、六二九	三四三、五四八
全三十六年	七〇、六一五	二四、〇〇〇	一五五、二四五	二〇、〇〇〇	五、二六〇	二二五、二二〇
全三十七年	五七、五二八	三〇、二〇〇	一二九、〇五二	二二、二五五	一一、八八七	一三九、九二二
全三十八年	一八、五〇〇	二六、七〇〇	一〇六、六五〇	一一、四六六	九、〇七八	一七二、三九四
全三十九年	一二、二〇〇	一〇、六〇〇	七八、四〇〇	一七、〇二〇	四、〇六〇	一二二、一八〇
全四十年	...	...	九二、一〇〇	二五、一九四	四、九〇〇	一二二、一九四

倉間村上區造林費用明細表

年度別	苗代代金	植付人夫賃	耕作費	監督費	雜費	計
全四十一年	∴	∴	一五五、一五〇	一七、八八〇	一、〇三〇	一七四、〇六〇
全四十二年	一、三五〇	三五〇	六五、九二五	一六、一四五	一、五〇〇	八五、二七〇
全四十三年	三、六〇〇	一、四〇〇	七五、〇二五	八、八五〇	三、〇五〇	九一、九二五
全四十四年	∴	∴	六四、四二五	七、九五〇	一三、三二〇	八五、六八五
全四十五年 大正元年	∴	∴	九三、五〇〇	一二、九四五	∴	一〇六、四四五
計	三一九、一三九	一四四、七九八	二、〇五七、三七二	一五八、七二五	七八、七〇四	一、七五八、七七八
明治三十八年	二九一、〇四九 <sup>四</sup>	八〇、二九〇	二二六、二〇〇	五、二〇〇	三四、二〇〇	六二七、〇三九
全三十九年	三〇、〇〇〇	一七、三九〇	九四、五〇〇	一一、三二〇	三、〇〇〇	一五六、二〇〇

倉間造林費用明細表

二頁

年度別	前年買入レノ苗 木ヲ植	計
全四十年	三一、八一二	三三、三八〇
全四十一年	五三、六四〇	三、五〇〇
全四十二年	二二、六六〇	一〇、六五〇
全四十三年	一、五〇〇	八、六〇五
全四十四年	四〇〇	六、一八八
全四十五年 大正元年	一、四〇〇	七、〇四〇
計	一一、二二二	一一、二二二

備考 明治三拾八年ニ於ケル苗木代金其他ノ費用ハ植林地ニ撰定シタルモノ、内前年已入トシテ植付箇所  
アリタルヲ以テ之ヲ買受金四百五拾參圓六拾錢ヲ支出シタリ前各表ヲ通シテ耕作費ノ一定セザルモ  
ノアリ又年々植込ヲナシ林地増加シタルニモ不拘耕作費ノ支辨減少シタルハ植込ノ次年ヨリ下草ヲ  
肥料トシテ無料苻取ラシムルニ依ル

今參考トシテ前各表ニ記載計算シタル苗木代價及人夫賃金ヲ左表ニ示セン

年 度 別	檜苗木百本代	杉苗木百本代	松苗木百本代	普通人夫日當	人夫監督者日當
明治二十二年	、四 一〇〇	、四 一〇〇	、四 〇六〇	、四 一二〇	、四 一五六
全二十三年	一〇〇	一〇〇	六〇	一二〇	一五六
全二十四年	一一〇	一〇〇	六〇	一五〇	一九五
全二十五	一一〇	一〇〇	六〇	一六〇	二一〇
全二十六	一一五	一〇五	六〇	一六〇	二一〇
全二十七	一二〇	一一〇	六五	一六〇	二一〇
全二十八	一二〇	一一〇	六五	一六〇	二一〇
全二十九	壹二〇	壹壹〇	六五	壹八〇	貳四〇
全三十	壹三〇	壹貳〇	七〇	貳〇〇	貳六〇
全三十壹	壹五〇	壹四〇	八〇	貳五〇	三三〇
全三十貳	一八〇	壹六〇	〇八〇	貳五〇	三三〇
全三十三年	二〇〇	壹九〇	壹〇〇	貳五〇	三三〇

年 度	種 別		苗 床		播 種		摘 要
	種 別	種 別	種 別	種 別	種 別	種 別	
全三十四年	、三〇〇	、二五〇	、二二〇	、一〇〇	、三〇〇	、三九〇	、三九〇
全三拾五年	、三〇〇	、三〇〇	、二八〇	、一三〇	、三〇〇	、三〇〇	、三九〇
全三拾六年	三〇〇	三〇〇	二九〇	一五〇	三〇〇	三〇〇	三九〇
全三拾七年	三五〇	三五〇	三〇〇	一八〇	三〇〇	三〇〇	三九〇
全三拾八年	三五〇	三五〇	三〇〇	二〇〇	三〇〇	三〇〇	三九〇
全三十九年	三五〇	三五〇	三二〇	二〇〇	三五〇	三五〇	四五〇
全四十年	四五〇	四五〇	四〇〇	二五〇	三五〇	三五〇	四五〇
全四十一年	四二〇	四二〇	四〇〇	二五〇	三五〇	三五〇	四五〇
全四十二年	四二〇	四二〇	四〇〇	二五〇	三五〇	三五〇	四五〇
全四十三年	四五〇	四五〇	四〇〇	二七〇	三五〇	三五〇	四五〇
全四十四年	五〇〇	五〇〇	四五〇	三〇〇	三五〇	三五〇	四五〇
全四拾五年	五〇〇	五〇〇	五〇〇	三〇〇	三八〇	三八〇	五〇〇

年度	種別			計	種別	種別			計
	一年生	二年生	三年生			一年生	二年生	三年生	
明治三十六年	二四坪	八〇合	六、四〇〇	一〇坪	三〇合	二、五〇〇	計	計	
全三十七年	三〇	一、〇〇〇	八、〇〇〇	：	：	：	計	計	
全三十八年	一五	五〇	四、〇〇〇	：	：	：	計	計	
計	六九	二、三〇〇	一八、四〇〇	一〇	三〇	二、五〇〇	計	計	

苗木養成本數明細表

年度	種別			計	種別	種別			計
	一年生	二年生	三年生			一年生	二年生	三年生	
明治三十六年	九六、〇〇〇			三六、〇〇〇				計	
全三十七年	一一〇、〇〇〇	八、三〇〇				三三、一一〇		計	
全三十八年	六〇、〇〇〇	一一〇、四〇〇	八七、九三〇			三三、八八〇		計	
全三十九年	：	五五、一一〇	一〇九、九三〇			：		計	
全四十年	：	：	五三、九八〇			：		計	
計	二七六、〇〇〇	二五三、九〇〇	二五一、八〇〇	三六、〇〇〇	三三、一一〇	三三、八八〇	三二、〇〇〇	計	

摘要

本苗圃ニ於テ養成セル苗木本數ハ毎年植込ムヘキ苗木數ヲ充ササルヲ以テ二年生又ハ山出苗ヲ購入シテ植

栽シタリ

施行豫定年度左ノ如シ

年度	杉	扁	柏
十五年	：	十	八
二十年	：	二十	五
二十五年	：	三十	二
三十年	：	四十	十
計	：	五	十

以上間伐シタル木材ハ營業規定ニ依リ評價委員ヲ撰任シテ評價ヲナサシメ村會議員二名已上立會ノ上村長之ヲ公賣シ其代金ハ全部基本財産ニ編入シタルモ枝打チヲナシタル枝葉ノ利用法ハ今尙攻究中ナリ

第六章 支出及收入 第一節 支出

本村有林ハ前既ニ述タルガ如ク明治二十二年造林ニ着手シ(下區)爾來豫定ノ植栽ヲ了シ大正元年度ヲ以テ完成セリ年度別支出左ノ如シ

年度別	下區	上區	村	計
明治二十二年	三二、〇二四			三二、〇二四
全二十三年	一一五、六三〇			一一五、六三〇
全二十四年	一四八、六三三			一四八、六三三
全二十五年	一二四、六七五			一二四、六七五
全二十六年	八七、九五六			八七、九五六
全二十七年	九二、一〇九			九二、一〇九
全二十八年	七六、〇四三			七六、〇四三
全二十九年	一一一、一〇三			一一一、一〇三
全三十年	一四五、三八四			一四五、三八四
全三十一年	一九八、一八三			一九八、一八四
全三十二年	二九七、七四三			二九七、七四三
全三十三年	二三一、〇六五			二三一、〇六四
全三十四年	三五四、五四五			三五四、五四五

年別	自大正三年至全拾二年		全三十五年	全三十六年	全三十七年	全三十八年	全三十九年	全四十年	全四十一年	全四十二年	全四十三年	全四十四年	全四十五年	大正元年	合計
	下	上													
面積	十ヶ年支出豫定		四〇五、七五四	二一六、六三一	一五五、〇八五	一六三、二〇〇	一七七、六一二	一七五、六〇九	一五七、九八五	一一九、六二五	九四、八〇六	八〇、九六五	七七、七二〇	三、八五〇、〇八五	
積															
經費															
入															
枝															
面積															
積															
經費															
打															
管理保護費															
雜費															
計			七六八、五八五	四四一、七五一	三九四、一六四	九六二、六三三	四四五、九九貳	四八三、七〇五	七九一、七〇三	五〇五、三〇五	三二八、〇一六	三八三、六二五	四〇一、〇〇五	七、九三二、五七六	

大正三年	三〇一、五〇〇 <sup>反</sup>	五八、四〇〇 <sup>四</sup>	二九、一〇〇 <sup>反</sup>	五七、二〇〇 <sup>四</sup>	八七、三七〇 <sup>四</sup>	三四、九五〇 <sup>四</sup>	一三七、九二〇 <sup>四</sup>
全四年	一五、〇〇〇	四四、八〇〇	二七、六〇〇	一九、二〇〇	八七、三七〇	全	二七六、三二〇
全五年	一一三、〇〇〇	三一、六〇〇	六貳、〇〇〇	二九、〇〇〇	八七、三七〇	全	四五一、九二〇
全六年	〇四、〇〇〇	一五、二〇〇	二九、三〇〇	一四、六〇〇	全	全	二八一、一二〇
全七年	二二、〇〇〇	九、二〇〇	壹三、六〇〇	五四、四〇〇	全	全	一八五、九二〇
全八年	二二、〇〇〇	四、八〇〇	二二、六〇〇	壹二、八〇〇	全	全	二三七、九二〇
全九年	二二、〇〇〇	四、八〇〇	四九、二〇〇	二六、四〇〇	全	全	三六三、五二〇
全十年	二二、〇〇〇	四、八〇〇	二八、三〇〇	一四、四〇〇	全	全	二六一、五二〇
全十一年			一〇八、九〇〇	五二、四〇〇	全	全	一七四、七二〇
全十二年					全	全	一一二、三二〇

計	六四、五〇〇	一七、六〇〇	二四九、六〇〇	二六、四〇〇			
---	--------	--------	---------	--------	--	--	--

第二節 收入

間伐收入ハ第五團地字松葉牛ノ下(明治二十二、二十三年植栽杉扁柏林) 植栽地ニ二回ノ間伐ヲ施行シタリ其年度及價格左ノ如シ

年 別	本 數	價 格	備 考
明治四十一年	二、五二二	四八、〇〇〇	一本壹錢九厘ニ當ル
大正二年	六六六	七五、〇〇〇	一本拾壹錢參厘ニ當ル

收入 豫定

各林一町歩主間伐收入ヲ豫定スル事左ノ如シ

年度	現在本數	間伐歩合	伐採本數	單 價	總 價	元 利	利 計
一五年	三、五七〇	二五	九〇〇	〇〇五	四、五〇〇	三五	四八、〇六〇
二〇年	二、六七〇	三〇	八〇〇	〇三〇	二四、〇〇〇	三〇	一八二、六四〇

二五年	一、八七〇	三〇	五六〇	一、一五〇	八四、〇〇〇	二五	四五六、一二〇
三五年	一、三一〇	三〇	四一〇	八〇〇	三二八、〇〇〇	一五	九〇五、〇六〇
五〇年	九〇〇	皆伐	九〇〇	三、五〇〇	三、一五〇、〇〇〇	：	三、一五〇、〇〇〇
計				三、五〇〇	三、五〇〇、五〇〇		四、七四二、一〇〇

二八

備考 主間伐材價共ニ漸次林道完成ニ付高上スヘキモ尙ホ安全ヲ期シ内輪ニ計上ス

利率ハ七朱トス

扁 柏

年度	現在本數	間伐歩合	伐採本數	單價	價總	價	元利	計額
一八年	三、六〇〇	二五	九〇〇	〇一〇	九、〇〇〇	四二	一五四、二六〇	
二五年	二、七六〇	三〇	八〇〇	一三〇	二〇四、〇〇〇	三五	一一一〇、七二〇	
三二年	一、九〇〇	三〇	五七〇	二五〇	一四二、五〇〇	二八	九四七、六三〇	
四〇年	一、三三〇	二五	三三〇	八〇〇	二六四、〇〇〇	二〇	一、〇二一、六八〇	
五〇年	一、〇〇〇	二〇	二〇〇	二、〇〇〇	四〇〇、〇〇〇	一〇	七八八、〇〇〇	

六〇年	八〇〇	皆伐	八〇〇	五、五〇〇	四、四〇、〇〇〇	：	四、四〇〇、〇〇〇
計				五、三九、五〇〇	八、四二二、二九〇		

各林年伐面積及材積

本林植栽樹種別面積ハ

- 杉 百四拾六町四步
- 扁 柏 拾九町八反四步
- 松 三町三反七畝拾步
- 雜 五町五反三畝二十步

ニシテ其輪伐齡ハ杉五十年扁柏六十年ナルヲ以テ完成ノ場合ニ於ケル年伐面積及材積ハ前記豫定ニ依レハ次ノ如シ松ハ境界木其他峰筋等点々小面積ニ植栽シ利用ヲ主トセザルヲ以テ此ニ計上セ

樹種	面積	年 齡	年伐面	壹町步收入	年 收 入	備 考
杉	一四六、〇四	五〇	二、九二町	四、七四二、一〇〇	一三、八四六、九〇〇	

二九

扁 柏	一九、八〇	六〇	三三、三八、四二二、二九〇	二、七七九、四〇〇
計	一六四、八四		三、二五	一六、六二六、三〇〇

間伐收入豫定

自大正三年 拾ヶ年ニ於ケル間伐收入豫定左ノ如シ

全三年	杉				扁				柏			
	計	全三年	全二年	全一年	計	全三年	全二年	全一年	計	全三年	全二年	全一年
六二四一九〇	一三、八二二	三、六一	、五七	一、三、四五	三二、〇五〇	一九、七六〇	一九	一九七、三九〇	二、一〇〇、四〇〇	二、〇〇三、四〇〇	二、九四、七六〇	七、三、九、七七〇
六、四四	二八、九八〇	一、七、六〇〇		一、八、九〇	二、〇、九七〇	九六		三九、九、一五〇	二、一六、六二〇			
三四、三六	三四、三六	二、二〇		八、六四〇	四、二二	三三		二二六、六二〇				
二四五、六二〇	三四、三六	二、二〇		四、六四〇	三三	四八		一九一、九五〇				
三三二、八三	三四、三六	二、二〇		三、七八九〇	二四、三二〇	二四、三二〇		四九一、二五〇				
二四七、七四〇	三四、三六	二、二〇		四、六三	二四、三二〇	二四、三二〇						
九、八〇	三四、三六	二、二〇		四、六三	二四、三二〇	二四、三二〇						
四四、一〇〇	三四、三六	二、二〇		四、六三	二四、三二〇	二四、三二〇						
四、一四	三四、三六	二、二〇		四、六三	二四、三二〇	二四、三二〇						
一八、六三〇	三四、三六	二、二〇		四、六三	二四、三二〇	二四、三二〇						

尙收穫豫定ニ關シテハ別表ニ依ル  
林務關係者ノ在職年限及氏名

就職退職年月日	在職年限	職名	氏名
自明治二二年五月一六日	三年九ヶ月	村長	故 戸 塚 房 吉
自全二六年三月二〇日	全	全	故 戸 塚 房 吉
自全二六年五月一八日	全	全	故 戸 塚 房 吉
自全三〇年三月一七日	壹年十ヶ月	全	故 戸 塚 房 吉
自全三〇年三月一八日	壹年十ヶ月	全	故 戸 塚 房 吉
自全三二年二月二七日	壹年十ヶ月	全	故 戸 塚 房 吉





林 况 簿

第一團地	關地	字	區	面	積	樹	種	林	齡	地	位	鬱	閉	材	積	尺	貫	將	來	施	方	要	略	
全	全	舟ヶ澤	一	二、反	一〇〇	杉	杉	一四	上	密	密	密	密	每町	三、〇	六、七、四	三、〇	間伐施行ヲ要ス	間伐施行ヲ要ス	間伐施行ヲ要ス	間伐施行ヲ要ス	間伐施行ヲ要ス	間伐施行ヲ要ス	間伐施行ヲ要ス
全	全		二	二、五〇〇	二、一〇〇	扁柏	扁柏	一五	全	中	中	中	中	每町	一〇八、〇	二、七、〇	二、〇	枝打施行ヲ要ス	枝打施行ヲ要ス	枝打施行ヲ要ス	枝打施行ヲ要ス	枝打施行ヲ要ス	枝打施行ヲ要ス	
全	全		三	二、一〇〇	二、一〇〇	杉	杉	一五	全	全	全	全	全	每町	三、〇〇、〇	六、三、〇	六、三、〇	間伐施行ヲ要ス	間伐施行ヲ要ス	間伐施行ヲ要ス	間伐施行ヲ要ス	間伐施行ヲ要ス	間伐施行ヲ要ス	
全	全		四	一、八〇〇	一、八〇〇	扁柏	扁柏	一五	全	密	密	密	密	每町	三、〇〇、〇	一、九、八	一、九、八	枝打ヲナスヘ	枝打ヲナスヘ	枝打ヲナスヘ	枝打ヲナスヘ	枝打ヲナスヘ	枝打ヲナスヘ	
全	全		五	五、六〇〇	五、六〇〇	全	全	一四	全	中	中	中	中	每町	一〇〇、〇	五、六、〇	五、六、〇	全	全	全	全	全	全	
全	全		六	四、〇〇〇	四、〇〇〇	全	全	一四	中	中	中	中	中	每町	九四、四	三、七、八	三、七、八	全	全	全	全	全	全	
全	全		七	四、四〇〇	四、四〇〇	杉	杉	一三	全	全	全	全	全	每町	二、八四、八	一、二、〇七、六	一、二、〇七、六	全	全	全	全	全	全	
全	全		八	一、八、三〇〇	一、八、三〇〇	雜	雜	一三	全	全	全	全	全	每町	二、五	四、五、八	四、五、八	全	全	全	全	全	全	
全	全		九	三、七、〇〇〇	三、七、〇〇〇	全	全	一三	全	全	全	全	全	每町	九、五	九、五	九、五	全	全	全	全	全	全	
全	全		一〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	杉	杉	一一	全	全	全	全	全	每町	二、四八、七	一、四、七、六	一、四、七、六	少許ノ手入ヲ要ス	少許ノ手入ヲ要ス	少許ノ手入ヲ要ス	少許ノ手入ヲ要ス	少許ノ手入ヲ要ス	少許ノ手入ヲ要ス	
全	全		一一	三、三〇〇	三、三〇〇	扁柏	扁柏	一一	全	同	同	同	同	每町	八〇、八	一、八八、三	一、八八、三	同	同	同	同	同	同	
計	計			一、九六、三〇〇	一、九六、三〇〇										三、三三、八	三、三三、八	三、三三、八							

第二團地	第三團地	第四團地	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	
時巢	西澤	東澤	東澤	西澤	東澤	東澤	東澤	東澤	東澤	東澤	東澤	東澤	東澤	東澤	東澤	東澤	東澤	東澤	東澤	東澤	東澤	東澤	東澤	
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
二〇、五〇〇	二、九三〇	七、二〇〇	一八一、六〇〇	二、一〇〇	六、四二〇	一、七〇〇	一八一、六〇〇	二、一〇〇	六、四二〇	一、七〇〇	一八一、六〇〇	二、一〇〇	六、四二〇	一、七〇〇	一八一、六〇〇	二、一〇〇	六、四二〇	一、七〇〇	一八一、六〇〇	二、一〇〇	六、四二〇	一、七〇〇	一八一、六〇〇	二、一〇〇
杉	杉	杉	杉	杉	扁柏	扁柏	杉	杉	杉	杉	杉	杉	杉	杉	杉	杉	杉	杉	杉	杉	杉	杉	杉	
一〇	一一	一九		一一	一二	一一		一一	一二	一一		一一	一二	一一		一一	一二	一一		一一	一二	一一		
中	同	中		同	同	同		同	同	同		同	同	同		同	同	同		同	同	同		
中	同	密		中	同	同		中	同	同		中	同	同		中	同	同		中	同	同		
一七三、〇	二、二一、六	五五、〇		二、二一、六	六、七、二	五五、〇		二、二一、六	六、七、二	五五、〇		二、二一、六	六、七、二	五五、〇		二、二一、六	六、七、二	五五、〇		二、二一、六	六、七、二	五五、〇		
三五、四、七	二、五九、九	三七八、〇		二、五九、九	三、五〇、一	三七八、〇		二、五九、九	三、五〇、一	三七八、〇		二、五九、九	三、五〇、一	三七八、〇		二、五九、九	三、五〇、一	三七八、〇		二、五九、九	三、五〇、一	三七八、〇		
下	手	間		手	同	同		手	同	同		手	同	同		手	同	同		手	同	同		
手入ヲ要ス	手入ヲ要ス	伐ヲ要ス		手入ヲ要ス	同	同		手入ヲ要ス	同	同		手入ヲ要ス	同	同		手入ヲ要ス	同	同		手入ヲ要ス	同	同		

同	同	同	同	同	第六團地	計	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	北澤		同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
六	五	四	三	二	一		一一	一〇	九	八	七	六	五						
二、二〇〇	二五、一〇〇	二二、九〇〇	三三、〇〇〇	〇、八〇〇	四九、〇〇〇	二〇〇、一〇〇	三、三〇〇	一〇、一〇〇	一、〇〇〇	三、八三三	七、三三五	二六、四三三	四、八〇〇						
扁柏	杉	松	杉	松	杉		扁柏	同	同	杉	扁柏	杉	扁柏						
一七	一六	同	一七	同	一八		二〇	同	一九	一九	同	同	二七						
同	中	ス	中	ス	中		同	同	中	同	同	同	同						
同	中	ス	中	同	中		同	同	中	同	同	同	同						
一八三、六	三九七、七	一八三、〇	四三八、四	一九三、八	四七九、〇		二九七、〇	同	五二〇、〇	二五〇、〇	五六六、七	九〇六、〇	五六六、七						
四〇、四	九九八、二	五三、一	九六四、五	一五五、五	二、三四七、一		一、五九一、六		五二、〇	七七、九	四三三、七	二、三九一、八	二七二、〇						
同伐ヲ要ス	枝打ヲナスヘ		同	同	枝打ヲ爲スヘ		同	同	シ 同伐ヲナスヘ	同	同	同	同						

同	同	同	計	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	第五團地	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
四	三	二	牛ノ下	一	一五	一四	一三	一二	一一	一〇	九	八	七						
六五、五〇〇	六、〇〇〇	〇、七三三	四、五、〇〇〇	一七、〇〇〇	二一、〇〇〇	三、四〇〇	五、〇〇〇	六五、〇〇〇	二、一〇〇	四〇、九〇〇	二六、〇〇〇	一、四〇〇	一五、六〇〇						
同	杉	扁柏	杉	杉	杉	扁柏	松	杉	扁柏	同	杉	扁柏	同						
二六	二七	二六	二五	七	九	七	八	一〇	九	一〇	一二	一二	一一						
同	同	同	中	中	同	同	同	同	中	同	同	同	同						
同	同	同	中	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同						
八七二、〇	八三二、八	五五五、七	八三三、八	一〇一、八	三四、四	一五、八	二六、七	四〇、〇	一五二、六	一六五、〇	六七、二	二〇〇、〇	二、三三〇、〇						
五、七二一、六	四、九三六、八	三六、二	八、六五七、二	二二三、八	一一、七	七、九	八八、五	八、四	六〇〇、〇	四九、〇	九、四	二、三三〇、〇	二、三三〇、〇						
同	同	同	昨年三回目ノ 回伐ヲナセリ	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同						

同	全	第六團地	計	全	全	全	全	全	全	全	全	全	第七團地	計	同
同	全	北澤		全	全	全	全	全	全	全	全	全	芳原		北澤
五	四	三		八	七	六	五	四	三	二	一				七
二五、一〇〇	二、九〇〇	三、〇〇〇	二〇五、六八	三、六〇〇	二、〇〇〇	一九、〇〇〇	三、八〇〇	三三、三〇〇	二五、五八	五五、〇〇〇	七三、九〇〇	一〇四、〇〇〇			二、〇〇〇
杉	松	杉		杉	全	扁柏	全	杉	扁柏	全	杉				松
一六	全	一七		一一	一二	一五	一二	一三	一六	一四	一五				一六
中	ス	中		全	全	全	全	中	全	全	上				中
全	全	同		全	全	全	全	中	全	全	密				同
三七七、七	一八三、〇	四八、四		二二〇、〇	六七、二	一〇八、〇	二四八、七	二八四、八	一四八、〇	三三〇、〇	二六五、〇				一六二、五
九九八、二	五三、一	九四、五	五、九三〇、一	七五、六	一三、四	二〇五、二	九四、五	六三、五、一	三七七、四	一、八三一、五	二、六九七、四	四、四五一、三			三二、五
シ	枝打ヲナスヘ	シ		全	同	同	全	全	下荆及枝打ヲナスヘシ	全	間伐ヲ要ス				全

同	第八團地	計	同	同	同	同	同	同	同	同	第七團地	計	同	同
同	不動		同	同	同	同	同	同	同	同	芳原		同	同
二	一		八	七	六	五	四	三	二	一			七	六
五、七六	二〇五、六八		三、六〇〇	二、〇〇〇	一九、〇〇〇	三、八〇〇	三三、三〇〇	二五、五八	五五、〇〇〇	七三、九〇〇	一〇四、〇〇〇		二、〇〇〇	
扁柏	杉		杉	同	扁柏	同	杉	扁柏	同	杉			松	扁柏
二五	二四		一一	一二	一五	一二	一三	一六	一四	一五			一六	一七
同	中		同	同	同	中	同	同	同	上			同	同
同	中		同	同	中	同	中	同	同	密			同	同
五四、七	七七〇、四		二二〇、〇	六七、二	一〇八、〇	二四八、七	二八四、八	一四八、〇	三三〇、〇	二六五、〇			一六二、五	一八三、六
一〇、五	四三九、一	五、九三〇、一	七五、六	一三、四	二〇五、二	九四、五	六三、五、一	三七七、四	一、八三一、五	二、六九七、四	四、四五一、三		四〇、四	
同	間伐ヲ要ス		同	同	同	同	同	下荆及枝打ヲナスヘシ	同	間伐ヲ要ス			同	間伐ヲ要ス

同	全	全	部分二	計	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
同	全	全	芳原		全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
四	三	二	一		一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇										
一、八〇〇	四、〇〇〇	五、〇〇〇	一六、二〇〇	三二、九〇〇	一、八〇〇	三、〇〇〇	九、一〇〇	一〇七、一〇〇	一、一〇〇	二、〇〇〇	一、九、〇〇〇	三、三、〇〇〇	三、三、〇										
松	松	杉	扁柏		扁柏	松	扁柏	杉	松	扁柏	全	杉	松										
一一	一一	一一	一二		一一	一二	一二	一一	一一	一一	一一	同	一二										
中	全	全	中		全	全	全	全	全	全	中	中	同										
中	全	同	中		疎	全	全	中	疎	全	中	中	同										
全																							
	三〇、〇	二二、六	六七、二		七五、〇	四五、〇	八〇、八	二四五、〇	三〇、〇	六七、二	二二三、〇	二四八、〇	四五、〇										
				五、七四六、二																			
五、四	三〇、〇	一、二六、八	一〇八、九	五、七四六、二	一三三、五	一三三、五	六三、五	二、六四、〇	三、六	一八、一	四〇二、八	七六、二	一四、四										
同	全	全	下刈手入ヲ要		同	同	全	全	全	全	全	全	全										

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
九	八	七	六	五	四	三	二	一															
六、五〇〇	一、八〇〇	二八、〇〇〇	五、〇〇〇	一、五七〇	二、一〇〇	一、五〇〇	一、二〇〇	七〇、八〇〇															
同	扁柏	杉	松	扁柏	杉	同	扁柏	杉															
一三	五																						
同	同	同	下	同	下	同	同	中															
同	同	同	疎	中	疎	中	同	疎															
七五、〇	一〇、〇	一七六、〇	三〇、〇	六七、二	四一、〇	六七、二	六五、〇	一五三、〇															
四八、八	一一、八	四九二、八	一五、〇	二〇五、五	四五、九	三、四	七、二	一、〇七六、二															
同	同	同	下刈手入ヲ要	同	同	同	同	同															

計	七五、〇〇〇		一、二五三、一
總計	一七四七、四〇八		五、〇〇一、三

參照 収支對照

明治二十三年植栽ニ係ル字牛ノ下杉林壹町歩ニ付其收支ヲ計算スルニ次ノ如シ(年利率七朱)

支 出	地 拵 費	三六〇	三人分	壹人 拾貳錢
	苗 木 費	四、三二〇	百本ニ付	拾 錢
	植 栽 費	二、〇八〇	壹人二百五十本植 一七人三分	單金 拾貳錢
	補植苗木費	一、〇三〇	八六〇本百本ニ付	金、一二〇
	同 植栽費	八六〇	壹人百五拾本植 五人七分	單金 一五〇
	下刈費壹回	二、四〇〇	二人	同 一二〇
	同	三、〇〇〇	同	同 一五〇
	同	三、六〇〇	同	同 一六〇

収 入	同 四回	二、四〇〇	一五人	同	一六〇
	同 五回	一、九二〇	一二人	同	一六〇
	同 六回	一、六〇〇	一〇人	同	一六〇
	同 七回	一、〇八〇	六人	同	一八〇
	同 八回	一、二〇〇	同	同	二〇〇
	同 九回	一、五〇〇	同	同	二五〇
	枝 打 費	三、六〇〇	一二人	同	三〇〇
	同 二回	一、七五〇	五人	同	三五〇
	管理保護他雜費	八〇〇	(年々)		
計		三三、五〇〇			
第二回間伐		一三、三〇〇	七〇〇本	一本	〇一九
第三回間伐		七八、一〇〇	七二〇本	一本	一一〇
現在額		六六一、五〇〇	一、八九〇本	平均一本	三九〇

計		七五二、九〇〇	
收 支 計 算			
一	造本費資本價	八、六五一	
二	補植費資本價	二、二六一	
三	下刈費後價計	八六、〇二六	
同	上資本價	二三、二二七	
四	管理 保護 雜費 質本價	一一、四二九	
資	本價計	四五、五六八	
支	出元利計	一七〇、四二四	
收	入計(後價)	七五八、二二〇	
企	業利益	五八七、七九六	

松葉山植樹方決議

第一條 本區ノ共有財産増殖センカ爲メ松葉山ノ内稜萱苳等ニ差支ナキ地形ヲ見立テ杉檜ノ良木ヲ植付クヘ

但毎戸二反歩ヲ以テ目的トシ明治二十三年ヨリ五ヶ年ニ植付終ルモノトス

第二條 右植付及下刈野大除等ノ費用ハ其半額ヲ地價割トシ其半額ヲ戸數平等ノ割合ヲ以テ支出シ苗木代

第三條 戸數割ハ正人夫ヲ以テ出サシメ人夫ヲ出ス能ハザルモノハ代金ヲ以徴スベシ

第四條 抽籤ヲ以テ耕地組合受持區域ヲ定メ植込ヨリ五ヶ年迄植繼ギ下刈等ヲ負擔スベシ

但(源作、牛丸、乙星)小和田前熊谷(大島谷川)柳澤(山崎)(青田)松葉山(松葉下)ヲ組合トシ

第五條 共有林務係四名ヲ區會ニ於撰任シ植樹林務一切ノ事ヲ監督セシムベシ

但其手當ハ金拾圓外ニ出務日數ニ應シ世話頭並ノ日當ヲ給ス

第六條 林務係ノ任期ハ五ヶ年トス其成績ニ依テ滿期ノ際相當ノ賞ヲ給スルコトアルヘシ其額ハ區會ノ議

定ニ依ル

第七條 山林伐採ハ五十年以上ニ於テスベシト雖耕作ノ爲採採ヲナスハ其宜シキヲ失フナカルベシ

第八條 伐木利益ハ其十分ノ二ヲ共有財産ニ積加ヘ拾分ノ四ヲ地價ニ割合セ十分ノ四ヲ区内戸數ヘ平等ニ割渡スベシ 但戸數割ハ鰥寡孤獨ト雖モ之ヲ除却スルコトナシ採伐等ノ利益金ハ區會ノ評決ヲ以テ

基本財産ニ加フルコトアルヘシ

枯損木賣却等僅少ノ收入ハ直ニ基本財産ニ加フルモノトス

第九條 前條ノ如ク定ムト雖明治二十三年以降新ニ一戸ヲ構フルモノハ住居年限ニ依テ割合ノ等差ヲ立ツヘク他ヘ轉戸ノモノハ利益配當ヲ受クル權利ヲ失スルモノトス

第十條 林務係ハ經費ノ收支ヲ詳カニシ毎年通常會ニ報告スベシ

第十一條 林務係ノ過失或ハ監督ヲ怠ル時ハ村長之ヲ譴責シ時宜ニ依リ免務スル事アルベシ

第十二條 村長及區會議員ハ毎年二回(四月、十月)山林ヲ巡見スベシ

其日當ハ給スル事ナシ

松葉山植樹法決議追加

第一條 本區々有地字松葉山五和村ヘ貸與ノ地及區民秣苜取不便ノ山反別ヲ撰採シ各耕地ヘ分割シ抽籤ヲ

以植樹地ヲ定メ部分木法ヲ以植樹セシムヘシ植樹成功期限ハ明治三十六年ヨリ五ヶ年以内トス

第二條 部分木伐採當時木代總額ノ百分ノ貳十五年ヲ區ノ財産トシ納付スヘシ伐採期限ハ參拾五年以上五十年以下トス

但賣却方法ハ別ニ定ムルモノトス

第三條 間伐ノ收益ハ植込ノ翌年ヨリ廿ヶ年已内ハ植樹者所得シ貳拾ヶ年以上ノ木代ハ第二條ノ部分ニヨリ本區ヘ納付スヘシ

第四條 各耕地ニ於(一小部落ヲ云フ)植樹希望ナキトキハ已人又ハ數名共同シテ營林ヲナサシムル事ヲ得

第五條 事業進行セザルトキハ分割土地ヲ返納セシメ區カ夏業ヲ遂行スルモノトス

倉真村上區營林分擔規程

第一條 本區ハ本村營林事業ノ一部ヲ分擔シ資金ノ分配ヲ受ケ杉檜松等ヲ植栽シ以テ區ノ共有財産造成ヲ圖ルモノトス

第二條 分擔營林地ノ場所及反別地代ハ別紙調書ニ表示シタル箇所タルヘシ(別紙調書省ク)



第三條 分配資金償還ハ明治參十五年迄据置同參十六年ヨリ同六拾五年迄三拾ヶ年均等年賦償還トシ區費

一三六

財產ヨリ生スル收入間伐ノ收益ヲ以テ財源ニ充ツ

但區費賦課方ハ地租割戸數割ノ二科目トシ均等ニ賦課ス

第四條 營林事業所辦ノ爲林務員四名ヲ置キ人夫ノ指揮及監督其他一切ノ事ヲ擔任セシム

第五條 林務委員ハ名譽トシ區公民中選舉權ヲ有スルモノヨリ區會之ヲ撰舉ス其任期ハ五ヶ年トス

但實費辨償額ノ外事務繁閑ニ因リ相當ノ報酬ヲ給スル事アルヘシ

第六條 事業ニ要スル人夫ハ相當ノ日當ヲ給シ區住民ヲ使役スヘシト雖時機ニ依リテハ歷上ゲ人夫ヲ以

業ノ進行ヲ期スルコトアルヘシ

第七條 村長及區會議員ハ毎年一回以上芟業設備ノ整否及施行上ノ適否ヲ考査スル爲實地踏査ヲナスモノ

トス

第八條 伐採ハ間伐皆伐ノ二種ニ分テ間伐ハ植付後拾貳ヶ年目ヲ初期トシ爾來樹木ノ成長ヲ酌量シ之ヲ行

ヒ皆伐期ハ植付ノ翌年ヨリ三拾五ヶ年目トス

但皆伐期ハ時宜ニ依リ區會ノ議ヲ經テ伸縮スルコトアルヘシ

第九條 伐採間伐ト皆伐トヲ間ハス評價委員ヲ設ケ精密ナル調査ヲ成シ區會員貳名立會ノ上村長之ヲ公賣

ニ付ス

第十條 前條評價委員ハ村長推撰ノ上區會ニ於選任ス立會議員ハ互撰タルヘシ

第十一條 間伐及皆伐ノ利益ハ拾分ノ參ヲ地主ニ支拂ヒ尙分配資金償還ニ充テ殘余アル時ハ渾テ共有財產ニ

編入スルモノトス

第十二條 本規程ノ外本村營林規程中第十條第十四條其他村會ノ決議ニ依ル村長ノ命令ハ遵守スルモノトス

地 上 權 貸 與 條 約 書

第一條 本村眞砂字西澤西ノ平澤及東道坂ヲ界ヒ上區々有財產造成ノ爲植林地トナシ地上權ヲ貸與スルモ

ノトス

第二條 上區植林地々上權貸與ノ地番反別別紙ノ通總反別參町八反八畝貳拾壹歩トス

第三條 植樹期限ハ明治三拾四年ヨリ同四拾年迄七ヶ年トシ漸時植樹ヲナスベシ

第四條 植樹成功區域内へ本村人民入會スルコトヲ得ズ

第五條 地上權者(上區)ハ地代金トシテ一反歩ニ付金拾六錢宛成功反別ニ對シ年々倉眞村へ支拂ヒ間伐皆

一三九

伐ノ當時木代拾分ノ參ヲ東澤西澤本村地上權總反別ノ地主ヘ支拂フヘシ

第六條 植樹ニ關スル費用ハ地上權者ノ負擔タルベシ

第七條 明治四十年ニ至リ成功反別ニ對シ地上權貸與ノ登記ヲナシ未成功ノ地ハ地上權貸與ヲ解除スベシ

第八條 本地上權設定期限ハ明治三十四年ヨリ全九四年迄滿六十ケ年トス

上 區 植 林 地

字	地	番	地目	反	別	所 有 者
西澤		七ノ五九二	山林		一、五〇八	下 區
同		七ノ五九三	同		一、〇一七	下 區
同		七ノ五九四	同		一、〇一七	下 區
同		七ノ五九五	同		二、七〇五	染 葉 づ ぎ
同		七ノ五九六	同		二、五二九	下 區
同		七ノ五九七	同		一、七〇一	原 田 嘉 平
同		七ノ五九八	同		一、一一一	染 葉 づ ぎ

倉 真 村 造 林 規 程

第一條 本村ハ基本財産造成ノ爲資金ヲ借入レ村内原野不毛ノ地ヲ利用シ杉檜松等ヲ植栽シ兼テ道路ノ開鑿及改修ヲナシ交通ノ便ヲ計リ一村ノ福利ヲ増進スルモノトス

第二條 營林地ノ場所及反別ハ別紙地上權設定謄本ニ表示シタル箇所タルヘシ

第三條 下區々有不毛地ハ下區ヲ營林事業ニ當ラシメ資金ノ供給ヲナシ事業ノ完成ヲ期セシム

但上區ニ於テハ追テ協議上本村事業ヲ分擔セシムルモノトス

同		七ノ五九九一	同		三、八〇二	染 葉 泰 八
同		七ノ五九九二	同		一 八	全 人
同		七ノ六〇〇	同		一六、八〇一	松 村 伴 吉 外三五名
同		七ノ六〇一	同		五、八〇一	染 葉 づ ぎ
同		七ノ六〇二	同		二二一	全 人
同		七ノ六〇三	同		三二〇	下 區
計					三八、二二〇	

第四條 借入金ノ償還ハ明治三十五年迄据置全三十六年全六五年迄三十ヶ年均等年賦償還トシ村税預金利

子間伐ノ收益及區ノ負擔金ヲ以テ財源ニ充ツ

第五條 營林芟業所辦ノタテ營林委員六名ヲ置人夫ノ指揮監督其他一切ノ事ヲ擔任セシム

第六條 營林委員ハ名譽職トシ村公民中撰擧權ヲ有スルモノヨリ村會之ヲ撰擧ス其任期ハ六ヶ年トス

第七條 事業ニ要スル人夫ハ相應ノ日當ヲ給シ村住民ヲ使用スト雖時機ニヨリテハ雇上人夫ヲ以 業ノ進  
行ヲ期スヘシ

第八條 村長議員ハ毎年一回事業設備ノ整否及施行方法ノ適否ヲ視察スルタメ實地踏査ヲナスモノトス

第九條 伐採ハ間伐皆伐ノ二種ニ分チ間伐ハ植付後十二年目ヲ初期トシ爾後毎年樹木ノ成長ヲ酌量シ之ヲ  
行フ皆伐期ハ植付翌年ヨリ三十五年目トス

第十條 伐採ハ間伐ト皆伐トヲ間ハズ評價委員四名ヲ設ケ周到ナル調査ヲナサシメ議員二名立會ノ上村長  
之ヲ公賣ニ付ス

第十一條 前條評價委員ハ村長推選ノ上村會ニ於選任ス立會議員ハ互選タルヘシ

第十二條 間伐及皆伐代金ハ償還ニ充ツルノ外渾テ本村基本財産ニ編入スルモノトス

第十三條 區營林資金供給ノ方法ハ借入金ノ一部ヲ以テ之ニ充用ス其償還方法ハ金額相當ノ年賦金ヲ負擔セ

シムルモノトス

第十四條 區營林皆伐期ニ達シタルトキハ公賣ノ上收益金ノ内ヲ以テ使用資金ト同一額ノ金ヲ本村ニ納付ス

ヘシ

但時宜ニヨリ村會ノ決議ヲ以テ百分ノ五十以内ヲ増加スルコトアルヘシ

倉真村區有財産統一ニ關スル基本財産造成條例

第一條 本村ハ本村内上下兩區ガ從來經營シタル植林ヲ成木ノ上皆伐セシメ其賣却代金ハ別紙兩區決議ノ  
通本村ニ提供ヲ受ケ村及學校基本財産ノ造成ヲナスモノトス

第二條 提供代金ハ其十分ノ七ヲ本村基本財産トシ拾分ノ三ヲ學校基本財産トナスモノトス

下區有財産提供ニ關スル決議

第一條 本區ハ明治二十三年一月廿四日本區會ガ決議セシ松葉山林樹方ニヨリ植樹セシ區有林ヲ植付三十  
年後成育ノ状態ニ鑑ミ之ヲ伐採シ其收益ハ第二條ノ標準ニ基キ提供額ヲ定メ上區ト共ニ村基本財産及  
學校基本財産トシテ本村ニ提供シ殘余ハ悉皆區民ニ割渡スモノトス

但割渡シ方法ニ別ニ之ヲ定ム

第二條 兩區ガ提供スヘキ伐採代金ノ割合ハ兩區ノ地價及戸數(本籍現住)ヲ標準トナシ十分ノ五ヲ戸數ニ拾分ノ五ヲ地價ニ割合ヒ提供額ヲ定ムルモノトス

第三條 皆伐期ハ樹齡及成育ノ狀況ニ依リ兩區必ズ一定ナラザルヲ以左ノ方法ニヨリ取扱ヲナスモノトス  
一本區ニ於テ皆伐ヲ先ニシタル場合ハ上區ガ皆伐シテ其代金ヲ提供スルニ至ル迄本區ニ於テ利殖ヲ計ルモノトス

二前號利殖シタル金額ハ後年ニ至リ上區ガ皆伐セシ際元金ニ合シ以テ第二條ニ依リ提供額ヲ定ムルモノトス

第四條 本區ハ他日法令ニ依ルモノ、外如何ナル場合アリトモ此ノ決議ヲ取消サザルモノトス  
上區有財産提供ニ關スル決議

第一條 本區ハ明治三拾五年六月二日本區會ガ決議セシ營林分擔規程ニヨリ植樹セシ區有林及其以後買受ケシ分ヲ植付三拾年後成育ノ狀態ニ鑑ミ之ヲ伐採シ其收益ハ拾分ノ三ヲ地主ニ支拂ヒ殘余ハ第二條ノ標準ニ基テ下區ト共ニ村基本財産及學校基本財産トシテ本村ニ提供スルモノトス

第二條 兩區提供スベキ伐採代金ノ割合ハ兩區ノ地價及戸數ヲ標準トシ拾分ノ五ヲ地價ニ十分ノ五ヲ戸數ニ割合ヒ其額ヲ定ムルモノトス

第三條 皆伐期ハ樹齡及成育ノ狀況ニ依リ兩區必ズ一定ナラザルヲ以テ左ノ方法ニヨリ取扱ヲナスモノトス

一本區ニ於テ皆伐ヲ先ニシタル場合ハ下區ガ皆伐シテ其代金ヲ提供スルニ至ル迄本區ニ於テ利殖ヲ計ルモノトス  
二前號利殖シタル金額ハ後年ニ至リ下區ガ皆伐セシ際元金ニ合シ以テ第二條ニ依リ提供額ヲ定ムルモノトス

第四條 本區ハ他日法令ニ依ルモノ、外如何ナル場合アリトモ此決議ヲ取消スコト能ハザルモノトス

倉真村視察概要  
以上ノ如ク本案ノ冒頭ヨリ逐次記述スル所ニヨリ同村ノ地況村治ノ現狀森林ノ關係等ヨリ之ヲ考察スルニ將來同村ノ富力ヲ増進セシムルハ造林ニシテ村治發揚ノ基源トモナルベキハ山林ヲ措テ他ニ求ムヘカラズ村民一致協同其經營ニ努メ道德智能ノ啓發ニ勵ミ其富力ニ據リ自治ノ發達ヲ圖ラバ倉真村ノ前途多望ニシ

ヲ羨望ニ不堪我ガ御所村ノ如キ温度氣候相似タルモノアレバ此善法美政ニ倣ヒ一日モ早ク相當ノ計劃ニヨ  
リ殖樹ヲ營ミ自奮奮勵遠大ナル村治ノ基礎ヲ講ジ其成竹ヲ期セザルベカラズ茲ニ處感ヲ概述スルコト爾リ

愛知縣額田郡宮崎村

調査中暴風雨トナリ雷電ノ音響烈シク一時ハ村役場戸締ヲナシ只茫然トシテ約リ四十分談笑ス午後二時拾  
分倉真村役場ヲ發シ掛川驛着午後四時發車豐橋ニテ下車午後七時豊川線乘換直ニ發車午後八時豊川驛着  
泊翌午前八時出發陸路四里正午十二時三河國額田郡宮崎村着帝都ヲ距ルヲ西方八十二里本縣廳所在地名古  
屋市ノ東方十六里ニアリ北緯三十四度五十六分東經百三十七度ニ位シ三河國額田郡ノ南東隅ニ當リ四周連  
山ニ圍繞セラレ南北三里東西二里戸數四百六十有スル山間ノ小郷ナリ東南境ニ連且スル山脈ハ高峻ヲ  
極メ最高峰本宮山ハ海拔二千六百余尺ニ及其余波蜿蜒起伏シ本村ノ周回ヲ匝ル流域ハ矢作川ニ屬シ三河三  
大川ノ二ナル大平川及乙川ノ水源地タリ北境ハ同郡形野村西境ハ豊富村ニ接シ又連山ノ分水線ニヨリテ東  
ハ南設樂郡作手村南ハ寶飯郡一宮村及八幡村ニ隣ル今村ノ沿革誌ニ移ル尤此沿革誌ハ明治四三年ノ著ナリ

位置及面積

本村有林地ハ六團地ヨリ成ル其位置及面積ヲ表示スレハ左ノ如シ

村有林面積	位	置	面	積	摘	要
第一團地	大字中金字大洞		五六町	二四一五		本林地ハ本村ヨリ寶飯郡へ通スル郡道並ニ大平川支流ニ沿フ
全二團地	大字雨山字轟		六五、七〇一			
全三團地	大字河原水ノ澤外三字 大字雨山コウレイ外二字		一一二、五〇二三			
全四團地	大字河原字瀧澤		五二、〇一一六			
全五團地	大字石原字宮ノ入外三字		一一五、二八〇六			
全六團地	大字千萬町大平田外三字		一〇四、四五二五			
計			五〇六、二〇二六			

以上六個團地ハ更ニ毎年度ノ新植面積ヲ標準トシ主トシテ一年度ノ芟業區域ヲ以テ一林班トシ左ノ如ク之  
レヲ分割セリ第一團地ハ額田郡有林地上權設定地ナル故他ノ團地ヨリモ其林班面積稍大ナリ林班界ハ主ト  
シテ天然境界ヲ用ヒ峰及谷筋ニ依リテ之レヲ區劃セリ

團地	大字	字	林班	面積
一團地	中	金字大洞	一	一九町一六二三

五 圖 地	計										四 團 地	計	
石 原		全	全	全	全	全	全	全	全	全	河 原		全
東 田 原 坂		全	全	全	全	全	全	全	全	全	瀧 澤		全
一		一〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一		六
		五二、〇一六	三、六九一六	七、三一〇九	二、八二二八	五、六三三三	六、五三三三	四、〇六〇三	三、九七〇三	二、四〇一九	八、七二一一		一三、〇〇〇〇
		一一、九九二三									六、八四〇二		一一二、五〇二三

一覽

											三 團 地	計		二 團 地	計	
全	雨 山	全	雨 山	河 原	河 原									雨 山		全
大 カ ワ ウ レ イ	カ ウ レ イ	中 右 具 ノ 津 水 ノ 澤	カ カ ウ ツ レ イ	ホ ド ク チ										轟		全
五	四	三	二	一										一		三
																二〇、四三一九
																一六、六四〇三
																五六、二四一五
																一三、〇五〇一
																一三、六五〇四
																一一、〇三〇四
																一四、八二二〇
																一三、一五〇三
																六五、七〇〇一
																二二、六〇一一
																一七、一一二六
																二二、六三〇四
																一八、七一〇八
																一八、四四〇四

一覽



四〇年	西	西	南	西	西	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
四一年	西南	西	南西	南西	西	西	東	西	同	同	同	同	同	同	西

暴風表

年度	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均
三九年	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
四〇年	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
四一年	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、

降水量表

年度	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均
三九年	二九、五	二一、三	二四、七	九、九	四二、七	九、九	二六、六	三、五	五、八	一、八	五、一	四、五	一五、八
四〇年	二二、一	二八、七	八五、四	一三、一	一五、七	一五、〇	二六、九	五、八	五、〇	一、七	一〇、六	二、六	二一、二
四一年	四、七	三、〇	八六、一	四七、三	九一、〇	二二、二	二七、二	四三、五	六、一	八、四	六、一	一、七	三、三

降雪期節表

年度	初	雪	晚	雪	降	雪	中	間	日	數
三九年	拾一月二四日				三月一六日					百十六日
四十年	十二月二三日				三月一九日					八十一日
四一年	本年ハ初雪ナシ				三月一三日					

三九年	拾一月二四日	三月一六日	百十六日
四十年	十二月二三日	三月一九日	八十一日
四一年	本年ハ初雪ナシ	三月一三日	

降雪期節表

年度	初	霜	晚	霜	降	霜	中	間	日	數
三九年	十一月四日				四月二日					一六七
四〇年	十一月九日				四月九日					一六三
四一年	十一月四日				四月三十日					五八

林況表

本村山林一般ノ林況ハ前述ノ如クナルカ更ニ村有林各園地ニ付調査シタル結果ヲ表示スレハ左ノ如シ

第一及第四園地ハ村有林改定以前ノ既植地ヲ有シ其林相復雜ナリ且之レヲ區域内ニ編入スルニ當リ立木買入ニ付調査ヲ行ヘリ依テ少ク繁ニ過グル恐レアルモ詳細ノ林相別ニ區劃セリ

園地	林班	小班	面積	樹種	林齡	地位	鬱閉	摘	要	將來施業要略
----	----	----	----	----	----	----	----	---	---	--------



			二	計									
			一										
口	イ	ロ	イ		ハ	ホ	ニ	ハ	ロ	イ	ホ		
二六、九三	一九、五二	五、三五	七九、二六	五六、四五	一三、七六	四、七三	六、四〇	一、五〇〇	二、六二	二〇	一七、五四		
	赤松		赤松		檜全	杉	檜杉	全	全	杉	檜全		
					二	一一	八	一〇	八	九	三		
五	五	五	五		四	二	三	二	三	三	四		
	散生		散生		中	同	全	全	中				
末立木地	一林班イニ同	末立樹地	赤松散在地ニシテ 緩少ナル雜木ヲ温 ス	本團地額田郡有林 地上權設定地ナリ	同 四八〇本	同 八五七本	同 二ノ五八三本	全 二七〇本	全 一三本				
			本團地ハ總テ末立木 地又ハ緩小林木ノ散 生地ナルガ故ニ成 ク速ニ伐採シ造林ス ヘシ										

													一
													一
ニ	ハ	ロ	イ	ヌ	リ	チ	ト	ヘ	ホ	ニ	ハ	ロ	イ
二二、四二四	一、二九	四、八〇七	二、三二五	一六七、四二九	一、九二五	五、一〇七	二、三三	三、九〇九	二〇五	五、四〇〇	三、二八	三、二八	〇、五九
全	全	全	杉	檜全	全	杉	檜杉	杉	檜	全	杉		杉
一一二	一〇	一三	八	四	九	一〇	五	一一	五	一〇	一一		一一
					全	全	全	全	同	同			
二	三	三	三	五							三		三
全	全	全	中		全	全	全	全	同	同	中		中
全 三二六本	全 一五三本	全 八八五本	全 一八三本		全 二二三本	全 七四四本	全 一一五本	全 六七四本	同 五四本	同 一ノ一一本	立木數 三四九本	岩石地ニシテ 施業外地トス 立木數	立木數 六六本

					計														
二					四		六	五		四									
イ	ホ	ニ	ハ	ロ	イ		イ	ロ	イ	ハ	ロ	イ							
五、七三	一〇、二〇九	三三、九七	一三、七四	九、八一九	〇、五二三	一一五、〇三	六五、五三	六四、四二八	六六、五九	一一七、八〇五	四七、七〇一	一〇三、二一一	三八、〇二六						
		檜杉	檜杉	檜杉	杉		雑木	赤松		全	赤松	雑木	檜杉						
	一	九	五	九	一〇														
	二	二	二	二	二		全			全	三	三	三						
		密		密	密		全			全	三	散生	三						
岩石地除地							四林班ロ小斑同シ		末立木地	全	二林班ロ小斑ニ同シ								
										第一林班ニ全シ		第一林班ニ同シ							

					計														
	三		二		三		五	四		三									
ロ	イ	ロ	イ	ハ	ロ		イ			ロ	イ	ロ	イ						
九五、七七	一三〇、五六	二二、三五	五七、九〇	八九、四五	六八、三〇三	六六、三〇三	六七、〇〇一	一三、五〇三	二六、四三	二二、七六	七、〇一一	四〇、〇三							
全	全	赤松	檜杉	雑木	赤松	雑木	赤松		赤松		赤松	赤松	赤松						
			三																
二	二	三	三	三	四	四													
散生	散生	散生	散生	散生	散生	散生													
二林班ロ小斑ニ同ジ		矮小ナル雑木ヲ混ス			末立木地						散生赤松ノ生育良好ナリ	末立木地	一林班イニ同	末立木地	一林班イニ同				
第一林班ニ同ジ		第一林班ニ全シ				本林班ハ散生木ヲ保護生長セシメ薪炭材トシテ利用シタル後其跡地造林スヘシ													

	六	計																		
二	一		九	八	七	六	五		四		三									
			イ						イ		イ									イ
一七四、〇〇五		二五二、八〇六	一四一、三二二	一九、二六六	二九、六二四	二九、六二四	一〇六、六二二	一〇六、四〇五	三六、四〇七	九一、六〇六	五二、〇一〇	一〇〇、一一九	七二、〇一〇							
	赤松		赤松	檜杉	雜赤木松				赤松		雜赤木松	全	雜木							
				七																
五	四		三	三	三	三	四	四	四	四	全	全	全							
	散生		散生	中	散生				散生		全	全	全							
	末立木地		ヲ混ズ	矮小ナル雜木		全	全	末立木地	散生矮小ナル雜木ヲ混ズ	末立木地										

		五	計																	
二	一		一〇	九	八	七		六	五	四	三									
イ	イ	イ						イ	イ											イ
六六、六〇〇	三〇、九一九	八八、九二四	五二〇、一六六	三六六、九一六	七三、一〇九	二八、二三八	五、六三三	一八、二二六	四七、二七	四〇、六三三	三九、七三三	二四、〇一九	八一、四二九							
雜赤木松		赤松		ヒノキ	スギ	ヒノキ	スギ	ヒノキ	スギ	ヒノキ	スギ	ヒノキ	スギ	スギ	スギ	スギ	スギ	スギ	スギ	檜杉
				一	一	五	五	三	三	二	二		四							
四	三	三		一	一	一	一	三	三	二	二		三							
散生	散生																			
	末立木地	ヲ混ズ	矮小ナル雜木																	岩石地除地

三	イ	六、六八	杉	五	四密	
	ロ	七、四〇	杉、檜、黒松	四	五全	
四		一六、九八				末立木地
五		一三、六七	赤松、雜木		四散生	
六		一四、〇六	赤松		四散生	
七		一六〇、三八	赤松、雜木		四散生	
計		一〇四、五五				
總計		五〇三、〇六				

120

備考各園地ノ散生地ハ明治二十八年以降本村山林一般ニ火入禁止後天然ニ生育セル樹木ヨリ成ルヲ以テ最老樹齡拾五年以下一年生ニ及ヒ林齡一定ナラス殊ニ潤葉樹(主トシテナラ栗)ハ元火入跡地ノ根株ヨリ叢狀ヲナシ新生セルモノナルカ故ニ密生シテ多少林相ヲナスモノアレモ多クハ低矮ナル樹形ヲナシ造林ニ際利用上價値ヲ有セザルモノナリ之等ハ散生地中ニ編入ス

宮崎村共有山林保護規則

第一章 總 則

第一條 本村ハ本宮山脈ニ連接セル山村ニシテ則チ山村ノ民ハ樹木ノ利アリトスル所ヲ利用セザレハ天賜

ヲ放棄シ其罪今日ノ困弊ヲ來セリ茲宮崎村大字川原共有秣場山反別貳百有余町歩ノ廣キニアリ抑モ該山タルヤ往昔リ本大字ノ田畑ノ肥料及牛馬ノ飼料ニ供セン爲メ年々歳々火入ヲシテ各自勝手ニ使用セシ慣例ヨリシテ全山ヲ苜散シ其殘草ハ年々火ヲ以テ之ヲ焚キ其害該山林ノミニ止ラス官民有ノ殖林ヲ延焼スルコト少カラス今世月ニ日ニ進ムニ隨ヒ鐵道船車電話土木家屋器械薪炭等百般ノ事業ニ木材ヲ使用セザルハナク斯ク大要ヲ感シ明治二十八年ヨリ火入ヲ全廢シ分配規則及約定書ヲ定メ以テ各自エ使用權ヲ與ヘタル總反別ハ六十五町八反步(本村大字川原戸數四十七戸一戸ニ付一町四反步)其殘反別ハ百三十有余町歩ノ余剩地ヲ生スルニ至レリ概テ肥沃ノ土地ニシテ樹木ノ内最モ有益ナル杉檜楠松等ニ適シ移植スレハ莫大ノ利益アル事火ヲ見ルヨリ明カナリ依テ條項ヲ設クル左ノ如シ

第二章 委 員

第二條 大字河原共有山殖樹ニ關シ委員五名ヲ設ケ村長ノ責務ヲ補助セシム  
但委員ニハ共有山林ヨリ生スル收入金ノ内ヲ以テ報酬ヲ給スルヲ得

第三章 植 樹

121

第三條 明治三拾年ヨリ向フ五拾年間毎年杉檜二千本以上山地へ移植スルモノトス

第四條 耕地及各自分配地へ接續シタル場台へ移植セントスルハ其境界ヨリ巾拾間ノ距離ヲ置クモノトス

第五條 苗木ハ有志ノ寄附及購買ノ二途ヲ以テ之ニ充ツルモノトス

第六條 毎年山地植込場撰定方ハ委員ノ評定方ニヨルモノトス

第七條 植木上ニ關スル人夫ハ日當或ハ入札受渡方法ニ依ルモノトス

但本條ニ關スル契約書等ハ別ニ設ク

第八條 山地植込及下刈ノ際ハ委員實地ニ望ミ指揮監督スルモノトス

第九條 共有山植込臺帳ヲ備置植木一切ノ事ヲ明瞭ニ記載スルモノトス

第四章 野火取締

第十條 官民有ノ差別ナク山林原野等ニ於テ猥リニ燃火セサルモノトス

第十一條 炭焼等ヲ營ムモノハ竈ノ周圍塵芥等手當除去シ延焼ノ虞ナカラシムルモノトス

第十二條 鍛治炭焼ヲナサント欲スルモノハ燒場ノ周圍巾七間以上塵芥ヲ去リ延焼ノ虞ヲ防クモノトス

第十三條 官有民ノ差別ナク山林原野等ニ於テ失火アリト認ムルハ何人ヲ論セズ委員へ急報スルモノトス

第十四條 委員ハ前條ノ急報ヲ受ケタルハ一般へ告知シ現場へ走付消防ニ盡力指揮スルモノトス

第十五條 前條ノ告知ヲ受タル人民ハ直ニ現場へ走セ付盡力スルモノトス

第六章 賞罰

第十六條 第十三條乃至第十五條ノ場合ニ於テ著シク消防ニ從事シ其功多大ナル者ハ村會ノ決議ヲ以テ賞スルコトアルベシ

ルコトアルベシ

第十七條 殖木方ニ盡力シ著シク公益ヲ謀リタルモノニハ村會ノ決議ヲ以テ賞スルコトアルベシ

第十八條 第十條乃至第十二條ニ違背シ失火セシ者ニハ壹圓以上拾圓以下ノ過怠金ヲ出サシムルモノトス

第十九條 第十三條乃至第十五條ノ各條ヲ守ラサルモノハ金拾圓以上壹圓以下過怠金ヲ出サシムルモノトス

第二十條 前條項ノ如ク定ムト雖モ實施上不都合ノ廉アルハ村會ノ決議ヲ以テ増補訂正セシムル事アルベシ

共有秣場分配規則

第一條 當大字共有秣場總反別二百六町四反七畝十歩ノ地所ハ本年ヨリ更ニ火入ヲ止ムルコト

第二條 當大字ニテ目今最多數(田四反歩畑三反歩牛一頭)ノ柴草刈取モノヲ標準トシテ分配スルモノトス

第三條 分配地各自ノ仕配場ト定ムル以上ハ宜ク荆棘惡草ヲ取除キ蒔場ヲシテ町疇ニスレハ最多數ノ下草ヲ蒔リ得ラル、モノニシテ柴草場反別六反歩笹草場反別四反歩萱蒔反別二反歩合計壹町二反歩宛之ヲ標準トシテ分配スルコト

第四條 分配地ハ有限ナシト雖當大字一同ノ評決ニヨリ變更ノ必要アリト認ムルトキハ此限ニアラス

第五條 分配法ハ壹町二反歩ヲ六回(一回二反歩)ニ分配スルモノトス

但第一回ヨリ第三回迄ヲ秣場トス第四回第五回ヲ笹草場トシ第六回ヲ萱蒔場トス

第六條 分配委員ハ分配ヲ施行スル都度何月何日迄ニ各戸人民ノ便宜ニ依リ字何々(用紙半紙罫紙ニ認ム)調印ノ上分配委員ヘ差出スヘキ旨ヲ各戸ヘ告知スルモノトス

第七條 各戸人民ハ前條期日迄ニ書面ヲ以届出其後チ一旦望タル場所ナレトモ他ノ望人ノ多少其他ノ都合上ニ依リ場所替致度モノハ期日後三日以内前條ノ届書ニ做ヒ届出ヘシ三日ヲ越ユレハ採用セス

第八條 第四回第五回ノ笹草場及第六回ノ萱蒔場分配ニ付テハ隨意ノ種目ヲ望ム事ヲ得ルモノトス

第九條 分配委員ハ一順ノ申込完了スレハ何所何人ト個所譯帳ヲ調製スル事

第十條 分配委員ハ個所譯帳ヲ以テ實地ニ望ミ運搬ノ便否地味ノ厚薄ヲ調査シ一順ノ分配地ニ等シキ部分區域ヲ定メ其區域ニ對シ望人多數ニシテ二反歩宛取ルコト能ハサル時ハ其不足ニ對スル反別ハ一順ノ分配完了ノ上其不足ナル者ニ何所ニテ申受度ト問ヒ再ビ書面ヲ差出ザシムヘキ事

第十一條 分配委員ハ不足反別ノ申出ヲ受ケタルトキハ手續ニ依リ割渡スナレトモ同所ニシテ甲ノ申込ミ不足ハ壹反歩乙ノ申込ミ不足ハ五畝歩ニアリ之ガ地取ノ順序ハ反別ノ多キモノヲ先キニシ少キ者ヲ後ニスルモノトス

第十二條 分配地受持人ヲ定ムルニハ抽籤ヲ以テ定ムル事  
但抽籤後十日限双方ノ都合ニ依リ甲乙交換スルハ隨意タルヘシ尤モ金錢等ヲ出ス趣意タカヘキ事ヲ禁ズ

第十三條 第一回ノ分配ヲナシ再度ノ見込書ヲ出サシムルニ付テハ分配委員ヨリ殘地ノ所在ヲ明瞭ニ示シ見込ヲ立ヘシ第二回以下同様懇篤ニ殘地ヲ指示スヘキ事

第十四條 分配委員ハ五名トス

第十五條 分配委員ノ撰舉ハ當大字内ニ本籍ヲ定ムルモノニ限

第十六條 分配委員直選ヲ以テ委員長一名ヲ撰舉ス

第十七條 分配委員ノ手當ハ日當金十五錢トス

尙右規則ニ準シ各大字ハ夫々約定書ヲ作り大字民之レニ調印セルガ今大字河原ニ於ケルモノヲ左ニ掲ケン  
他ハ總テ之ト粗ボ近似セルモノナリ  
大字河原共有山草柴刈取場分配ニ付約定書

第一條 別紙共有山分配規則ニ依リ各戸草刈取場ヲ定メ餘有地ニ樹木ヲ繁殖セシメ當村ノ基礎ヲ立ツベキ事

第二條 土地所有權ハ是迄通大字名ニテ存シ該地ニ關スル諸掛ハ各戸ヨリ出金スルモノトス

但共有山樹木賣却代金ヲ以テ仕拂フ事アルベシ

第三條 各戸草柴ヲ刈取ル受持場ヲ定ムル趣意ハ第一條ノ通ナレバ草柴ヲ刈取ル權利ヲ有スル迄ニテ地所  
ヲ左右スル權利無之事

第四條 甲乙受持場ノ境巾一尺トシ相互ニ鎌入ヲナサス草柴ヲ刈殘シ又ハ中切トナシ境ヲシテ判明ナラシ  
ムル事

第五條 分配地ニ生スル草柴ヲ見積リ書入質入年期賣渡ハ勿論其年ノ草柴ト雖生立ノ儘賣渡事不相成併シ

本人刈取賣却スル勝手タルベキ事

但其年草柴ニ限り疾病又ハ非常ノ事故ニテ本人刈ルコト能ハザルトキハ殖林委員ノ許可ヲ得生立ノ儘  
賣却スルコトアルヘシ

第六條 分配ノ地所不便ニ付甲乙交換從來已ノ所持ノ山野ニテ草柴ヲ刈取分配地ハ薪山トナシ度見込ノ者

田畑近接地ヲ除キ本人隨意タルベキ事

但杉檜ヲ植付又ハ實生ト雖成長セシメザル事

第七條 分配地ト雖第六條ノ如ク薪山トナシタル者ハ伐採ノトキニ限り立木ノ儘賣却スル事ヲ得レトモ書  
入質入年期賣渡ハ第五條ノ通タルベキ事

第八條 前條ノ如ク規約ヲナシ草柴刈取場ヲ定ムル人少ク又ハ貧弱ニシテ肥料ヲ得難キ者ノ爲メニ且荆  
棘ヲ除キ手入レヲ爲セハ隨テ草柴増殖シ肥料ヲ富マシ且餘地ニ樹木ヲ繁殖セシムル見込ナレバ數年ノ  
後ト雖地所分裂各自ノ所有トナスノ議ヲ發スル事ヲ許サス如何トナレハ地所ヲ分裂シ所有權ヲ各自ニ  
得サシムルキハ確乎タル約定ヲナシ賣ヘカラスト約スルモ所有權ヲ持シムルキハ身代限りノ所分又我

儲蓄出來ヲ約束ヲ用ヒス該地ヲシテ書入質入等ノ事出來ルトキハ終ニハ富有者ノ手ニ歸シ甚シキニ至  
ツテハ他村人ノ所有トナリ草柴ヲ刈取り肥料トナス事ヲ得ス如斯場合ニ至リテハ農事ヲ勉強スルニ由  
ナク貧村トナリ後悔スルモ詮ナシ今他村ノ既往ヲ見ルニ確タル約束ヲ爲シ賣ルヘカラスト約セシモノ  
モ人情ヲ欠キ破約スルモノアリテ金満家ノ手ニ入ルアリ譬百年ノ後ト雖此規約ヲ守リ決シテ分裂所有  
ノ議ヲ起スヘカラサル事

第九條 當大字内新ニ戸數ヲ設ケ又ハ他村人ト雖移住等ニテ本籍ヲ定ムルトキハ一般人民ト同ク草柴刈取  
場ヲ分與ス退轉者アルトキハ大字内ヘ引キ戻シ共有ト爲スヘキ事  
但本條ハ公然一戸ヲ擄ヘ當大字普通義務ヲナシ得ル者ニ限ル

第十條 第五條第七條ニ違反シ貸借ヲナシタルモノアリ之レヲ發見スルトキハ分配地ヲ大字ヘ引揚ゲ一般  
ノ共有トナシ違約者ハ該山ヘ入ル事ヲ禁ス悔悟ノ實現ハル、ニ於テハ更ニ分與スルコトアルヘシ此場  
合ニ於テハ債主損耗タルベキ事

右之條々今般協議約定候ニ就テハ決シテ違約致シ申間敷若シ違約ノ廉有之節ハ條項ニ照シ所分相成候共聊苦  
情申間敷爲後日連署如件

已上ノ規定ニヨリ山燒止決行セラル、ト同時ニ公有林植栽獎勵ノ方法トシテ本村ハ農會ノ事業トシテ左ノ  
造林補助規程ヲ設ケタリ

造林補助規程

第一條 本村農會ハ村内各大字有山林ヘ獎勵ノ爲杉檜樺ノ三種ノ内一々大字ニテ千本以上植栽セシ大字ハ  
實地調査ノ上拾圓已内ノ金額ヲ補助スルモノトス

第二條 前條調査委員ハ農會長及評議員ヲ充ツルモノトス

附 則

第三條 本規定ハ明治二十八年ヨリ實施ス

明治二十八年五月

宮崎村農會

本規定ニ基キ左ノ植栽ヲナセリ

年度	植込本數	補助金
明治二八年	二二、三二一	一〇、一〇五



全二九年	一五、〇九〇	五、〇〇〇
全三〇年	三五、五〇〇	一二、三五四
全三一年	三二、五〇〇	一六、五八五
計	一〇六、四一一	四四、〇四四

又三十一年ニ於テハ本縣ヨリ大字有山林植栽ノ補助トシテ本村ハ本數三二、五〇〇本ニ對シ貳拾五圓ノ配布ヲ受ケタリ

村農會ノ前記補助ハ明治三十一年度ニ於テ一度之ヲ中止シ全三十三年ヨリ更ニ前規程ヲ改定シ植樹營林規程ナルモノヲ發表セリ此規程ノ主旨トスル所ハ前補助規程ト同様ニシテ公有林地ノ改良ヲ計ルニアリ即各大字ニ苗圃ヲ置キ村農會ヨリ苗圃事務擔當者ヲ撰任シ之ニ手當ヲ給シ苗木ハ各大字民ヲシテ大字有山林ニ植栽セシムル方法ナリ規程ヲ左ニ掲グ

宮崎村農會營林規程

第一條 本會ハ植樹營林ヲ計ラン爲左ノ方法ヲ規定ス

第二條 本區域内ノ居住者ニシテ各大字持山地殖樹義務者ニ對シ杉檜苗木ノ分配ヲナスモノトス

第三條 本會區内各大字ニ區劃シ每區ニ苗圃地ヲ設ケ左ノ擔當者ヲ置仕立方ヲナスモノトス  
但擔當人ノ撰定ハ農會ノ指名ニ依ル

大字	苗圃地字名	擔當者氏名
明見	田心畑地	清水藤助
中金	郷中畑地	竹下重助
龜穴	屋敷畑地	眞木政藏
石原	屋下畑地	咄伊助
雨山	櫻田	清水六次郎
河原	落畑	山本源吉
古代	屋敷畑	松井德三郎

第四條 苗木養生ノ任ヲ受ケタルモノハ豫メ其苗圃地ヲ假リニ定本會ニ申出農會長ノ檢査ヲ受クルモノトス

第五條 農會長前條ノ申出アリタル時ハ實地ヲ檢分シ適當ト認ムルニ於テハ許可ヲ與フルモノトス

第六條 農會長ハ前條見分ノ外時々苗圃ヲ見廻リ日覆除草移植等ヲ調査シ置其精否ニ依手當額ヲ定メ之レ

ヲ擔當者ニ給與スルモノトス

第七條 苗圃擔當者ハ播種ノ翌年春彼岸前後ニ於必ス第一回ノ移植ヲナスモノトス

第八條 農會長苗木成長殖樹ニ相當ノモノト見認タルトキハ其苗木ヲ本會事務所ニ取纏メ第二條ノ義務者ニ分配スルモノトス

第九條 第二條ノ義務者ニ在テハ苗木ノ分配ヲ受ケタルトキハ其部落ノ方法規約等ニ基キ三日以内ニ必共  
有持山地へ植栽スルモノトス

第十條 義務者苗木ノ分配ヲ受クルト雖其植栽ヲ怠リ三日ノ後尙遲滞シ居ルモノアルハ農會長ハ他ノ營業者ヲシテ之レヲ植栽セシメ費用ヲ徴收スルモノトス

第十一條 苗木養成地一切ニ屬スル費用ハ本會ノ負擔トス

附 則

第十二條 本則規定ハ明治三十三年度ヨリ實施ス

明治三十三年七月

額田郡宮崎村農會

此規程ニヨリ實行成績ヲ示セハ左ノ如シ

年 度	苗圃面積	播種量	種子代其他費用	擔當者手當	擔當者ハ七大字七名ナリ
明治三十三年	二二、〇 <sup>坪</sup>	八、五 <sup>升</sup>	六、三四〇 <sup>圓</sup>	七、〇〇〇 <sup>圓</sup>	全 上
全 三十四年	三四、五	一三、五	一一、四〇〇	全	全 上
全 三十五年	三四、五	全	一三、〇〇〇	全	全 上
全 三十六年	全	全	全	全	全 上
全 三十七年	全	全	全	全	全 上
合 計	一六〇、五	六二、五	五七、七四〇	三五、〇〇〇	經費總額金九二、七四〇

以上各種ノ施設獎勵ニヨリ從來ノ草山ハ有用林木植栽セラレ又山燒ノ廢止ニ基キ雜木赤松等繁茂シ次第ニ  
林相ヲ形作ルニ到レリ

第五章 村 治

本村村治ノ狀況ヲ示スタメ左ニ明治四十一年度ニ於ケル諸統計表ヲ掲ク

一 戶數人口

種目	區別	男	女	計	明見	中金	龜穴	大字	戶數	大字	戶數	大字	戶數	大字	戶數
戶數四百六十五戶															
合計		一、三一九	一、二三四	二、五〇七	四六	三一	四七	四七	四六	代	三八	四九	五三	五三	五三
寄留者		三六		四四											
本籍者			一、二八三人	一、二三四											
合計		一、三一九	一、二三四	二、五〇七											
一月平均人員		二、八		二、七											

二土地 (其一) 所有別面積表

地目	種別	官	有公	有私	有	計
山林		三六一町 〇五〇〇	五〇九町 九七二四	二、一四一町 七四〇一		三、〇二二町 七六二五

(其二) 私有林明細表

種目	區別	反總	別	地	額	反	別	戶	當	反	別	人	地	當
原野		二、三九四、六四〇	七四二、八三七、九四〇	五、一四二九	九二、一二五	九八二二	一七、六三三							
山林		二、一四一、七四〇	一	四、六〇一八	一〇、一六一	八八一〇	一、九四四							
畑		一〇四、〇七〇〇	七、九六七、七〇〇	二、三二二一	一七、一三五	四〇八	三、二七八							
田		一、二二二、三二二	一、〇八、一三〇	二〇六九	五、八四五	五〇一	九、九一七							
宅地		二六、五〇二五	六、〇三七、三三〇	五二二	一一、九八四	一〇三	九、四八四							
合計		四、五二、五六二	五、二、五八〇二	二、三九四、六四〇七	三、三六一、七九〇〇									
其他		九二、四〇〇二		七二二五										
宅地				五八一〇	二六、五〇二五	二七、〇九〇五								
畑				一、三三一七	一〇四、〇七〇〇	一〇五、四〇一七								
田				九六〇八	一一三、三二一一	一二三、二八一九								
原野			一一一九	八										

三 產 業

(其一) 村民職業別戶數表

種目	區別				備考
	農業	工業	商業	農業	
專業					
兼業					
合計					

(其二) 產物產額表 (一ヶ年間)

種別	數量	價格	備考
丸材及角材	九〇〇尺	六、四〇〇、〇〇〇	
稅材	三〇〇、〇〇〇坪	一八、〇〇〇、〇〇〇	
竹材	一、〇〇〇束	五〇〇、〇〇〇	
木炭	二二四、五〇〇貫	一九、五〇〇、〇〇〇	
檜皮	四、五〇〇	四五〇、〇〇〇	

農 產 物						產 物							
蔬	茶	繭	球	雜	麥	米	合	其	狩	菌	全	森	杉
菜			根	穀			計	他	獵	茸	種	林	皮
四、〇五一	八、二〇〇	三、三六八	一六、〇七〇	一五八石	二、三三二石	二、四〇四石	：	：	：	：	一二斗	四五〇、〇〇〇本	八、七〇〇束
四二九、〇〇〇	一三、五〇〇、〇〇〇	一九、二〇〇、〇〇〇	一、一一三、〇〇〇	九五〇、〇〇〇	七、三五〇、〇〇〇	三三三、六五〇、〇〇〇	四七、九七五、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	八四、〇〇〇	一、一二五、〇〇〇	九六六、〇〇〇
	茶園反別 製茶戶數 二一八〇戶	桑園反別 養蠶戶數 三〇〇戶											

總計	水産物		其他
	鯉	鱒	
合計	合計	合計	合計
			七六二四
			四三八、〇〇〇
			七六、六四〇、〇〇〇
			二〇〇、〇〇〇
			二〇〇、〇〇〇
			一二四、八一五、〇〇〇

（其三）雜		表（飼畜）	
牛	馬	豚	鶏
一二〇頭	五〇	一五	七〇〇羽

工場（水車）

四負擔

（其一）負擔種別表

種別	地租	所得稅及營業稅	戶別割	現人夫	付加稅	合計
國稅	二、五三、五四〇	一、〇九、七二〇				三、五九五、二五〇

種別	總額	一戶當	一人當
縣稅	六九、三四五	四九〇、八八〇	二六七、〇一〇
村稅	三、八一、八八五	一、五六一、五九〇	六、〇〇〇、九一〇
合計			六、〇〇〇、九一〇
			五、四、〇〇〇
			六三、二九〇
			五五七、〇四五
			六三、四五五
			一一、八九九、八〇〇
			三、五九五、二五〇
			六、八〇四、九四五
			一一、八九九、八二〇
			七、七三二
			三、二二五
			一四、六三四
			二五、五九一
			一、四七九
			六七一
			二、七九九
			四、八九五

（其二）負擔額一戶一人當リ

種別	總額	一戶當	一人當
國稅	三、五九五、二五〇		
縣稅	一、四九九、六二五		
村稅	六、八〇四、九四五		
合計	一一、八九九、八二〇		

五教育

（其一）學校

種別	所在地	兒童收容區域	就學兒童數	正教員	準教員	代用教員	計
大雨川尋常小學校	大字雨山	大代雨原河原	男 六二	一	：	二	三
千万町尋常小學校	大字千万町	千万町木下	男 三〇	一	：	一	二
			女 七二				
			計 一三七				

宮崎尋常小學校	大字石原尋常小學校	尋常石原金村	明見金村	合計
118	108	226	2	2
224	206	420	4	1
115	110	225	5	5

學齡兒童就學步合				(其二) 兒童就學步合			
男	女	計	不	男	女	計	百分率
225	207	432	4	224	206	430	5

種類	數量及金額	摘要
山林	506、2026	此以外ニ公有林整理ニ伴フ賣却豫定ノ村有林六十四町八反十八步
有價証券	980、000	
現金	88、000	
建築物	9、786、000	建築物價格
其他	2、817、000	
合計	13、671、000	
財產ヨリ生スル利子	65、040	

七村治機關

(其一) 村役場吏員及議員			
職務	人員	村長	助役
書記	4	1	1
村會議員	12		

(其二) 名譽職吏員及郡會議員			
職務區	人員	區長	代理者
學務委員	6	1	1
衛生委員	18		
郵便局長	1		
郡會議員	1		

八村經費 自四十四年度至四十一年度  
 明治四十年歲入出決算表

科目	預算額	決算額	附記
一 財產ヨリ生スル收入	55、650	62、680	
二 使用材料及手数料	8,500	14,200	
三 雜收入	78,000	83,005	

科目	歲出	決算額	附記
四 前年度繰越金	六八、二二〇	六九、四二九	
五 縣稅補助金	三四四、〇〇〇	五二、〇〇〇	
六 寄附金	三、二〇六、五九四	三、二〇六、五九四	
七 交付金	四一、〇〇〇	六七、二五〇	
八 村稅	四、四〇一、八六八	四、四二七、二二六	
九 現人夫	七一三、六〇〇	七一三、六〇〇	
合計	八、九一七、九三四	八、六九六、四八四	

科目	豫算額	決算額	附記
一村役場費	一、二四七、五〇〇	一、一七八、一八一	
二 會議費	九九、五〇〇	四五、八五〇	
三 土木費	二、一四二、一〇〇	二、一四二、一〇〇	
四 教育費	二、〇三七、二〇〇	二、〇一六、三四八	
五 財產費	二八、〇〇〇	二、二〇〇	

科目	臨時費	決算額	附記
六 衛生費	一八二、〇〇〇	一七四、四六三	
七 神社費	五、〇〇〇		
八 諸稅負擔	一三三、五〇〇	一三三、九二五	
九 雜支出	二二、〇〇〇	一八、九四〇	
十 豫備費	九三、〇〇〇		
合計	五、九九一、八〇〇	五、七七一、〇〇七	

科目	臨時費	決算額	附記
一 植栽費	七六〇、二二〇	六五三、九四八	
二 土木費	三八九、八二〇	一三〇、八九五	
三 負債償還	二二二、五〇〇	二二二、五〇〇	
四 寄附金	一、四六一、六六四	一、四六一、六六四	
五 負債金利息	九三、九三〇	九三、九三〇	
合計	二、九二八、一三四	二、五六二、九三七	

明治四十一年度歳入出決算表	歳入	八、九一七、九三四	歳出	八、二七三、九四四
---------------	----	-----------	----	-----------

科 目	豫 算 額	決 算 額
一 財産ヨリ生スル收	五八、八〇〇	六五、〇四〇
二 手 數 料	九、五〇〇	一四、八〇〇
三 雜 收 入	七五、六〇〇	六三、七三六
四 前年度繰越金	三六四、五〇〇	四二二、五四〇
五 縣稅補助金	一、一一九、二三八	八三一、四三一
六 寄 附 金	四四九、七四二	四四九、七四二
七 交 付 金	四四、〇四〇	七五、三五〇
八 村 稅	六、三二四、七二五	六、二八〇、九四五
九 夫 役	五二四、〇〇〇	五二四、〇〇〇
十 財産費繰入	一三、八八五、〇〇〇	一一、五〇〇、〇〇〇

科 目	歳 出	決 算 額
一 役 場 費	一、二八六、〇〇〇	一、二五八、二三九
二 會 議 費	一三二、六〇〇	六八、〇〇〇
三 土 木 費	八九七、〇〇〇	六〇〇、七五〇
四 教 育 費	二、四一八、八六〇	二、一〇六、六六一
五 衛 生 費	一七八、四〇〇	一五六、五〇三
六 神 社 費	五、〇〇〇	五、〇〇〇
七 諸稅及負擔金	一七五、五〇〇	一四一、七〇三
八 雜 支 出	二、〇〇〇	
九 豫 備 費	九八、〇〇〇	
計	五、一九三、三六〇	四、三三六、八五六

臨時費



科目	豫算額	決算額
一 植栽費	一、二九一、〇三〇	九五四、九五八
二 土木費	二、四六三、二五五	二、三四四、七七九
三 負債償還	二二二、五〇〇	二二二、五〇〇
四 村有林改定費	一三、六八五、〇〇〇	一〇、五〇〇、〇〇〇
計	一七、六五一、七八五	一四、〇一二、二二三
合 計	二二、八四五、一四五	一八、三四九、〇九三

九村農會

現事業摘要農事獎勵視察共同苗圃堆積肥料品評會講話講習種子精撰害虫驅除獎勵等主ナルモノ

經費金 二五二月三四八 明治四〇年度支出

全金 二五一、九三六 明治四一年度支出

十青年會

名稱	區域	會員數	設立年月日	組織大要	事業及成績
----	----	-----	-------	------	-------

龜穴青年會	大字 龜穴	一〇	四〇年五月一日	年齡一五才已上	夜學
中金	大字 中金	一二	四二年四月十日	全	全
石原	大字 石原	二五	三五年一月十日	全	視察農事試作養蠶講習山林植栽
明見	大字 明見	一六	三二年二月五日	一二才已上 二〇才已下	全
河原青年會	大字 河原	一一	四一年五月五日	一五才已上 二〇才已下	夜學
雨山	大字 雨山	一〇	四〇年三月一日	全	夜學苗圃事業
大代	大字 大代	一四	全	全	夜學蔬菜試作
千万町	大字 千万町	二二	三〇年十月五日	一三才已上 三〇才已下	夜學
木下	大字 木下	一〇	三三年四月五日	一五才已上 二五才已下	全
計		一二九			

十一雜事

(其一)軍人

現役	在郷	軍人
將校	下士	兵卒
將校	下士	兵卒
歸休兵	補充兵	

一	五	二	一八	四三
---	---	---	----	----

(其二) 軍人紀念林

日露戰役ノ出征軍人ヲ慰問シ村ヨリ之レニ紀念品ヲ贈ルニ山林ヲ以テシタルモノニシテ面積一町二十一歩アリ杉扁柏ヲ明治三十八年ニ植栽セリ植栽ニハ本村學校生徒之レニ當ル尙以上ハ舊宮崎郡ノ設備ナルニ付千万町木下ノ二大字ノ分ヲ加エ貳反五畝歩ヲ増スタメ目下地所購入ノ相談中ナリ

(其三) 社 寺

神	社	村	九	無格社	九	神	職
寺	院	臨濟	曹洞	三淨土	天臺	僧侶	一〇
(其四) 其他							
衆議員 撰舉資格者							
所得 稅 納 稅者							
醫師							
林 產 物							
六五							
五七							
一							

林產物ノ產類ニ付テハ村治ノ部ニ於テ記述セルカ今本村ニ於テ最モ多量ニ產出スル林產物ノ現時相場ヲ記セバ左ノ如シ本村中央地ニ於ケル價格

杉四分板巾一尺壹圓ニ付	無節 七枚	小節 十枚	節 一二枚
全六分板巾八寸壹圓ニ付	小節 十枚	節 一四枚	
扁柏四分板巾尺壹圓ニ付	無節 三枚	小節 四枚	節 六枚
同八分板		小節 四枚	
杉五寸角 丈三尺 一本ニ付	上 一、五〇〇	並 一、三五〇	
杉四寸角 丈三尺 一本ニ付	上 一、九〇〇	並 一、七五〇	
扁柏五寸角 全 全	上 二、〇〇〇	並 一、八〇〇	
全 四寸角 全 全	上 一、一二〇	並 一、〇五〇	
全 三寸角 全 全	上 四、五〇〇	並 四、〇〇〇	
戸 一 壹圓ニ付	上 十二	中 一五	下 一八
貫 (丈三ニシテ) (三ニノモノ)	〇九挺		
全 (丈三ニシテ) (四ニノモノ)	六挺半		

杉皮	全	上	七坪	並	八坪
檜皮	全	上	九坪	並	十坪

白炭 上白 (炭材 くぬぎ ならかし) 壹圓ニ付 八貫  
 全 中白 (炭材 雜木) 全 十二貫  
 墨炭 (土竈炭) 炭材 松 壹圓ニ付 二二貫  
 鍛治炭 (炭材 栗) 全 一五貫  
 杉船板 (長サ五尋三尺厚一寸三分九釐ハ枚掛) 一六圓〇〇〇  
 杉電柱 一本ノ價格左ノ如シ

長	末	口	價	格	長	末	口	價	格
二二尺	四寸五分	一	九〇〇	三四尺	六寸五分	七	〇〇〇		
二八尺	五寸	三	五〇〇	三八尺	七寸	一	二、〇〇〇		
三〇尺	六寸	五	二〇〇	四二尺	七寸五分	一	五、〇〇〇		

本村ノ林産物中最モ普通ニシテ産額ノ多量ナルハ前記ノ各材種ナルガ今之等ノ輸出先ニ付テ大要左ノ如シ

一角材

豐川牛久保驛三分、下地町二分、西方貳分五厘、岡崎町一分、福岡町一分五厘

二板及貫類

下地町三分、西方二分五厘、豐川及牛久保二分五厘、福岡一分、岡崎一分

三電柱

下地五分、西方五分、鐵道ニヨリ名古屋及靜岡方面へ輸出セラル

四舟板

下地六分、西方四分

五皮類

豐川牛久保二分、(八分ハ土地及附近村落ニテ消費ス)

六炭類

豐川牛久保二分、下地一分、豐橋三分、岡崎一分、西方一分、蒲郡一分、福岡一分  
 則チ之ニ依リテ見ルモ下地豐川牛久保西方ノ四ヶ所ハ本村林産物ニ對シテハ重要ナル木材集散地ナルヲ知ルヘシ

白木仕立賃金表

名	稱	員	數	枕	貨	先山墨掛杣等
六尺	板類		間		、一〇〇〇	、〇二二五
丈	三四一貫		丸枕一丁		、〇三三〇	、〇〇七〇
丈	〇		全		、〇二四〇	、〇〇五五
七尺	貫		丸枕一丁		、〇一五〇	、〇〇四五
丈	三三一貫		全		、〇二四〇	、〇〇六〇
丈	〇		全		、〇二七五	、〇〇四五
七尺	全		全		、〇二一〇	、〇〇三五
丈	三三八全		全		、〇二一〇	、〇〇五〇
丈	〇		全		、〇二六二	、〇〇四三
七尺	三八貫		全		、〇二〇〇	、〇〇三五
丈	三四一貫		削リ一丁		、〇二〇〇	、〇〇一四〇
丈	三三一全		全		、〇一四〇	、〇〇一〇〇

丈	三三八全		全		、〇一三〇	、〇〇九〇
丈	三小貫		全		、〇〇八五	、〇〇四〇
丈	三小割寸三		丸枕一本		、〇一五五	、〇〇九〇
全	寸一		全		、〇一三五	、〇〇四〇
丈	三角寸六		削リ一本		、〇一〇〇	、〇〇三〇
九尺	寸六		全		、〇〇七五	、〇〇二五
六尺	寸六		全		、〇〇五〇	、〇〇七〇
一寸	土伊川		丸枕一丁		、〇一四〇	、〇〇三〇
八分	土伊川		削リ一丁		、〇〇八〇	、〇〇四〇
小	戸縁		丸枕一本		、〇〇七〇	、〇〇二〇
丈	二根太		壹本		、〇二一〇	、〇〇一〇〇
九尺	全		全		、〇一五〇	、〇〇七五
六尺	全		全		、〇一〇〇	、〇〇五〇
丈	三四寸角		削リ一本			、〇六五〇